

# ONLINE ScreenView

Online ScreenView マニュアル Ver.4.1.2

2025年3月

Provided by santec. Powered by ISL Online

# 目次

1.	Online ScreenView とは.....	4
1.1	動作環境.....	4
1.2	通信環境.....	4
2.	管理機能 .....	5
2.1	トライアルでのご利用について.....	6
2.2	オンラインページにログインする.....	7
2.3	オンラインページ .....	8
2.4	ユーザー  .....	9
2.5	履歴  .....	19
2.6	プロフィール.....	23
2.7	ライセンス.....	23
2.8	セキュリティ .....	25
3.	専用アプリのインストール.....	32
3.1	PCアプリケーションコンソールのインストール .....	32
3.2	PCアプリケーションコンソールの設定.....	32
3.3	アンインストール .....	39
4.	モバイルアプリケーションのインストール .....	40
4.1	iPhone/iPad にインストールする .....	40
4.2	Android 端末にインストールする.....	41
5.	Online ScreenView Agent インストール .....	42
5.1	オンラインページからのインストール.....	42
5.2	アクセスパスワード .....	43
5.3	常駐接続をセットアップ .....	43
5.4	インストール制限 .....	44
5.5	複数台にインストールする：サイレントインストール .....	46
5.6	クローニング .....	52
6.	PCアプリケーションコンソールから接続する .....	53
6.1	接続方法.....	53
6.2	終了方法.....	54

# 目次

7.	オンラインページから接続する .....	55
7.1	接続方法 .....	55
7.2	終了方法 .....	56
8.	iPhone/iPad から接続する .....	57
8.1	iPhone/iPad アプリにログインする .....	57
8.2	接続方法 .....	58
8.3	接続オプション .....	60
8.4	メニューバー .....	61
8.5	サブメニュー .....	64
8.6	アプリケーションの設定 .....	65
9.	Android 端末から接続する .....	68
9.1	Android アプリにログインする .....	68
9.2	接続方法 .....	69
9.3	メニューバー .....	70
10.	リモートコンピューターの操作 .....	73
10.1	ツールバー .....	73
10.2	接続オプション .....	82
10.3	ファイルを転送する .....	84
10.4	ファイルマネージャー .....	86
10.5	ペンツールを使用する .....	88
10.6	フルスクリーン表示 .....	89
10.7	マルチモニター .....	90
10.8	レコーディング .....	91
11.	オンラインページ/PC アプリケーションコンソールの機能 .....	93
11.1	接続先 PC をグループで管理する .....	93
11.2	アクションメニュー .....	97
12.	PC アプリケーションコンソールの機能 .....	101
12.1	代替接続を利用する .....	101
12.2	アクセスパスワードを保存する .....	104
12.3	ショートカットを作成 .....	104
13.	Online ScreenView Agent の機能 .....	105

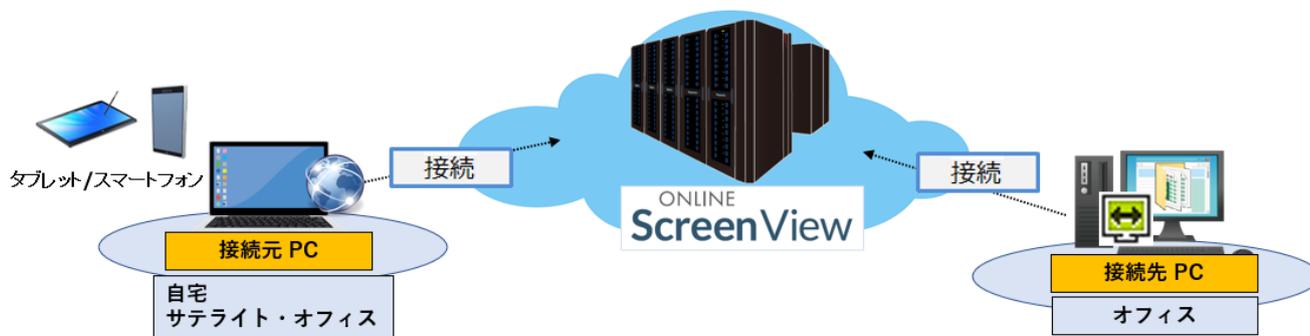
# 目次

13.1	タスクトレイ (システムトレイ) .....	105
13.2	メインウィンドウ .....	105
13.3	<b>Online ScreenView Agent</b> の設定 .....	106
13.4	バージョンアップ情報とアップグレード .....	122
13.5	オフラインモード .....	124
14.	<b>Wake On LAN</b> 機能の設定 .....	126
14.1	<b>PC</b> の <b>BIOS</b> 設定 .....	126
14.2	<b>Windows OS</b> の高速スタートアップを無効に設定する .....	127
14.3	<b>Agent</b> が同一ネットワーク内に存在する .....	127
15.	<b>Online ScreenView Agent</b> のアンインストール .....	129
15.1	常駐接続リストから削除する .....	129
15.2	常駐接続プログラムのアンインストール : <b>Windows</b> の場合 .....	129
15.3	常駐接続プログラムのアンインストール : <b>Mac</b> の場合 .....	131
16.	留意事項 .....	132

# 1. Online ScreenView とは

Online ScreenView は離れた場所にあるコンピューターの画面を共有・操作、サーバーのメンテナンス等やテクニカルサポートなどの業務を大幅に効率化するリモートサポートツールです。

## ■構成イメージ



## ■本マニュアルについて

本マニュアルで使用している画像は、Windows 版です。

Mac 版をご利用の場合は一部画像が異なる場合がございますのでご了承ください。

Windows 版、Mac 版それぞれで利用可能かどうかは、各機能横にあるアイコンマークで参照することができます。

(例) Mac 版のみで利用可能な機能: 

(例) Windows 版のみで利用可能: 

## 1.1 動作環境

### オペレーティングシステム

Windows 10 32bit および 64bit / Windows 11 32bit および 64bit

Windows Server 2016 / 2019 64bit / 2022 64bit

macOS Mojave / Catalina / Big Sur / Monterey / Ventura / Sonoma / Sequoia

※Mac OS X Server はサポートしていません。

## 1.2 通信環境

- ・最低速度: 256Kbps(DSL) 以上
  - ・外向き TCP ポート: 7615/443/80 のいずれかの開放が必要です。
  - ・ドメイン「\*.onlinescreenview.com」「\*.islonline.com」「\*.islonline.net」に対する接続許可が必要です
- ※詳しい動作環境は以下の URL より動作環境ファイルをダウンロードしご参照ください。

動作環境ファイル: [https://www.santec.com/jp/wp-content/uploads/environment\\_OSV.pdf](https://www.santec.com/jp/wp-content/uploads/environment_OSV.pdf)

## 2. 管理機能

Online ScreenView をご利用いただくには、アカウントを取得する必要があります。

オンラインページはライセンス所有者(以降:管理者)、および管理者が作成したユーザーがログインして利用できます。

### ■ログイン時注意点

ログインする際のアカウントは管理者の場合、アカウント通知書をご確認の上、アカウント ID と再設定したパスワードを入力ください。ユーザーの場合は、ドメイン名と管理者が作成したユーザー名をアカウント ID として入力ください。

		ログイン時のユーザー名(アカウント ID)
ドメイン名	osvTest	
管理者 Email アドレス	osv-admin@osview.com	\\osvtest\osv-admin@osview.com
管理者が作成したユーザー	user01	\\osvtest\user01

### ■ユーザーの作成とログイン方法について

管理者(ライセンス所有者)はドメイン内にユーザーを作成して管理できます。

ユーザーを作成している場合は、意図しないユーザーでのログインを防ぐため、「**¥¥ドメイン名¥ユーザー名(メールアドレス)**」の形式でログインすることを推奨しています。

(大文字、小文字は区別して認識されます)

・ユーザーを作成していない場合

メールアドレス(例: [tarou@santec.jp](mailto:tarou@santec.jp))

・ユーザーを作成している場合\*

(1)管理者(ライセンス所有者)

¥¥ドメイン名¥メールアドレス(例: ¥¥Santec¥tarou@santec.jp)

(2)ユーザー(オペレーター)

¥¥ドメイン名¥ユーザー名(例: ¥¥Santec¥jirou)

\* 環境によっては「¥」マークが「バックスラッシュ」で表示されます。

## 2.1 トライアルでのご利用について

Online ScreenView の製品ご購入前に、Online ScreenView をトライアルとしてお試しください。  
 トライアルでのご利用は以下の手順となります。

(1) 製品サイトへアクセスして[FREE 無料お試し]を選択します。

製品サイト URL: <https://www.santec.com/osv/>



(2) [お問合せ項目]を選択してください。必要事項を入力し、[確認]を選択します。

(3) 入力の修正を行う場合は画面下部の[キャンセル]を選択し、修正してください。

(4) 入力に誤りがないことを確認し、[送信]を選択します。

(5) 登録したメールアドレスにトライアルでのご利用案内が送付されます。

## 2.2 オンラインページにログインする

トライアル版、または、製品版をご利用の場合、ユーザー専用のオンラインページをご利用します。

### ■ログインページ

<http://onlinescreenview.com>

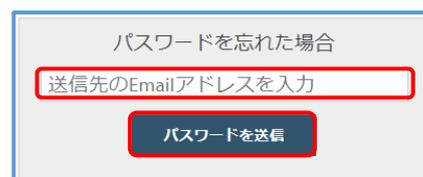


ご登録いただいているアカウント(ユーザー名、パスワード)を入力して[ログイン]ボタンを選択します。

※ブラウザでログインページを開いたまま 15 分を経過した場合はページを更新してからアカウントを入力してください。

### 2.2.1 パスワードを忘れた場合

- (1) ログインページの[パスワードを忘れた場合]を選択します
  - (2) アカウント作成時に登録した Email アドレスを入力、[パスワードを送信]を選択します。
  - (3) 入力した Email アドレスにパスワード変更のメールが送信されます。
  - (4) 受信したメールのリンクからパスワードを再設定します。
- ※メール内リンクの有効期間は送信後 1 時間です。



### 2.2.2 2段階認証を有効にしている場合

2段階認証を有効にしている場合、ログインを選択した後にセキュリティコードの入力を求められます。

セキュリティコードを入力して[認証する]ボタンを選択します。

※誤ったセキュリティコードを 3 回入力すると強制的にログアウトされます。

しばらく時間を置いた後、再ログインできるようになります。

「このデバイスを登録する」をチェックすると、次回ログイン時にセキュリティコードの入力が不要になります。

## 2.3 オンラインページ

ログイン後、「常駐接続」画面に移動します。



①	<b>製品</b>	Online ScreenView の各製品を利用できます (常駐接続) 詳細な利用方法については、各製品のマニュアルをご参照ください
②	<b>管理</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドメイン管理 全体およびユーザー個別に機能の利用制限などが設定できます 本機能はライセンス管理者とライセンス管理者が許可したユーザーのみ利用可能です。詳細な利用方法については、ドメイン管理マニュアルをご参照ください <a href="https://islsupport.oceanbridge.jp/portal/ja/kb/isl-online/manual/administration">https://islsupport.oceanbridge.jp/portal/ja/kb/isl-online/manual/administration</a></li> <li>・ユーザー ユーザーの登録・削除・無効化、個別に制限をする設定などを行えます</li> </ul>
③	<b>ダッシュボード</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続中のセッション 自身を含む全ユーザーの現在利用中のセッション状況(常駐接続)が確認できます。</li> </ul>
④	<b>マイアカウント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロフィール ユーザー情報 (Email、パスワード、氏名) を変更します。</li> <li>・ライセンス  ご契約中のライセンス情報が表示されます。</li> <li>・セキュリティ 2 段階認証 (多要素認証) の設定やアカウントにアクセスした端末情報を確認できます。</li> <li>・ログアウト ご利用中のアカウントからログアウトします。</li> </ul>

## 2.4 ユーザー

ドメイン内にユーザーを作成し管理します。

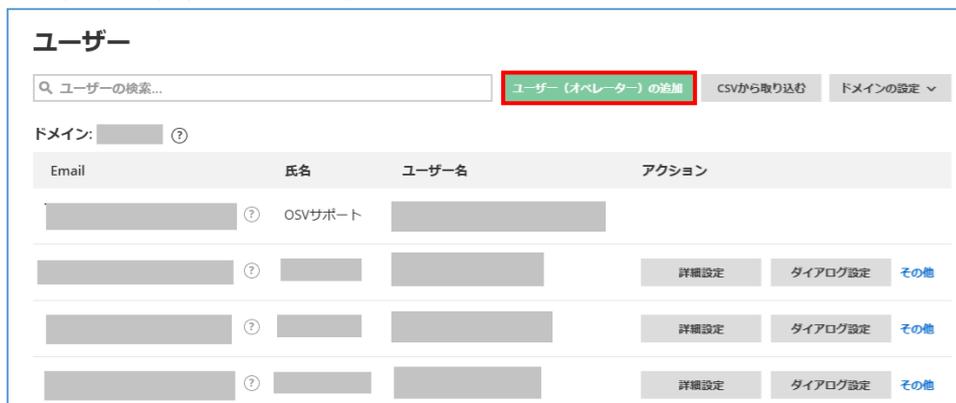


### 2.4.1 ユーザー(オペレーター)の追加

(1) [ユーザー(オペレーター)の追加]を選択して、ユーザーを作成します。

一度作成したユーザーのユーザー名は変更できません。

変更が必要な場合は、新規にユーザーを作成します。



(2) ユーザー名、Email、氏名(任意)を入力して、[保存]を選択します。

※ユーザー名は半角英数、-(ハイフン)、\_(アンダーバー)、ピリオド(.)の文字のみ利用できます。

ユーザー / ユーザー (オペレーター) の追加

### ユーザー (オペレーター) の追加

新規ユーザーの情報を入力し、「保存」ボタンを押してください。  
登録したEmailアドレス宛に、新規ユーザーのログイン情報が送信されます。

ユーザー名

Email

氏名

《注意》 管理者以外のユーザー

ログイン時のユーザー名(アカウント ID)は「\\ドメイン名\設定したユーザー名」となります。

(3) 作成したユーザーの Email にパスワードを設定するメールが送信されます。

メール内の[パスワードの設定]を選択するとブラウザが起動し「パスワードの変更」画面が表示されます。

[パスワードの変更]を選択し、新しいパスワードを設定して、[変更してログイン]を選択します。

パスワードの変更

Email : [Redacted]

ドメイン名	ユーザー名
[Redacted]	[Redacted]

パスワードの変更

ログインへ戻る

## 2.4.2 プロフィールの変更

(1) [その他]-[プロフィールを変更]を選択します。



(2) Email、氏名を編集し、[プロフィールの変更]を選択します。



## 2.4.3 CSVファイルで取り込む

(1) [CSVから取り込む]を選択します。



(2) 取り込むユーザーを定義した CSV ファイルをアップロードし、[確認] を選択します。

※CSV ファイルは、先頭列から「ユーザー名(一意の ID), Email, 氏名」の順で作成します。

なお、列名は含めずに作成してください(列名がある場合、エラーによりインポートができません)。

※区切り文字はコンマ (",") またはセミコロン (";") が使用できます。

※「氏名」に半角文字のみを使用する場合は 3 文字以上が必要です。

※CSV ファイルで一度に取り込めるユーザーの上限は 500 です(取り込みは 10 分程度かかります)。

一度に大量のユーザーを取り込むとサーバーエラーが表示されることがありますが、内部では処理が実行されます。処理の完了後に再度アクセスするとページが表示されます。

(3) 取り込みユーザーの確認画面が表示されます。確認後、[CSV から取り込む] を選択します。

取り込みユーザー宛にメール通知を送信する場合には、「ユーザーに作成通知を送信する」にチェックを入れます。

※インポートデータにエラーがあるとインポートができません。

CSV ファイルを修正後、再度アップロードしてください。

(4) 取り込みユーザーの確認画面が表示されます。確認後、[CSV から取り込む] を選択します。

インポート後、取り込みが完了したユーザーの一覧が表示されます。

作成通知オプションにチェックを入れた場合、作成された各ユーザーはメール通知内のリンクからパスワードが設定できます。

※重複したユーザーは取り込みがスキップされます。

また、CSV ファイル内にユーザー名の重複がある場合は一番上の行のユーザーを取り込み、それ以下の重複はスキップします。

## 2.4.4 詳細設定、ダイアログ設定

ユーザーごとに利用できる Online ScreenView の機能を制限します。

**ユーザー**

Q ユーザーの検索...

ユーザー (オペレーター) の追加 CSVから取り込む ドメインの設定

ドメイン: [ ]

Email	氏名	ユーザー名	アクション
[ ]	OSVサポート	[ ]	
[ ]	[ ]	[ ]	<a href="#">詳細設定</a> <a href="#">ダイアログ設定</a> <a href="#">その他</a>
[ ]	[ ]	[ ]	<a href="#">詳細設定</a> <a href="#">ダイアログ設定</a> <a href="#">その他</a>
[ ]	[ ]	[ ]	<a href="#">詳細設定</a> <a href="#">ダイアログ設定</a> <a href="#">その他</a>

### (1) 詳細設定

ユーザー / [ ] / 詳細設定

**詳細設定**

選択された「初期値」の文言が追加されました。 [もっと見る](#)

ユーザー名 [ ]

氏名 [ ]

アカウント [有効 - 初期値]

最大同時接続数 [ ]

離席画面へのアクセス [離席画面へ](#)

**デスクトップ**

クリップボードの利用 [有効 - 初期値]

デスクトップ共有 (見せる) [有効 - 初期値]

デスクトップ共有時 (見せる) の操作 [有効 - 初期値]

デスクトップ共有 (見る) [有効 - 初期値]

デスクトップ共有時 (見る) の操作 [有効 - 初期値]

**ファイル転送**

ファイル受信 [有効 - 初期値]

ファイル送信 [有効 - 初期値]

**ポート転送**

localhost以外へ及びlocalhost以外からのトンネル作成 [有効 - 初期値]

クライアントからのポート転送 [有効 - 初期値]

オペレーターからのポート転送 [有効 - 初期値]

**プラグイン (Desk&Client)**

デスクトップ共有 [有効 - 初期値]

ファイル転送 [有効 - 初期値]

ビデオプラグイン [有効 - 初期値]

音声プラグイン [有効 - 初期値]

遠隔プリント [有効 - 初期値]

**セキュリティ**

全ユーザーのセッション操作 [有効 - 初期値]

このデバイスに登録する [有効 - 初期値]

フィルタリング [ ]

[保存](#) [キャンセル](#)

アカウント	このユーザーによる製品の利用を許可/禁止※1します
最大同時接続数	複数のライセンスをご利用の場合、このユーザーで利用できる接続先端末数を制限します(体験版をご利用中の方は「2」に設定されています)
履歴画面へのアクセス	このユーザーによる製品の利用履歴の閲覧を許可/禁止※2 (初期値では、履歴の閲覧は禁止されています)
デスクトップ	クリップボードや画面共有に関する機能を制限します
クリップボードの利用	デスクトップ共有中、オペレーター端末とクライアント端末でのクリップボードの共有を許可/禁止※1します
デスクトップ共有(見せる)	デスクトップ共有を行う際の「見せる」機能を許可/禁止※1します
デスクトップ共有(見せる)の操作	オペレーターの画面を見せる際、クライアントによるコントロールを許可/禁止※1します
デスクトップ共有(見る)	デスクトップ共有を行う際の「見る」機能を許可/禁止※1します
デスクトップ共有(見る)の操作	クライアントの画面を見る際、オペレーターによるコントロールを許可/禁止※1します
ファイル転送	接続先とのファイル転送機能の制限します
ファイル受信	ファイル受信を許可/禁止※1します
ファイル送信	ファイル送信を許可/禁止※1します
ポート転送	代替接続に関する機能を制限します
localhost 以外へ及び localhost 以外からのトンネル作成	内部ネットワーク端末への接続を目的としたクライアント端末の利用、ポート転送によるプリンターの使用を許可/禁止※1します
クライアントからのポート転送	クライアントからのポート転送を許可/禁止※1します
オペレーターからのポート転送	オペレーターからのポート転送を許可/禁止※1します
プラグイン(Desk&Client)	画面共有やファイル転送に関する機能を制限します
デスクトップ共有	画面共有機能の利用を許可/禁止※1します
ファイル転送	ファイル転送機能の利用を許可/禁止※1します
ビデオプラグイン	ビデオチャット機能の利用を許可/禁止※1します
音声プラグイン	音声チャット機能の利用を許可/禁止※1します
遠隔プリント	遠隔プリント機能の利用を許可/禁止※1します 現在ご利用できません
全ユーザーのセッション操作	ドメイン内でアクティブなセッション(自身を含む)の切断を許可/禁止※1します
このデバイスを登録する	2段階認証の際に表示されるオプション[このデバイスを登録する]の利用を許可/禁止※1します許します
フィルタリング※3	ユーザーが利用できる端末の IP アドレス、MAC アドレスを制限します 許可: allow_ip, allow_mac, allow_all 禁止: deny_ip, deny_mac, deny_all

※1 許可:有効にします / 禁止:無効にします。

「初期値」とは、その値がドメインレベルの設定値から継承されていることを意味します。

※2 「履歴画面へ」を選択後、すべてのユーザーのアクセス権限を一括で設定します。

※3 フィルタリングについて

ユーザーが利用できる接続元端末の IP アドレス、MAC アドレスを制限します。  
 フィルタリングは「Online ScreenView」の使用を許可/禁止するものであるため、該当のユーザーは  
 リモート接続が出来なくなります。

#### ・フィルタリングについて

ユーザーが利用できる端末の IP アドレス、MAC アドレスを制限します。フィルタリングは「Online ScreenView」の  
 使用を許可/禁止するものであるため、当該ユーザーは本サービスを利用できなくなります。  
 改行または半角セミコロンで区切って設定します。

- ・ 記入例 1:     `allow_ip xxx.xxx.xxx.xxx`  
                   `allow_ip xxx.xxx.xxx.0/255.255.255.240`  
                   `deny_all`  
                   このユーザーは「xxx.xxx.xxx.xxx」の IP アドレスを持つ端末、または「xxx.xxx.xxx.0/28」の  
                   サブネットマスクに属する端末上でのみ製品を利用できます。
- ・ 記入例 2:     `allow_mac xx-xx-xx-xx-xx-xx;deny_all`  
                   このユーザーは「xxx.xxx.xxx.xxx」の mac アドレスを持つ端末のみ製品を利用できます。
- ・ 記入例 3:     `allow_ip xxx.xxx.xxx.xxx`  
                   `allow_mac xx-xx-xx-xx-xx-xx`  
                   `deny_all`  
                   このユーザーは「xxx.xxx.xxx.xxx」の IP アドレスを持つ端末、または「xx-xx-xx-xx-xx-xx」の  
                   MAC アドレスを持つ端末上でのみ製品を利用できます。

#### 注意:

現在、サブネットマスクのフィルタリングに CIDR 表記での記述ができません。

#### 補足:

- ・フィルタリングはユーザー単位、接続の端末単位の 2 箇所を設定できます。両者は並行して設定することも可能です。
- ・本項目では、ユーザー単位でのフィルタリング設定方法を記載しています。接続元の端末単位で接続先コンピューターを制限したい場合は、接続先コンピューターから設定する必要があります。
- ・IP アドレスによるフィルタリングは、Online ScreenView サーバーへのアクセスで使用する IP アドレスを指定します。

## (2) ダイアログ設定

有効にした場合、リモート接続終了時に表示されるセッションダイアログにコメントを入力できます。

また、セッション中のチャット内容が履歴に保存されるようになり、ここから転送されたファイルの履歴も確認できます。

## セッションダイアログ

セッションダイアログに入力したコメントおよびチャット内容は、履歴で確認できます。

■ユーザー(オペレーター)をエクスポートする

[エクスポート] を選択して、ドメイン内のユーザーと各ユーザーに割り当てられた設定の一覧を CSV ファイルに出力できます。



氏名	ユーザーの氏名を出力します
ニックネーム	ユーザーのニックネームを出力します
ユーザー名	ログインに利用する Email またはユーザー名を出力します
Email	ユーザーの Email を出力します
アカウント	「アカウント」の設定値 <sup>※1</sup> を TRUE/FALSE <sup>※2</sup> で出力します
最大同時接続数	「最大同時接続数」の設定値 <sup>※1</sup> (接続先端末数の制限台数)を数字で出力します
デスクトップ共有	「デスクトップ共有」の設定値 <sup>※1</sup> を TRUE/FALSE <sup>※2</sup> で出力します
ファイル転送	「ファイル転送」の設定値 <sup>※1</sup> を TRUE/FALSE <sup>※2</sup> で出力します

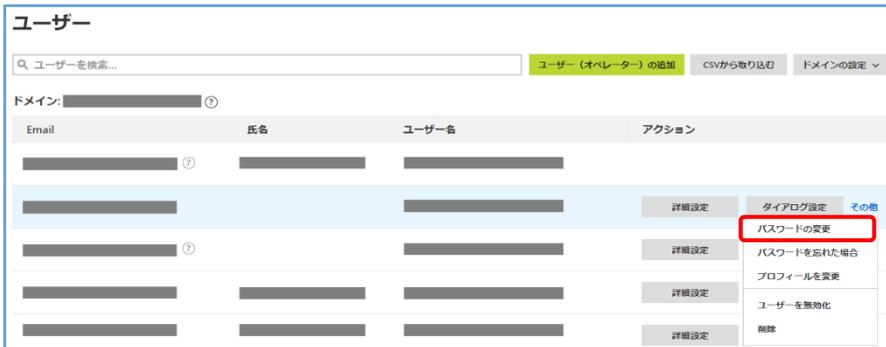
※1 TRUE:有効 / FALSE:無効

※2 CSV ファイルの区切り文字はセミコロン(;)またはコンマ(,)がご利用いただけます

■ユーザー(オペレーター)がパスワードを変更する

・管理者(ライセンス所有者)がユーザーのパスワードを強制的に変更する場合

(1) [その他]-[パスワードを変更] を選択します。



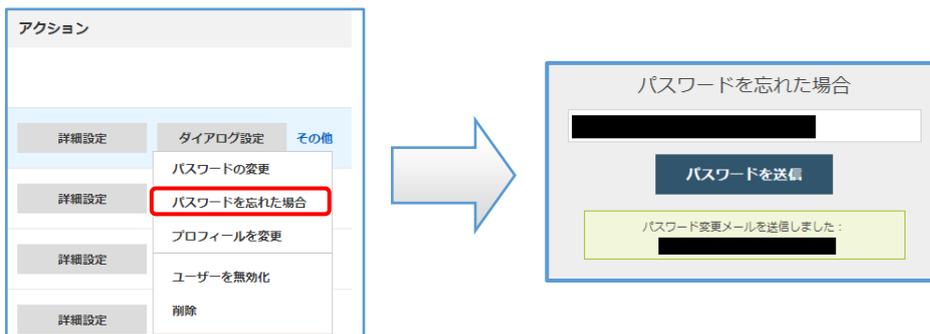
(2) 8 文字以上の推測されにくいパスワードを設定し、[パスワードの変更] を選択します。

パスワードには ASCII 印字可能文字(半角英数字、ハイフンなど)が使用できます。



・ユーザーにパスワードを設定させる場合

ユーザー一覧の[その他]-[パスワードを忘れた場合]を選択すると、ユーザーのEmailに変更に必要なメールが自動で送信されます。再度変更メールを送信する場合は、[送信]を選択します。



■ユーザー（オペレーター）の削除

[ユーザーの削除]を選択して、対象のユーザーを削除します。

1度ユーザーを削除すると元に戻すことができないのでご注意ください。

なお、ユーザーの無効化では該当アカウントの停止が可能な他、後から取り消しもできます。



・ユーザーが常駐接続の接続先（クライアント）を登録している場合

以下の画面が表示されます。

「同意する」にチェックし、「このユーザーが現在接続できるコンピューターの台数(常駐接続)」に表示されている数字を「対象となるコンピューターの台数」に入力し、[ユーザーの削除]を選択します。



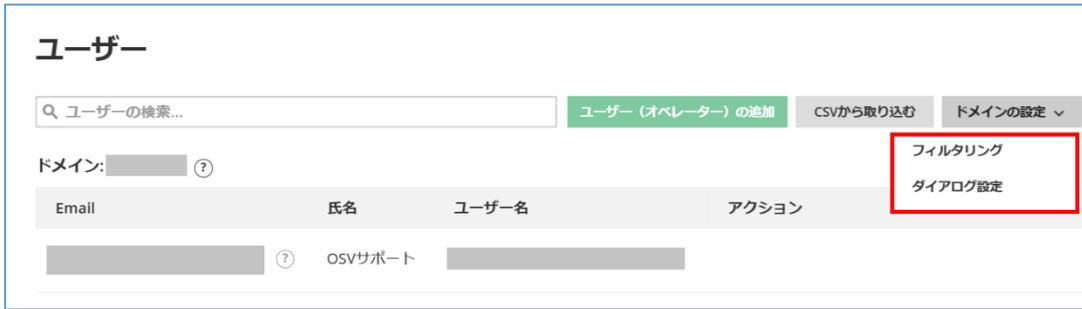
・対象ユーザーが常駐接続のグループ所有者の場合

対象ユーザーが常駐接続のグループ所有者の場合、ユーザーを削除することはできません。

ユーザーの無効化によりアカウントを使用停止にするか、表示された警告のリンクからグループの所有者を変更後、ユーザーを削除してください。

■ドメインの設定を変更する

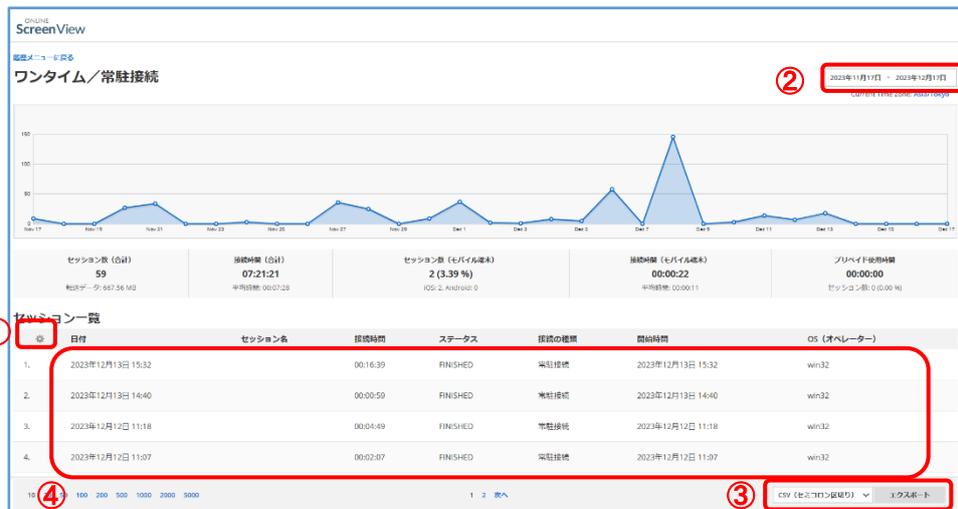
「フィルタリング」および、「ダイアログ設定」は、[ドメインの設定] でドメイン全体に対しても設定できます。



2.5 履歴

Online ScreenView の利用状況を確認できます。

■ワントタイム接続／常駐接続



①ツールボタン	セッション履歴に表示する項目が選択できます 表示したい内容の項目にチェックを入れ[変更] を選択します		
②期間選択	表示する期間を選択します(日.月.年)		
③エクスポート	セッション履歴を CSV 出力します 区切り文字はカンマ(,)またはセミコロン(; )を指定します		
④セッション履歴	項目名	表示名	説明
	日付	Date	セッションコード取得日時
	セッションコード	Session Code	セッションコード

セッション名	Session Name	セッションにつけられた名称
ユーザー名	Username	接続を行ったユーザー名
Email(クライアント)	Client Email	Email 招待によってセッションに参加したクライアントのメールアドレス
接続時間	Session Duration	セッション接続時間の合計
ステータス	Status	RUNNING: セッションの接続時 FINISHED: セッションの一時停止および終了時 RECONNECTED: 一時停止からの再開およびセッション転送による再接続時
接続の種類	Session Type	セッション接続の種類(ワンタイム接続/常駐接続)
開始時間	Session Start	セッションの開始時間(UTC)
転送データ (Bytes)	Bytes	セッション中に転送されたデータ量の合計
サーバー	Server	接続に使用した中継サーバー
OS(オペレーター)	Desk Platform	オペレーターの OS 種別
Ver(オペレーター)	Desk Version	オペレーターが接続に使用したプログラムのバージョン
IP アドレス(オペレーター)	Desk IP	オペレーターの IP アドレス
OS(クライアント)	Client Platform	クライアントの OS 種別
Ver(クライアント)	Client Version	クライアントが接続に使用したプログラムのバージョン
IP アドレス(クライアント)	Client IP	クライアントの IP アドレス
ホスト名(クライアント)	Client Hostname	クライアントのホスト名(PC名)
詳細(クライアント)	Client Description	クライアントの詳細
ホスト名(オペレーター)	Desk Hostname	オペレーターのホスト名(PC名)
MAC アドレス(クライアント)	Client MAC Addresses	クライアントの MAC アドレス一覧
MAC アドレス(オペレーター)	Desk MAC Addresses	オペレーターの MAC アドレス一覧
プリペイド使用時間	PPU Minutes Used	プリペイドライセンス使用時間
セッションダイアログ(オペレーター)	Desk Comment	接続元セッションダイアログに記載した内容*

セッションダイアログ(クライアント)	Client Comment	接続先セッションダイアログに記載した内容※
チャット内容	Chat Transcript	セッション接続中のテキストチャットの内容や送受信された転送ファイルの名称※
メモ	Notes	セッションに関する補足情報
編集	Edit	「セッション名」「Email(クライアント)」「メモ」編集用アイコンの表示
マルチセッションID	Multi-session ID	使用しません

※「ユーザー」ページより「ダイアログ設定」を有効にした場合のみご利用いただけます

■ライセンス使用状況

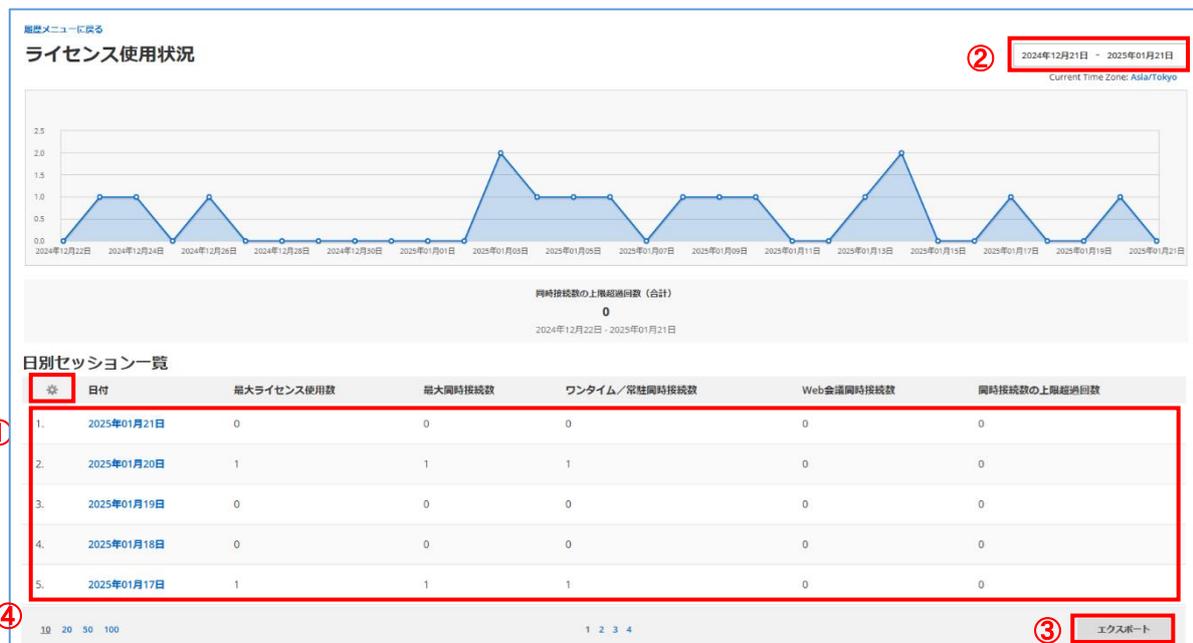
ONLINE ScreenView

---

**履歴**

[ワンタイム/常駐接続](#)
[ライセンス使用状況](#)
[アカウント履歴](#)

[Online ScreenViewの利用状況](#)
[ライセンスの使用状況を確認します](#)
[アクティベーションの履歴を確認します](#)



<b>① ツールボタン</b>	履歴に表示する項目が選択できます 表示したい内容の項目にチェックを入れます									
<b>② 期間選択</b>	表示する期間を選択します(年.月.日)									
<b>③ エクスポート</b>	ライセンス使用状況履歴を CSV 出力します 区切り文字はセミicolon(;)が適用されます									
<b>④</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>表示名</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日付 (または時間)</td> <td>Date</td> <td>ユニークな日付(または時間)です</td> </tr> <tr> <td>最大ライセンス使用数</td> <td>Peak Licence Usage</td> <td>該当する日付(または時間)の最大ライセンス使用数が表示されます(最大同時接続数と同じです)</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	表示名	説明	日付 (または時間)	Date	ユニークな日付(または時間)です	最大ライセンス使用数	Peak Licence Usage	該当する日付(または時間)の最大ライセンス使用数が表示されます(最大同時接続数と同じです)
項目名	表示名	説明								
日付 (または時間)	Date	ユニークな日付(または時間)です								
最大ライセンス使用数	Peak Licence Usage	該当する日付(または時間)の最大ライセンス使用数が表示されます(最大同時接続数と同じです)								

使用履歴	最大同時接続数	Max Concurrent Connections	該当の日付(または時間)に行われた、常駐接続の最大同時接続数の値が表示されます
	ワнтаイム/常駐同時接続数	ISL Light Sessions	該当の日付(または時間)に行われたワнтаイム接続、常駐接続の最大同時接続数の値が表示されます
	Web 会議同時接続数 ※OnlineScreenView ではご利用できません	ISL Groop Sessions	該当の日付(または時間)に行われた Web 会議の最大同時接続数の値が表示されます
	同時接続数の上限超過回数	License Limit Hit	同時接続数が契約ライセンス数に到達している状態の時に新規セッションが試行され、接続に失敗した回数が表示されます

■権限設定:履歴画面

各ユーザーについて、製品の履歴画面へのアクセス権を一括で設定できます。

権限設定のドロップダウンリストから[閲覧許可/アクセス禁止]を選択後、[保存]で設定を適用します。

※初期値では、管理者以外のすべてのユーザーの権限設定が[アクセス禁止]となっています。

権限設定:履歴画面

	ユーザー名	氏名	EMAIL	権限設定
<input type="checkbox"/>	██████████	██████████	██████████	閲覧許可 ▼
<input type="checkbox"/>	██████████	██████████	██████████	アクセス禁止 ▼
<input type="checkbox"/>	██████████	██████████	██████████	アクセス禁止 ▼

## 2.6 プロフィール

ユーザー情報 (Email、パスワード、氏名、ニックネーム) を変更します

**プロフィール**

設定

ユーザー名  設定変更

Email

氏名

ニックネーム

その他の設定

タイムゾーン Asia/Tokyo  
現地時間: 05.09.2023 18:22 変更

<p>設定変更</p>	<p>ユーザー情報 (Email、パスワード、氏名、ニックネーム)、システムのタイムゾーンを変更します。 ※パスワードや電子メールを変更するときは、再度ログインが必要になります。</p>
<p> その他の設定</p>	<p>管理するドメインに対して標準のタイムゾーンを設定します。</p>

## 2.7 ライセンス

契約ライセンス情報を確認できます。

**ライセンス**

接続中のセッション

現在アクティブなセッションの一覧を表示します 表示

---

年間契約

ライセンス 有効

サービス終了日 2024年2月16日

同時セッション数制限 <sup>(1)</sup>

エージェントインストール台数

### ■ 現在利用中のセッションを確認/切断する

(1) [表示] を選択すると、自身を含む全ユーザーの現在利用中のセッション状況が確認できます。

**接続中のセッション**

選択	ライセンス	開始中...	プログラム	ステータス	ユーザー	セッションコード
<input type="checkbox"/>	1	2023/09/06 12:03:15	ISL LIGHT	接続中	<input type="text"/>	33210879

選択したセッションを終了

(2) セッションを強制的に切断する場合は、切断するセッションにチェックを入れ、[選択したセッションを終了] を選択します。

選択	ライセンス	開始中...	プログラム	ステータス	ユーザー	セッションコード
<input checked="" type="checkbox"/>	1	2023/09/06 12:03:15	ISL LIGHT	接続中	[REDACTED]	33210879

選択したセッションを終了

### ■ライセンスの契約内容を確認する

ご契約中のライセンス情報が表示されます。

年間契約	
ライセンス	有効
サービス終了日 (日,月,年)	01.01.2024
同時セッション数制限 <sup>?</sup>	1
プリペイドクーポン	
ライセンス	有効
サービス終了日 (日,月,年)	31.12.2028
利用可能時間 (分)	100
オンプレミスライセンス	
ユーザー名	[REDACTED]
Type:	[REDACTED]
サービス終了日 (日,月,年)	31.12.2023
同時セッション数制限: <sup>?</sup>	1

### ■ライセンス所有者の情報を確認する



ライセンス所有者の情報を表示します。(変更はできません)

ライセンス所有者		
ユーザー名	[REDACTED]@oceanbridge.jp	変更
氏名	海橋太郎	変更

## 2.8 セキュリティ

2段階認証(多要素認証)の設定やアカウントにアクセスした端末情報を確認できます。



### 2.8.1 2段階認証とは

2段階認証を有効にすると、アカウントのセキュリティを強化できます。

ログイン時にパスワード入力に加えて認証アプリ、電話番号、Email から取得できるセキュリティコードの入力が必要になります。

サポート対象の認証アプリは以下の通りです。

- ・ Google Authenticator
- ・ Microsoft Authenticator

2段階認証はユーザーごとに設定されるため、管理者（ライセンス所有者）の2段階認証を有効にしてもドメイン全体には適用されません。

ドメインに属するユーザーの2段階認証はユーザーごと個別に設定を行ってください。

**何らかの理由(端末の故障など)でセキュリティコードが取得できない場合、アカウントにログインできなくなります。**

**必ず複数の認証方法・端末を設定してください。**

## 2.8.2 2段階認証を設定する

### ■ 認証アプリ

(1) セキュリティページより[2段階認証]を選択し、認証アプリを選択して[開始する]を選択します。

2段階認証の方法を選択してください

セキュリティに戻る

認証アプリ  
セキュリティコードを認証アプリから取得します

電話  
セキュリティコードをSMSで受信します

Email  
セキュリティコードをEmailで受信します

セキュリティキー  
認証にセキュリティキーを使用します

キャンセル 開始する

(2) 認証アプリに通称(任意の名前)を設定し、[次へ]を選択します。

認証アプリを追加する

2段階認証の設定に戻る

認証アプリにエイリアス(通称)を設定してください

例：技術部の携帯

キャンセル 次へ

(3) デバイス上で認証アプリを起動後、アカウントのセットアップを行います。

① [手動で設定を行う]をクリックします。

QRコードを読み取ってください

2段階認証の設定に戻る

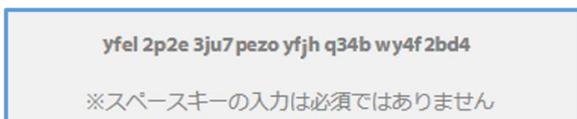
- デバイスに認証アプリをダウンロードしてください。
- アプリの設定でアカウントのセットアップを行ってください。
- QRコードをスキャンすると、Google 認証システムのページに移動します

キャンセル 次へ

2 / 3

手動で設定を行う

② 設定キーが表示されます。



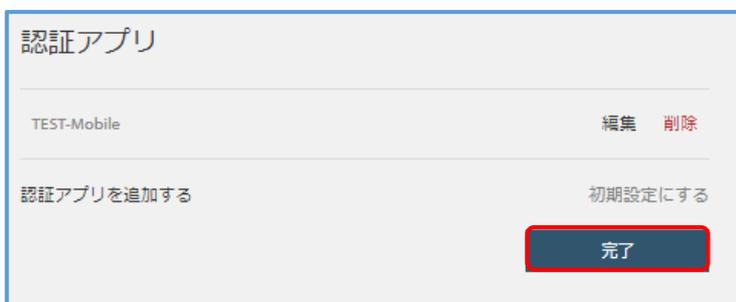
③ 認証アプリを起動後、アカウントのセットアップを行います。



④ 認証アプリの設定を保存して、認証コードを発行します。



- (4) 認証アプリの設定を保存して、認証コードを発行します。
- (5) ブラウザ画面に戻り、[次へ]を選択します。
- (6) 発行された認証コードを入力して、[次へ]を選択します。
- (7) 認証を完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。



※セキュリティコードの有効期間は「1 分間」です

以降、設定したアカウントでログインすると、ログイン情報(ユーザー名およびパスワード)の入力に続き、認証アプリの認証コードの入力が必要となります。

(8) セキュリティページより[2 段階認証]を選択し、電話番号を選択して[開始する]を選択します。



(9) セキュリティコードの送信先(携帯電話番号)を設定し、[次へ]を選択します。

■電話番号(SMS)

(1) 登録した電話番号に、セキュリティコード(6桁)がSMSで送信されます。※機種により表示の違いがあります

(2) ブラウザ画面で受信したセキュリティコードを入力して、[次へ]を選択します。

(3) 認証が完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。

設定したアカウントでログイン後、ログイン情報の入力に続き、セキュリティコードの入力が必要になります。

■Email

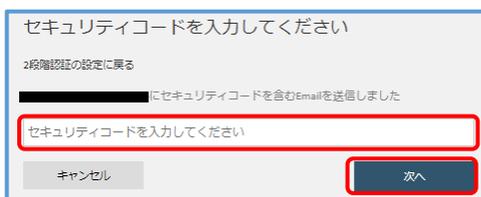
(1) セキュリティページより[2段階認証]を選択し、Emailを選択して[開始する]を選択します。

(2) セキュリティコードの送信先(Email)を入力して、[次へ]を選択します。

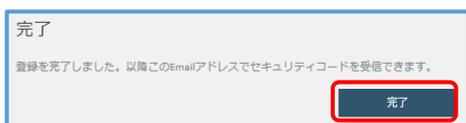
(3) 登録した Email 宛に、セキュリティコード(6桁)が通知されます。



(4) ブラウザ画面でセキュリティコードを入力して、[次へ]を選択します。

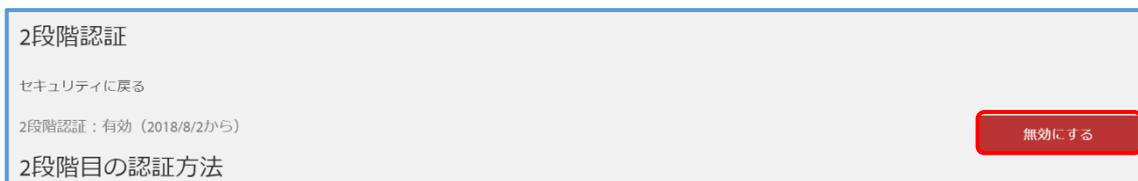


(5) 認証を完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。



### 2.8.3 2段階認証を解除する

(1) 2段階認証を設定している場合、「有効」が表示されます。



(2) 2段階認証を解除(無効)する場合、[無効にする]を選択します。



(3) 表示されたメッセージを確認して、[無効にする]を選択します。



(4) セキュリティページの2段階認証の項目が、[無効]になっていることを確認します。

ログインとセキュリティ

2段階認証を有効にすると、アカウントのセキュリティが強化されます。ログイン時はパスワードの入力に加え、信頼されたデバイスから発行された認証コードが必要となるため、パスワードが盗まれてもアカウントの不正使用を防止できます。

パスワード	パスワードを変更できます	>
2段階認証	無効	>

## 2.8.4 アカウントにログインした端末の履歴を確認する

[使用したデバイス]を選択すると、アカウントにログインした端末の履歴を確認できます。

デバイスの使用状況

使用したデバイス [アカウントにアクセスしたデバイスを表示します](#)

2段階認証を有効にした状態でオンラインページにログインする際「このデバイスを登録する<sup>※</sup>」にチェックを入れた場合、対象のデバイスからのアクセスに関しては2段階認証を求められなくなります。

※上記設定を行った場合「30日間」経過すると再度認証要求があります

対象のデバイスを削除することで2段階認証の認証要求が再開します。

使用したデバイス

セキュリティに戻る

使用したデバイス				
初回使用	通称	デバイス	IPアドレス	アクション
2018/7/31 15:01:07	作成日：2018/7/31 15:01:07	Windows上のChrome	■■■■■	デバイスの詳細
2018/7/31 11:53:06	作成日：2018/7/31 11:53:06	Windows上のChrome	■■■■■	デバイスの詳細
2018/7/30 11:47:17	作成日：2018/7/30 11:47:17	Windows上のISL Light	■■■■■	デバイスの詳細
2018/7/25 16:57:17	作成日：2018/7/25 16:57:17	Android上のISL Light	■■■■■	デバイスの詳細
2018/7/24 15:09:42	作成日：2018/7/24 15:09:42	Windows上のChrome	■■■■■	デバイスの詳細

### ■このデバイスを登録する

セキュリティコードを入力してください

■■■■■のセキュリティコードを■■■■■に送信しました。

セキュリティコードを入力

このデバイスを登録する

認証する

再送信

別のログイン方法をお試しください

※複数の認証方法・端末を設定した場合でも、セキュリティコードは「初期設定」の宛先のみを送信されます。認証画面の[別の認証方法でコードを取得]を選択することで、他の認証方法や端末でセキュリティコードが取得できます。

### 3. 専用アプリのインストール

Online ScreenView は、Web ブラウザ(オンラインページ)からご利用の他、専用アプリをご用意しています。

#### 3.1 PC アプリケーションコンソールのインストール

- (1) 製品ホームページのサポートページ(<https://www.santec.com/osv/support/>)にアクセスし、Online ScreenView 接続プログラム(以降:PC アプリケーションコンソール)をダウンロードします。
- (2) [インストール]を選択します。
- (3) [今すぐ起動する]を選択するとインストールせず、すぐに利用を開始します。



※インストールは必須ではありませんが、インストールした場合は Windows の [すべてのプログラム](Mac の場合はアプリケーション)から、または作成したショートカットからすぐに起動できるようになります。

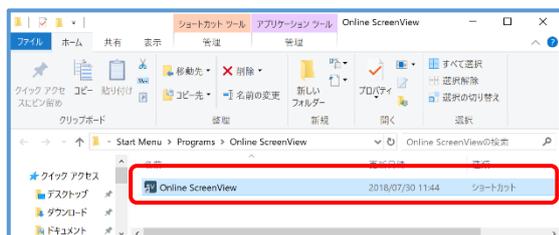
- (4) [次へ]を選択するとインストールが始まります。インストールが終了したら[完了]を選択します。



- (5) ショートカットを作成する

[スタートメニュー]-[OnlineScreenView]を右クリックし、[その他]-[ファイルの場所を開く]を選択します。Online ScreenView のショートカットを任意の場所にコピーする、または[送る]-[デスクトップ(ショートカット作成)]を選択するとデスクトップにショートカットが作成されます。

C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥OnlineScreenView



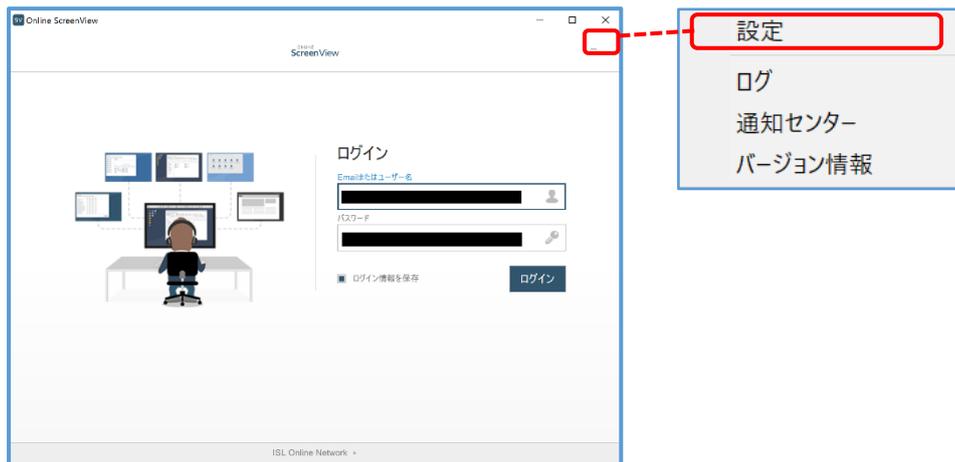
#### 3.2 PC アプリケーションコンソールの設定

PC アプリケーションコンソールの設定内容を変更できます。

表示される項目は状態(接続前、接続後など)によって変わります。

設定を反映させるには PC アプリケーションコンソールの再起動が必要な場合があります。

■ 設定画面

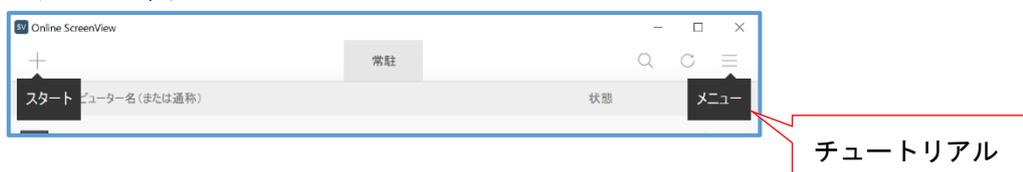


### 3.2.1 一般

自動アップグレードなど、一般的な内容に関する設定を行います。

自動アップグレード	ISL Light のアップグレードが可能かどうかの確認を行う頻度を「無効」「毎月」「毎週」「毎日」の中から選択します（初期値：毎日）。
言語	使用する言語を選択します。
ダッシュボード (初期設定)	「常駐」「ワнтаイム」の中から、ログイン後に表示するダッシュボードの画面を選択します（ログオフ後も設定は保存されます）。
セッション開始時に招待用ダイアログを表示する	Online ScreenView では使用しません
開始時にチュートリアルを表示する	チェックを入れると、ログイン後にメニューバー上にチュートリアルを表示します。
セッション終了後、セッションコードの入力画面を閉じる	Online ScreenView では使用しません
セッション中のツールバーの表示位置	セッション中に表示されるツールバーの位置を選択します。
セッションがインアクティブ状態になっている時間(分)	指定した期間（分）接続先への操作がない（インアクティブ状態の場合、セッションを終了します。初期値（0）に設定時は、インアクティブ状態の持続時間に関わらず、セッションは終了しません。
セッションを終了する前に、セッションがインアクティブであることを表示する時間(秒)	インアクティブ状態が続いたためにセッションを終了する前にメッセージを表示する期間（秒）を設定します。0 に設定時にはメッセージを表示せず、即座にセッションを終了します。（初期値：60）（[セッションがインアクティブ状態になっている時間(分)]が 0 以外に設定されている必要があります）
DirectX のバージョン <sup>win</sup>	「DirectX 11 Warp」「DirectX 11」「DirectX 9」「自動で選択」の中から、ISL Light で使用する DirectX のバージョンを選択します（この設定は主にトラブルシューティングで使用します）。
画面共有のグラフィックアクセラレーション <sup>win</sup>	「自動で選択（Windows ネイティブ）」「DirectX」の中から画面共有で使用するグラフィックアクセラレーションの種類を選択します（この設定は主にトラブルシューティングで使用します）。

#### ※ チュートリアル



### 3.2.2 基本設定

デスクトップ共有に関する基本的な設定を行います。

※初回のセッションが開始されるまで、設定は表示されません。

デスクトップ共有の画質	[品質を優先][速度を優先]の中から、共有画面の画質を選択します（初期値：速度を優先）。
画面共有時にフォントスムージングを有効にする <span>win</span>	チェックを外すと、アンチエイリアシングを無効にします（初期値：有効）。
画面共有時にデスクトップ背景を表示する	チェックを入れると、画面共有（見せる）実行時およびクライアント側のセッション参加時に背景画像を表示します（初期値：無効）。使用回線が遅い場合に設定を無効にすると、接続速度が改善する場合があります。
画面共有時に Windows 効果を有効にする	チェックを入れると、画面共有時に Windows Visual effect（視覚効果）を有効にします（初期値：無効）。
ネットワークが切断された際にコンピューターをロックする	ネットワーク障害等によってサーバーとの通信が切断された際に自動でコンピューターをロックします。ネットワーク回復後は端末に再接続されます。
[ESC] キー押下時にブラックスクリーンを解除するまで（秒） <span>win</span>	接続される端末側で [ESC] キーを押下した際にブラックスクリーンを解除するまでの時間を変更できます（※ブラックスクリーンが停止されるまでの秒数はオペレーター側に表示されます）。初期値：10 設定可能範囲：10～180
画面共有時に Windows Aero 表示を有効にする <span>win</span>	チェックを入れると、画面共有時に Windows Aero の表示を有効にします（初期値：無効）。
ワンタイム接続時にブラックスクリーンを有効にする <span>win</span>	チェックを入れると、その端末に対してワンタイム接続でセッションを行った際、ブラックスクリーンが自動で実行されず（初期値：無効）。
リモート端末操作時にデフォルトでクリップボードを利用する	チェックを外すと、クリップボードが無効の状態セッションを開始します（初期値：有効）。
デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する <span>win</span>	チェックを入れると、画面共有中に画面を見せている側のマウス・キーボード入力を禁止します。
キーボードのショートカット（仮想キーコード）	特定のキーボードの入力文字がユニコードに変換されず、クライアントに正しく送信されない場合にコードを定義します（この設定は主にトラブルシューティングで使用します）。
透過ウィンドウ（アルファチャネル）を送信しない <span>win</span>	チェックを入れると、透過ウィンドウ（アルファチャネル）を表示しなくなります（初期値：無効）。
Desktop duplication API の設定（Win 8 以上推奨）	[無効]を選択すると、Desktop Duplication API の設定を無効にします（初期値：自動で選択）。
ハードウェアアクセラレーションを制御する <span>win</span>	チェックを外すと、ハードウェアアクセラレーション機能を一時的に無効にします（初期値：有効）。
Desktop duplication API を利用する（Win8 以上推奨） <span>win</span>	チェックを外すと、Desktop Duplication API を一時的に無効にします（初期値：有効）。
マウスの右ボタンと中ボタンを入れ替える <span>mac</span>	チェックを入れると、画面共有（見せる）実行時に操作する側のマウスの右ボタンと中ボタンの機能を入れ替えます。
Magnification API を利用する（Win8 以上推奨） <span>win</span>	チェックを外すと、Magnification API を一時的に無効にします（初期値：有効）
モニターのシグナル OFF を検知する	特定のグラフィックドライバーが搭載されている Windows11 に接続する際に「ブラックスクリーンを有効にする」を指定して接続すると、接続先の端末がスリープしてしまう事象を回避する設定です。初期値は OS により異なります。

### 3.2.3 ファイル転送

ファイル転送に関する設定を行います。

転送されたファイルの保存先（受信時）	ファイル転送でファイル（フォルダー）を受信した際、デフォルトの保存先を設定します
ファイル転送完了後にダイアログを表示する	ドラッグ&ドロップなどの方法でファイル転送を実行した際にファイル転送ウィンドウを表示します

### 3.2.4 レコーディング

レコーディングに関する設定を行います。

レコーディングの停止を許可する	チェックを外すと、録画開始後にツールバー上のレコーディング（停止ボタン）が押せなくなります。
レコーディングファイルの保存先（フォルダー）	録画した動画ファイルの保存先を指定します。 （保存先にデスクトップを指定できます）
レコーディングファイルのテンプレート名	録画する動画ファイルに名前（テンプレート名）をつけます。
セッション終了時にレコーディングを再生する	セッション終了直後、録画したファイルを開くかどうかたずねるメッセージの表示/非表示を設定します。
自動レコーディング	セッション開始時の自動レコーディングの有効/無効を設定します。

### 3.2.5 音声およびビデオ

音声およびビデオに関する設定を行います。（初回のセッションが開始されるまで、設定は表示されません。）

システムオーディオを使用する <small>mac</small>	チェックボックスを外すと、音声入力/出力デバイスを手動で選択できるようになります。
音声入力デバイス 音声出力デバイス	音声の入力/出力で使用するデバイス（ヘッドセット）を選択し、入力/出力テストを行います。
マイク音量の自動調節	チェックボックスを外すと、ヘッドセット音量の自動調整の機能を無効にします。
エコーキャンセル	チェックボックスを外すと、音響エコーの抑制/除去の機能を無効にします。
ビデオ入力デバイス	ビデオの入力で使用するデバイス（カメラ）を選択し、テストを行います。
ビデオ画質	ビデオカメラの画質を選択します。
ビデオ <small>win</small>	ビデオカメラの映像を表示します。

### 3.2.6 ポート転送

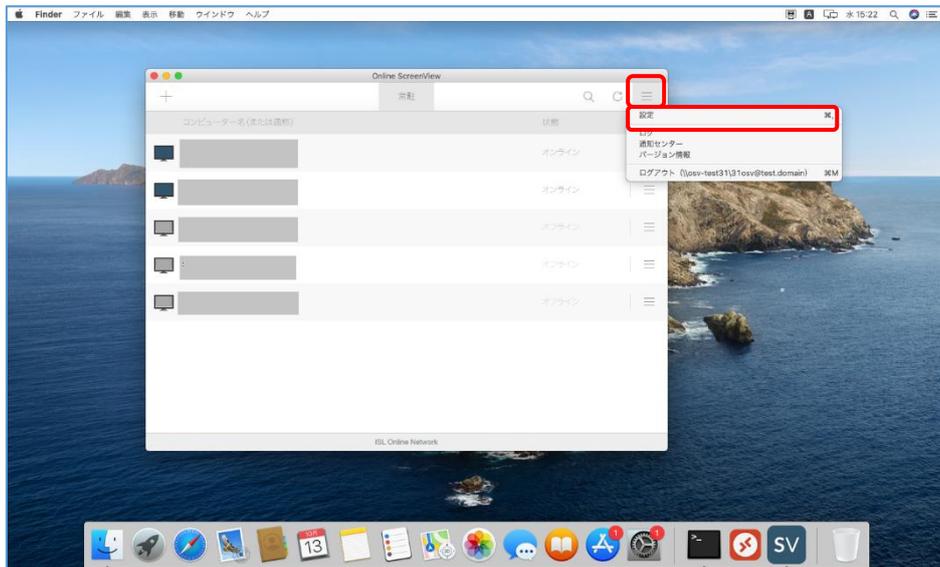
フィルタ（接続許可）	使用しません。
フィルタ（リッスン許可）	接続先の IP アドレスやポートを制限します。 例：SSH 接続（ポート 22）を禁止、常駐端末及び 192.168.0.10-192.168.0.50 の端末への接続のみを許可 deny_remote_port 22; allow_remote_ip 127.0.0.1; allow_remote_ip 192.168.0.10-192.168.0.50; deny_all;
RDP 接続ファイル <small>win</small>	RDP 接続中に実行可能な操作を定義したファイル（.rdp）のパスを指定して、接続開始時に読み込ませることができます。 例：C:\Users\user1\Downloads\rdp_default\rdp_default.rdp
デフォルトの RDP スキーマ	macOS (Catalina 以前) で RDP 接続を行う場合、以下の設定値を指定します。 /usr/bin/open -W -n "rdp://full address=s:localhost:[PORT]"
デフォルトの SSH スキーマ	Windows で既にインストール済みの SSH 接続用クライアントを使用する場合、プログラムファイルと対応する引数を指定します。 例：Tera Term を指定する場合（64bitOS） "C:\Program Files (x86)\teraterm\ftermpro.exe" localhost -P {PORT}

<<補足>>

macOS で RDP 接続する場合の設定

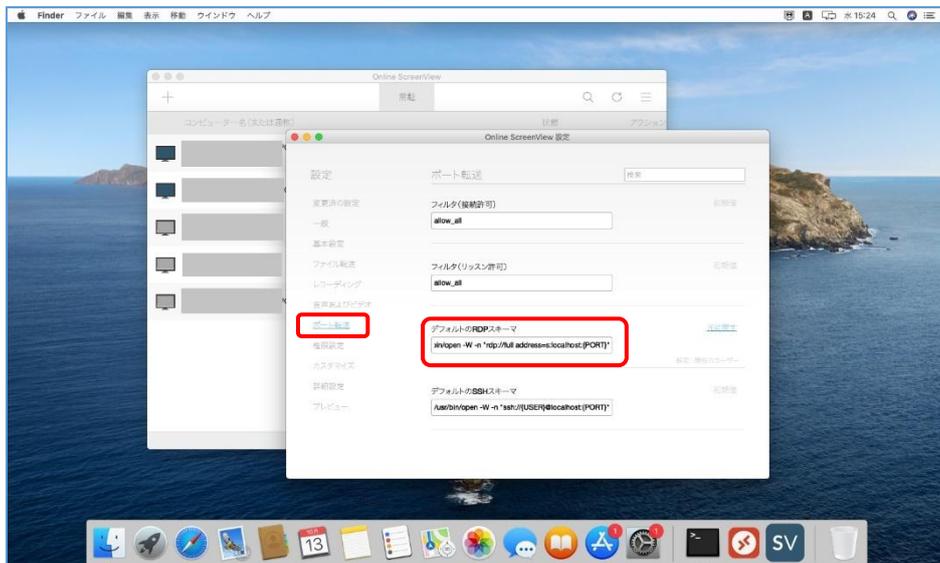
※この設定は Windows では不要です。

- (1) PC アプリケーションコンソールを起動し、Online ScreenView にログインします。
- (2) メニューから[設定]を選択します。



- (3) [ポート転送]を選択し、[デフォルトの RDP スキーマ]の値を変更します。

※設定する値は、「macOS Catalina 以前」と「macOS Big Sur 以降」で異なりますのでご注意ください。



### 3.2.7 権限設定

PC アプリケーションコンソールの許可/禁止に関する現在の設定状況を確認します。

設定画面上でチェックボックスを外して内容を変更することはできません。

クリップボードの利用	ファイル受信
デスクトップ共有（見せる）	ファイル送信
デスクトップ共有時（見せる）の操作	localhost 以外へ及び localhost 以外からのトンネル作成
デスクトップ共有（見る）	クライアントからのポート転送
デスクトップ共有時（見る）の操作	オペレーターからのポート転送

### 3.2.8 カスタマイズ

現在適用中のカスタマイズが確認できます（有効なカスタマイズの項目にチェックが入っています）。

設定画面上でチェックボックスを外して内容を変更することはできません。

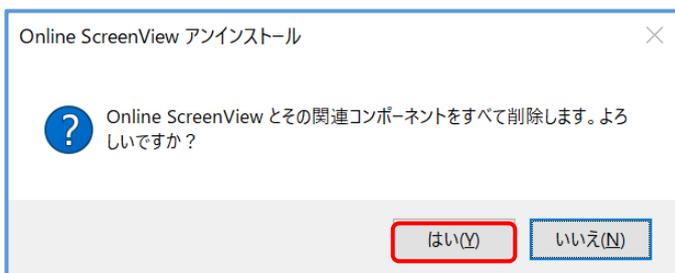
ダッシュボード	ダッシュボードボタンを非表示
	「ワンタイム」タブを非表示
	「常駐」タブを非表示
	リモート接続時に表示するタイトル
	「パスワードを保存する」を非表示
	「常駐接続をセットアップ」を非表示
ログイン GUI	「セッション参加」を非表示
	「ログイン情報を保存」を非表示
	「パスワードを忘れた場合」を非表示
	「サインアップ」を非表示（サポート対象外）
招待	サーバーの選択を非表示
セッション情報	Online ScreenView ではご利用になれません。
セッション	「編集」を非表示
	「セッション転送」を禁止 読み取り専用でチャットを利用
レコーディング	開始時にクライアントへ確認メッセージを表示
	管理者モード内の再起動オプションを非表示
ポート転送	「代替接続」を非表示
クライアント	デフォルトで「開始時に確認画面を表示しない」を有効
	クライアントが参加するまでセッションコード発行画面を表示

### 3.3 アンインストール

Online ScreenView のアンインストールの手順をご説明いたします。

#### ■ Windows

- (1) Windows の [コントロールパネル] - [プログラムと機能] から、  
Online ScreenView のアンインストールを行います。
- (2) 確認メッセージが表示されます。  
「はい」を選択するとアンインストールを開始します。



#### ■ macOS

- (1) [メニューバー] - [移動] - [アプリケーション] に移動します。
- (2) Online ScreenView のアプリケーションをゴミ箱に移動します。

## 4. モバイルアプリケーションのインストール

Online ScreenView は姉妹サービス ISL Light アプリを使用することでモバイル端末かご利用いただけます。

### 4.1 iPhone/iPad にインストールする

iPhone または iPad にアプリケーションをインストールします。

(1) App Store 上の「ISL Light iOS」のアプリページに移動します。

App Store の検索欄で「isl」と入力して検索するか、右の QR コードにアクセスしてください  
ISL Light iOS のアプリページ

<https://itunes.apple.com/jp/app/isl-light/id427579815?mt=8>

(2) ISL Light iOS の製品名の横にある[雲マーク]ボタンをタップして、ISL Light iOS のアプリをダウンロードします。



(3)[Apple ID のパスワード] ダイアログが表示されます。

Apple ID のパスワードを入力し、[OK] をタップすると、自動でインストールが開始されます



#### ■アップデート

ISL Light iOS を最新版にバージョンアップするには、App Store 内の「アップデート」あるいは iTunes のライブラリ (App) 上でアップデートを行います。

##### ▼App Store



##### ▼iTunes



※アップデートがうまくいかない場合は、旧バージョンの ISL Light iOS を一度アンインストールした後、新たにインストールを行ってください。

#### ■ログイン情報を保存する

ホーム画面の[設定]を選択し、アプリ一覧から[ISL Light]をタップします。

[ログイン情報を記憶]をオンにします。

ログイン時のユーザー名、パスワードを保存することができます。



## 4.2 Android 端末にインストールする

Android 端末にアプリケーションをインストールします。

(1) GooglePlay 上の「ISL Light」のアプリページに移動します。

「isllight」と検索し、検索結果から「ISL Light - リモートコントロール」を選択します。

※下の QR コードからもアクセスできます。



(2) [インストール]をタップして、ダウンロード及びインストールを実行します。

アプリの動作に必要なセキュリティ権限が表示されます。

これらの使用に同意する場合は[同意する]をタップします。

## 5. Online ScreenView Agent インストール

### 5.1 オンラインページからのインストール

- (1) Online ScreenView オンラインページ(<http://onlinescreenview.com>)にログインします。
- (2) [常駐接続をセットアップこのコンピューターを追加]から[このコンピューターを追加]を選択して、OnlineScreenView Agent のインストール用 exe をダウンロードします。

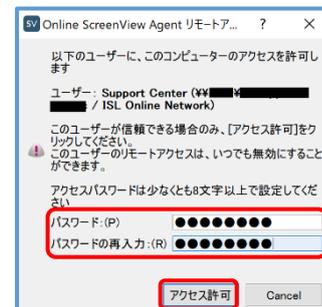


- (3) ダウンロードした exe ファイルを実行します。  
[次へ]を選択するとインストールを開始します。  
「セットアップが完了しました」のメッセージが表示されたら、[完了]を選択します。



- (4) セットアップ完了後、「Online ScreenView リモートアクセス許可」ダイアログが表示されます。

8 文字以上のパスワードを設定し、[アクセス許可]を選択します。  
 ※パスワードの大文字小文字は区別されます  
 ※パスワードには半角英数、ハイフン、アンダーバーが利用できます。



- (5) [Online ScreenView Agent 設定]画面から「保存」をクリックします。  
設定が保存され、  
[Online ScreenView Agent 設定]画面が閉じます。



## 5.2 アクセスパスワード

リモートのコンピューターへ接続するためのパスワードをアクセスパスワードといいます。

アクセスパスワードの要件

文字数	8文字以上
利用可能文字	半角アルファベット大文字・小文字、数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」

## 5.3 常駐接続をセットアップ

Online ScreenView PC アプリケーションコンソールを起動します。

ダッシュボードのスタート[+]から[常駐接続をセットアップ]を選択します。



「Email」、「リンク」、「インビテーションコード」の中から Online ScreenView のインストーラーがダウンロードできます。

### ■ Email で招待する場合

[既定のメールアプリで開く]を選択すると、アクセス許可リンク情報を含んだ状態で規定のメールソフトが起動します。

### ■ リンクで招待する場合

招待リンクが表示されて、右クリック「コピー」を選択し、任意の方法でクライアントに送信します。

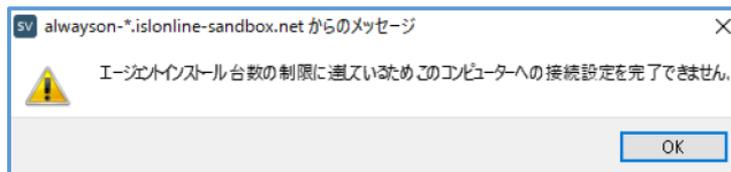
### ■ インビテーションコードで招待する場合

表示したコードを、任意の方法でクライアントへ連絡します。

## 5.4 インストール制限

Agent をインストールできる上限数はライセンス数となります。

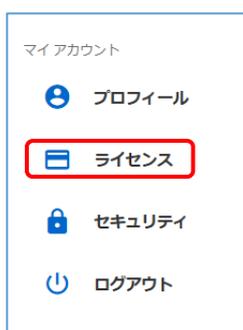
ライセンス数を上回る場合、インストール設定時に以下のメッセージが表示されます。



### 5.4.1 インストール数を確認する

管理者は全ユーザーがインストールしている常駐プログラム数を確認することができます。

(1) オンラインページにログインし、「ライセンス」を選択します。



(2) 常駐接続プログラムのインストール台数を確認します。



### 5.4.2 ユーザーごとのインストール可能台数を確認する

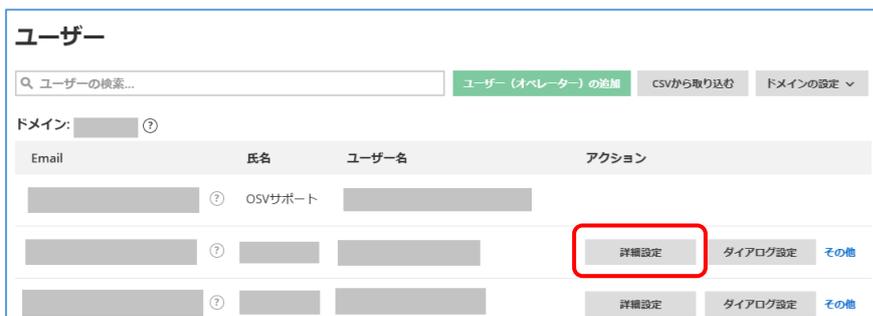
管理者はユーザーごとに常駐接続プログラムをインストールできる台数を設定できます。

ユーザー作成後の初期値は「0」に設定されます。(ユーザーは常駐接続プログラムをインストールできません)

(1) オンラインページにログインし、「ユーザー」を選択します。



(2) 対象ユーザーの[詳細設定]を選択すると、詳細設定ページが表示されます。



(3) 選択したユーザーがインストールできる Agent 台数を設定、確認できます。  
「空白」を選択した場合は、Agent インストール台数は無制限となります。



(4) [保存]を選択して終了します。

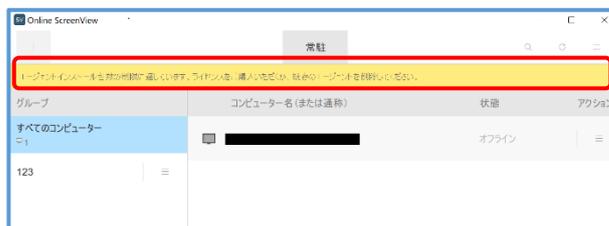
### 5. 4. 3 利用するライセンス数を減らした場合

ライセンス数を減らし、「常駐接続」画面をライセンス変更前の場合は、以下のメッセージが表示されます。  
表示メッセージ:「エージェントインストール台数の上限に達しています。  
ライセンスをご購入いただくか、既存のエージェントを削除してください」

#### ■オンラインページ



#### ■PC アプリケーションコンソール



不要なクライアント端末を、「常駐接続」画面から削除するとメッセージは表示されません。

## 5.5 複数台にインストールする:サイレントインストール

(1) サイレントインストールでは、以下の Online ScreenView の設定を流し込むことができます。

- ・ユーザー情報(オペレーターのユーザー名)
- ・端末のアクセスパスワード
- ・コンピューター名(オンラインページ上の表示名)

※接続方式、共有などの情報は設定できません。

(2) サイレントインストーラーは、オンライン状態(サーバーと通信が取れる状態)で行う必要があります。

オフライン状態でインストールを実行し、オンラインにならないまま端末が再起動されると、インストールが正常に終了しません。

(3) サイレントインストールのスクリプトサンプルは、サポートページ上で作成できます。

※常駐接続(ISL AlwaysOn)のカスタマイズ(スクリプトサンプル作成ページ)

[https://www.islonline.jp/help/faq\\_customize\\_aon.html](https://www.islonline.jp/help/faq_customize_aon.html)

※上記のサポートページでは、「インストーラーの作成方法」で紹介している追加オプションは設定できません。

追加オプションを利用する場合は上記ページで基本のスクリプト(URL)を作成し、その後必要なオプションを追記してください。

### 5.5.1 インストーラーの作成方法

(1) オンラインページにログインします。

(2) [常駐接続] を選択します。

(3) [このコンピューターを追加] を右クリックして「リンクのアドレスをコピー」を選択します。

※ブラウザによって名称が変わります (Mac の場合は [このコンピューターを追加] のアイコン上で「Ctrl+クリック」で「リンクをコピー」を選択)。

(4) コピーした URL をテキストエディターなどに貼り付け、以下の通り URL を編集します。

① 「start」 → 「download」 (Windows のみ)

② 「cmdline=」 → 「cmdline=%2FVERY SILENT+password+%22<任意のパスワード>%22+」

※任意のパスワード=半角英数 8 文字以上の文字列

③ 「grant」 → 「grant\_silent」

■パスワードを「abcdefgh」に設定した例

【変更前】

```
https://islv61-
alwayson.islonline.net/start/ISLAlwaysOn?cmdline=grant+%22zeJwdj7tKxEAUQLksWG1IZbm2gmEeufPobAXR
wjbNnZk7IbtXIkMwXU6wFPwKG%2b3FL3LBv3DX%2fsA5JwPsv773H68%2f75%2b%2fL29LaGNewPX9zequ9F3
h1S3Pu2HcnELbpQXUtYgxSrQetXSRFSmK0smAmWvPFhkFBmlyEIZTphF0oZFIso%2boONEHC15VIIJey1RqpPTX
hrjFFrEaCRKzUEor2XK3ng6cHXSNmvi9DNMANTv6GkayuVF1U398N9ZFZ7PYAvQNNNM49RMVaENrbsHuhoiUwjl
1qu1o%2fnsD2eHIT%2bIFRGa7GEE%2fgD5QBQkA%3d%3d%22
```

【変更後】

```
https://islv61-
alwayson.islonline.net/download/ISLAlwaysOn?cmdline=%2FVERY SILENT+password+%22abcdefgh%22+
grant_silent+%22zeJwdj7tKxEAUQLksWG1IZbm2gmEeufPobAXRwjbNnZk7IbtXIkMwXU6wFPwKG%2b3FL3LBv
3DX%2fsA5JwPsv773H68%2f75%2b%2fL29LaGNewPX9zequ9F3h1S3Pu2HcnELbpQXUtYgxSrQetXSRFSmK0sm
AmWvPFhkFBmlyEIZTphF0oZFIso%2boONEHC15VIIJey1RqpPTXhrjFFrEaCRKzUEor2XK3ng6cHXSNmvi9DNMAN
Tv6GkayuVF1U398N9ZFZ7PYAvQNNNM49RMVaENrbsHuhoiUwjl1qu1o%2fnsD2eHIT%2bIFRGa7GEE%2fgD5QB
QkA%3d%3d%22
```

- (1) 次ページに記載の追加オプションを利用する場合は、引き続き URL を編集します。
- (2) 編集した URL をブラウザのアドレスバーに貼り付け、インストーラーを取得します。
- (3) Online ScreenView をインストールする端末へ取得したインストーラーを配布して実行します。

#### ■追加オプション

##### (1) System アカウントでのインストール

System アカウントでインストールを実行（許可）します。資産管理ツールによる System アカウントでの配布や Active Directory のスタートアップスクリプトを使用して配布する場合は、「grant\_silent」の前に「ignore\_system\_account+」を追記します。

【変更後】

```
https://islv61-
alwayson.islonline.net/download/ISLAlwaysOn?cmdline=%2FVERYSIILENT+password+%22abcdefghijklmnop%22+
ignore_system_account+grant_silent+%22zeJwdj7tKxEAUQLksWG1IZbm2gmEeufPobAXRwjbNnZk7Ibt
xIkMwXU6wFPwK%2b3FL3LBv3DX%2fsA5JwPsv773H68%2f75%2b%2fL29LaGNewPX9zequ9F3h1S3Pu
2HcnELbpQXUtYgxSrQetXSRFSmK0smAmWvPFhkFBmlyEIZTphF0oZFIso%2boONEHCi5VIIEy1RqpPTXhr
jFFrEaCRKzUEor2XK3ng6cHXSNmvl9DNMANTv6GkayuVF1U398N9ZFZ7PYAvQNNNM49RMVaENrbsHuhoiU
wj1qu1o%2fnsD2eHIT%2bIFRGA7GEE%2fgD5QBQKA%3d%3d%22
```

##### (2) 任意のコンピューター名（通称）またはタグを設定

常駐接続の端末一覧に表示されるコンピューター名（通称）に任意の名称またはタグを設定する場合は、「%2FVERYSIILENT+password+%22<任意のパスワード>%22」の後に以下を追記します。

###### ●コンピューター名（通称）

「+description+%22%24%5Bname%5D+XXXX%22」（任意の名称）

例：インストールする端末のコンピューター名が「ADMIN-PC」の場合、コンピューター名（通称）は「ADMIN-PC XXXX」となります。

###### ●タグ

「+tags+%22tag1%22」または「+tags+%22tag1%2Ctag2%2Ctag3%22」（タグを複数設定する場合）

※コンピューター名（通称）とタグを同時に設定することもできます。

※コンピューター名（通称）およびタグを日本語で設定する場合は、URL エンコーディングで変換した文字列を記述します。

※設定内容は、常駐画面の[アクション]-[編集]で後から変更できます。

##### (3) 保護された設定への上書きインストール

既に Online ScreenView がインストールされている端末に上書きインストールにてユーザーの追加を行う際、Online ScreenView 側の設定で[メインパスワードで設定内容を保護する]を有効にしている場合は、オプションの「password」を「manage\_password」に変更、任意のパスワードは設定済みのメインパスワードを記載します。※上書きインストールによってメインパスワードを変更することはできません。

※以下の場合、サイレントインストール実行時にメインパスワードの入力を求められます。

- ①本オプションを使用しない場合
- ②スクリプトに記載したパスワードが上書きインストールする端末に設定済みのメインパスワードと一致しない場合

## 5.5.2 レジストリ変更スクリプトの作成方法 win

Online ScreenView の設定情報はそれぞれ特定のレジストリのデータが保有しているため、データの変更を行うスクリプトファイル(.reg)の展開および実行によって設定の一括変更が可能です。初期設定のまま Online ScreenView をご利用になる場合はこの手順を行う必要はありません。

## ■スクリプトファイルで変更可能な設定項目

Online ScreenView の他の設定に関しては、レジストリによる変更が可能/不可能なものがあります。

下記以外の設定に関しては、別途サポート窓口までご相談ください。

項目名	初期値	レジストリキー	データ	変更後の値
タスクトレイアイコンを表示する※ <sup>1</sup>	ON	show_tray	false	OFF
メインパスワードで設定内容を保護する※ <sup>1</sup>	OFF	global_protect	true	ON
接続前に確認を行う※ <sup>1</sup>	OFF	notify_show	true	ON
		notify_timeout	30※ <sup>3</sup>	
接続拒否を有効にする※ <sup>2</sup>	OFF	notify_allow_reject	true	ON
		notify_reject_default	true	
オンデマンドモードを有効にする※ <sup>4</sup>	ON	use_on_demand	false	OFF

※<sup>1</sup> 初期値ではレジストリエディターにレジストリキーは存在しません。

※<sup>2</sup> 「接続前に確認を行う」を有効にする必要があります。また初期値では、確認時間の経過後に接続が許可されます。

※<sup>3</sup> 初期値は「10 秒」に設定されており、最大「120 秒」まで設定が変更できます。

※<sup>4</sup> Online ScreenView では無効。

本マニュアルに記載するスクリプトファイルのサンプルは、以下からダウンロードできます。

・32bit OS の場合

[https://www.oceanbridge.jp/isl/aon/download/aon\\_sample\\_editregistry44\\_32bit.zip](https://www.oceanbridge.jp/isl/aon/download/aon_sample_editregistry44_32bit.zip)

・64bit OS の場合

[https://www.oceanbridge.jp/isl/aon/download/aon\\_sample\\_editregistry44\\_64bit.zip](https://www.oceanbridge.jp/isl/aon/download/aon_sample_editregistry44_64bit.zip)

■作成手順

- (1) テキストエディターを開きます。
- (2) 下に記載のレジストリスクリプト記述例の内容をコピー&ペーストします。
- (3) 設定変更を行う端末が 32bit OS の場合は、レジストリキー格納場所を修正します。
- (4) 拡張子(.reg)を確認し、任意の名前を付けて、ファイルを任意の場所に保存します。
- (5) 作成されたファイルを他の端末に配布して実行します。

レジストリスクリプト記述例 (64bit OS の場合)

```

-----
Windows Registry Editor Version 5.00
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥ISL AlwaysOn]
"show_tray"="false" ----- タスクトレイアイコンを表示する: OFF
"global_protect"="true" ----- メインパスワードで設定内容を保護する: ON

"notify_show"="true" ----- 接続前に確認を行う: ON
"notify_timeout"="30" ----- 確認時間(秒):30
"notify_allow_reject"="true" ----- 接続拒否を有効にする: ON
"notify_reject_default"="true" ----- 接続拒否の初期値の設定:拒否

" use_on_demand "="false"----- オンデマンドモードを有効にする: OFF
-----
    
```

レジストリキー格納場所

・32bit OS の場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

・64bit OS の場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

### 5.5.3 プロキシ設定の展開方法

プロキシの設定値(HTTP proxy、HTTP User、HTTP password)はレジストリに暗号化した状態で保存されます。プロキシの設定をスクリプトファイルで配布する場合は、あらかじめ任意のクライアント端末にインストールされた Online ScreenView で設定を行い、暗号化された設定値をエクスポートして配布します。

(1) クライアント端末にインストールされた Online ScreenView の[設定]-[詳細設定]-[接続]-[詳細設定] を選択し、プロキシサーバーの設定を行います。

例 1: プロキシサーバーが「192.168.0.100」

ポート「8080」の場合

HTTP proxy: 192.168.0.100:8080

例 2: PAC ファイルの保存場所が

「http://192.168.0.1/proxy.pac」場合

HTTP PAC: http://192.168.0.1/proxy.pac

※ファイルパス(file://C:¥Users...、file://fileserver/share...等)も指定可能です。

(2) [保存] を選択し、設定画面を閉じます。

(3) Windows の検索ボックスに「regedit」と入力し、レジストリエディターを開きます。

(4) 以下のパスで右クリックし、[エクスポート] を選択して設定値をエクスポートします。

#### ・32bit OS の場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥AutoTransport¥Connect options

#### ・64bit OS の場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥AutoTransport¥Connect options



(5) 任意の名前を付けて、ファイルを任意の場所に保存します。

(6) 作成されたファイルを他の端末に配布して実行します。

(7) サービスの再起動または端末の再起動を行ってレジストリを設定を適用します。

## ■Active Directory のグループポリシーを使用した配布に関して

サイレントインストールのインストーラーおよびレジストリ変更スクリプトは、Active Directory のグループポリシーを使用した配布が可能です。

ただし、グループポリシーのログオンスクリプトを使って配布する場合、Online ScreenView はインストール時に管理者権限を持ったアカウントで実行する必要があるため、配布時には管理者権限を持たせる必要があります。

Microsoft が提供している「PsExec」を使用した方法を、以下参考までにご案内いたします。

※グループポリシーのスタートアップスクリプトを使って配布する場合は、System 権限での配布が行われます。

## ■Microsoft 提供の「PsExec」を使用して管理者権限を付与した形で展開を行う方法

(1) Microsoft 提供の「PsTools」をダウンロードします。

・PsTools

<https://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/bb896649.aspx>

(2) Online ScreenView のサイレントインストール用のインストーラーを用意します。

(3) 「PsExec の使用法」に沿った形でバッチファイルを作成します。

・PsExec の使用法

<https://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/bb897553>

例:

「バッチファイル」「PsExec.exe」「Online ScreenView のインストーラー」の 3 ファイルを同一のフォルダーに配置する場合

### **psexec -u <ユーザー名> -p <パスワード> OnlineScreenView.exe**

※ <ユーザー名>、<パスワード>は管理者権限を持つユーザー名を指定してください。ドメイン環境の場合は「ドメイン名 ¥ユーザー名」、ローカル環境の場合は「コンピューター名 ¥ユーザー名」の形式で入力してください。

※プログラム名には Online ScreenView のインストーラーのファイル名を入力してください。

ファイル名は「OnlineScreenView.exe」など半角スペースがない名称を使用してください。

(3)で保存したバッチファイルを実行します。

グループポリシーを使用する場合は、「バッチファイル」「PsExec.exe」「Online ScreenView のインストーラー」の(3) ファイルを、インストール対象者がアクセス可能な共有フォルダーに保存した上でご利用ください。

## 5.6 クローニング win

- (1) クローニングでは Online ScreenView をインストールしてあらかじめ各種設定を行ったマスターPC を作成し、その端末を複製して Online ScreenView を展開するため、すべての設定を引き継ぐことができます。
- (2) マスターPC は、オンライン状態(サーバーと通信が取れる状態)で作成する必要があります。  
マスターPC となる端末に Online ScreenView をインストールし、クローニングを実施する前に必ず接続確認を行ってください。
- (3) Online ScreenView がインストールされている端末は固有の ID(uid)によって識別されます。  
クローニングでは uid の再取得を行う設定を行ったマスターPC を複製することで、同一の設定値を持つ個々の端末を生成できます。

### 5.6.1 マスターPC の複製前に固有の ID を設定する方法

- (1) [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]を開き、「Online ScreenView Agent」のサービスを停止します。
- (2) レジストリエディターを起動し、以下のキーに移動します。

#### ■32bit OS の場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

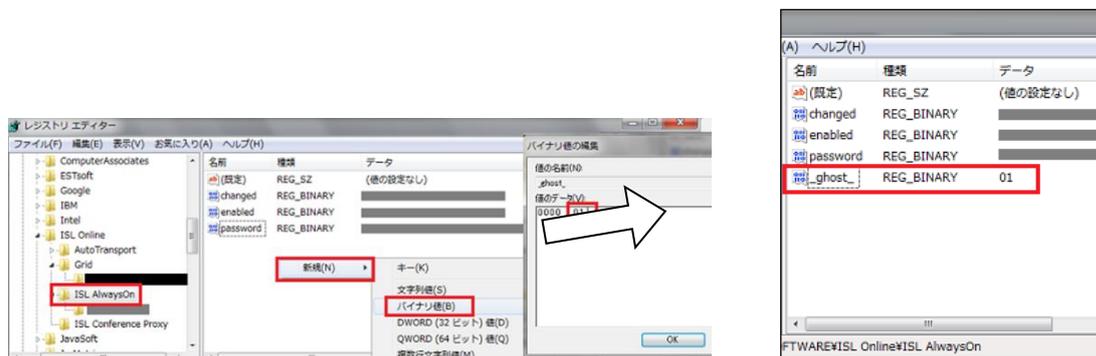
#### ■64bit OS の場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

- (3) バイナリ値 [uid] を削除します。



- (4) [新規]-[バイナリ値]を選択後、[名前]に「\_ghost\_」、[データ]に「01」を入力します。



マスターPC の設定が完了しました。

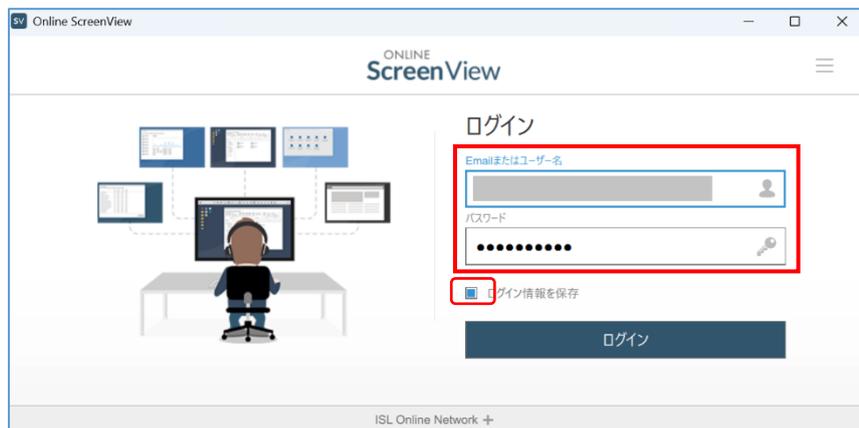
この状態でクライアント端末を再起動または Online ScreenView のサービスを開始すると「\_ghost\_」と「01」の値が新規の固有 ID に更新されるため、これを複製してください。

## 6. PC アプリケーションコンソールから接続する

PC アプリケーションコンソールを使用して常駐接続の操作をご案内します。

### 6.1 接続方法

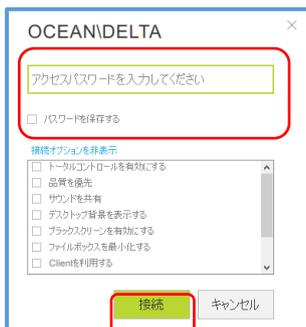
- (1) オペレーターの端末で、Online ScreenView を起動します。
- (2) Online ScreenView アカウント（ユーザー名、パスワード）を入力し[ログイン] を選択します。  
ログイン情報を保存にチェックを入れると、アカウント情報が保存されます。



- (3) [常駐] タブに、ダッシュボード（クライアント一覧）が表示されます。  
「オンライン」状態の端末に対して接続を行うことができます。



(4) 接続先（クライアント）の端末を選択して、アクセスパスワードを入力します。  
 [接続] を選択すると、クライアントに接続を開始します。



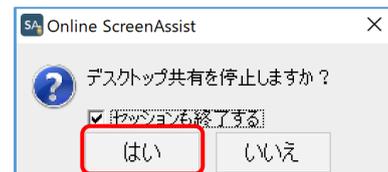
[パスワードを保存する] のチェックボックスを ON にしておくと、アクセスパスワードが保存され、次回以降クライアントに接続する際にアクセスパスワードの入力が不要になります。

誤ったアクセスパスワードを連続して入力した場合にパスワード入力回数の上限が通知されますが、入力の禁止時間はありません。再度端末を選択することでアクセスパスワードを入力できます。

## 6.2 終了方法

### ■ デスクトップ共有画面から終了する

- (1) デスクトップ共有画面(ウィンドウ)端の[×]を選択します
- (2) 終了確認のメッセージが表示されます。  
 [はい]を選択するとデスクトップ共有を終了します。



### ■ ツールバーから終了する

ツールバーの[セッション終了]  を選択します。

### ■ PC アプリケーションコンソールからのログアウト

右上のメニュー  から[ログアウト]を選択します。



## 7. オンラインページから接続する

### 7.1 接続方法

- (1) Online ScreenView ログインページにアクセスし、アカウント(ユーザー名、パスワード)を入力します。  
[ログイン]を選択します。



- (2) 接続可能なコンピューターの一覧が表示されます。接続したいリモートコンピューターの[接続]を選択します。



- (3) 接続用プログラム(Online ScreenView<sup>※</sup>)がダウンロードされます。

ダウンロードしたプログラムを実行します。

※[下向き▼] - [接続(以前のバージョン)]を選択した場合は、Online ScreenView Connect のプログラムがダウンロードされます。

- (4) Windows の場合、「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることがあります。

※ダイアログが表示された場合は、[実行]を選択します。

※設定環境や使用しているブラウザによって、表示されるダイアログが異なります。



(5) インストール時に設定したアクセスパスワードを入力し、[接続]を選択します。



※アクセスパスワード入力に 5 回失敗すると、プログラムが終了します。

再度プログラムを実行して接続を行ってください。

※[パスワードを保存する]をチェックした場合、次回以降アクセスパスワードの入力が不要になりますが、接続オプションの変更はできなくなります。

(6) 接続を開始します。(接続先端末との画面共有が開始します)

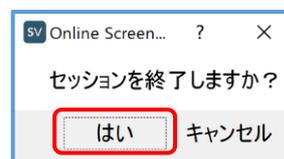
## 7.2 終了方法

### ■ デスクトップ共有画面から終了する

(1) デスクトップ共有画面(ウィンドウ)端の[×]を選択します

(2) 終了確認のメッセージが表示されます。

[はい]を選択するとデスクトップ共有を終了します。



### ■ ツールバーから終了する

ツールバーの[セッション終了]  を選択します。

オンラインページからログアウトされます。

## 8. iPhone/iPad からの操作

### 8.1 iPhone/iPad アプリにログインする

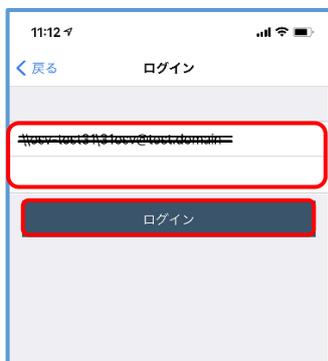
(1) インストールした[ISL Light]をタップします。



(2) [オペレーターとしてログイン]をタップします。



(3) ユーザー名とパスワードを入力します。



管理者のユーザー名(アカウント ID)は「\\ドメイン名\登録メールアドレス」となります。

管理者以外のユーザー名(アカウント ID)は「\\ドメイン名\設定したユーザー名」となります。

モバイル用アプリでは[¥]は使用せず記号から半角バックスラッシュ[\\]を入力してください。

iPhone の場合	「English(US)モード」→「123」→「# +=」	
iPad の場合	「English(US)モード」→「.?123」→「# +=」	

(4) [ログイン]をタップします。

(5) ログインに成功すると常駐接続のトップ画面が表示されます。

## 8.2 接続方法

iPhone/iPad アプリにログインすると接続可能なコンピューターの一覧が表示されます。

### ■接続先端末の詳細情報

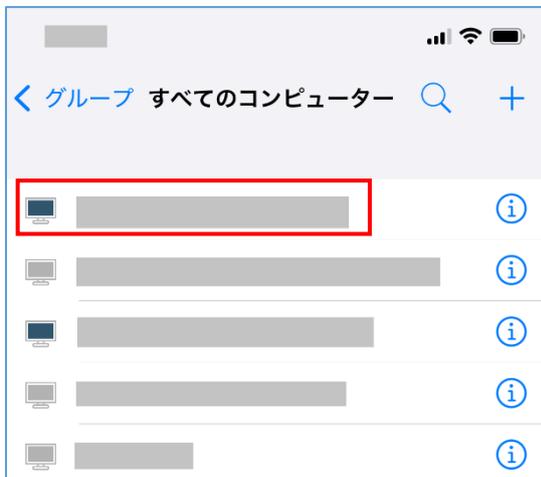
接続先端末の右にある[i]マークをタップすると端末の詳細を確認できます。



PC 名	ドメイン+コンピューター名、あるいは設定したコンピューター名
状態	オンライン/オフライン
IP アドレス	IP アドレス
プラットフォーム	Windows または Mac OS X
ISL AlwaysOn のバージョン	インストールされている ISL AlwaysOn のバージョン
パスワードを保存	リモート PC のアクセスパスワードを記憶します

(1) コンピューターの一覧から、接続したい PC をタップします。

アイコンは接続可能：緑 (  )、接続不可能：グレー (  ) の状態を示します。



(2) アクセスパスワードを入力し、[接続] をタップすると接続が開始されます。

(3) 接続が完了すると、オペレーター側に接続先の PC のデスクトップ画面が表示されます。



※[設定]-[操作方法の表示] をオンにしている場合は、接続先の PC のデスクトップ画面より先に、iPhone/iPad 側に画面の操作方法が表示されます。

※フィルタの設定で iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスによるアクセス制限を行うことはできません。

■WOL 送信

ネットワーク経由で、接続先のコンピューターを起動（Mac の場合はスリープモードを解除）できます。接続先の端末がオフラインの時に、[接続] が [WOL 送信] に変わります。

・Windows の場合

各端末の電源やマザーボード、OS が ACPI 機能に対応しているほか、ネットワークアダプタがマジックパケットを解釈できる場合に有効です。

また、事前に BIOS 画面で各種設定を行う必要があります。

・Mac の場合

システム環境設定で、電源アダプタの「ネットワークアクセスによるスリープ解除」に  が入っている必要があります。

### 8.3 接続オプション

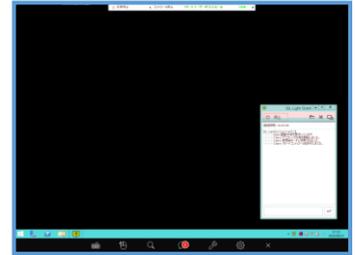
常駐接続では、アクセスパスワード入力時に接続に関するオプションを指定することができます。利用する場合は、[接続オプションを表示]をタップして表示されるオプションを選択して接続を行います。また、接続オプションの設定内容は、実際に接続を開始すると保存されます。

Client を利用する	接続後、クライアント端末上に Online ScreenView Client (メニュー画面) およびツールバーを表示します。
ブラックスクリーンを有効にする <sup>※1</sup>	接続後、接続先の画面をブラックスクリーンにして一時的に相手に操作内容を見せないようにします。
デスクトップ背景を表示する	接続後、クライアント端末のデスクトップ背景を表示します。 ※このオプションはご利用できません。
利用中の RDP のセッションへ接続する <sup>※1</sup>	Online ScreenView ではサポート対象外となります。
メインウィンドウを非表示にする <sup>※1</sup>	接続後、クライアント端末のデスクトップ上に接続中であることを通知するミニウィンドウ (右) を表示します ([Client を利用する] と併用する必要があります)。 
品質を優先 <sup>※1</sup>	接続後のデスクトップ共有画面の品質を優先して表示します。

※1 クライアント端末が Windows の場合のみご利用になれます。

## 8.4 メニューバー

デスクトップ共有中は画面下部にメニューバーが表示されます。  
メニューバー内のツールを使い、さまざまなリモート操作を行うことができます。



### ▼iPhone のメニューバー



※iPhone の ISL Light には[設定]アイコンは表示されません。  
※設定の機能は、[管理ツール]アイコン内に格納されています。

### ▼iPad のメニューバー



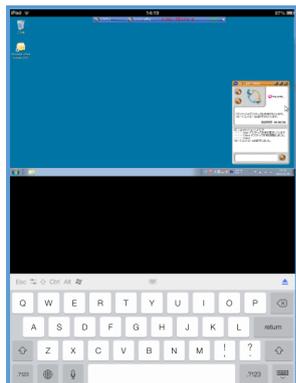
以下、iPad の表示ケースで詳細をご案内します。

①	キーボード入力	リモート PC 上でキーボードの入力を行います
②	マウス操作	マウスの左クリック/右クリックを切りかえます
③	画面サイズ	共有画面のウィンドウサイズを変更します
④	簡易ログ表示	簡易ログを表示します
⑤	管理ツール <sup>※1</sup>	タスクマネージャーの実行や[Ctrl + Alt + Del]の送信を行います
⑥	設定	リモート PC のデスクトップ背景の表示/非表示などを行います
⑦	終了	デスクトップ共有またはリモート接続を終了します

※1 一部の機能は、クライアント PC の OS が Windows の場合のみご利用いただけます。

### 8.4.1 キーボード入力

キーボードを使って、リモート PC 上で文字を入力します。



※リモート PC の OS が Windows の場合は、上部の切り替えボタンをタップしてファンクションキーやカーソルキーが入力できます。



リモート PC の日本語入力システム (Windows: 言語バー) の設定により iPhone/iPad から「日本語ローマ字入力」ができない場合は、リモート PC の日本語入力システムの入力モードを「ひらがな」に変更してください。

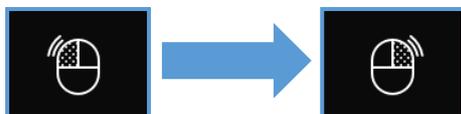


左の図では、Windows の IME ツールバー (言語バー) を表示しています。

リモート PC の OS が Mac の場合は、キーボード上の一部のキーはご利用いただけません。キーボードの入力を終了する場合はキーボード上部右側の  をタップしてください。

### 8.4.2 マウス操作

マウスの左クリック/右クリックを切り替えて、リモート PC を操作します。

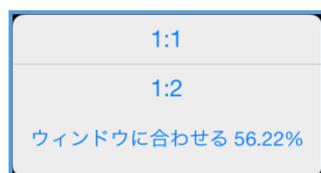


マウスの左クリック/右クリックを切り替えて、リモート PC を操作します

共有画面 (リモート PC) 上で1度右クリックを行うと、自動的にマウスは左クリックに戻ります。続けて右クリックを行う場合は、再度 [マウス] アイコンをタップしてください。

### 8.4.3 画面サイズ

共有画面の、ウィンドウサイズを変更します。



いずれの画面サイズに変更した場合でも、iPhone / iPad のピンチアウト (拡大表示) やピンチイン (縮小表示) の操作を行うことができます。

共有画面を実サイズで表示する場合は、[1:1] を選択してください。

### 8.4.4 ツール



デスクトップ画面を操作する際の設定の変更やリモート PC に対して「Ctrl + Alt + Del」などのコマンドの送信を行います。

■設定 (iPhone の場合)

設定画面を開きます。

■デスクトップ共有を要求

リモート PC の画面操作が許可されていない場合に表示されます。

以下のいずれかのモードを選択し、デスクトップのコントロールを要求します。

デフォルトで実行	画面共有時、文字情報を Unicode で送信します。
コンパクトモードで実行	画面共有時、文字情報を非 Unicode で送信します。

実行後、PC 側で要求が許可されると画面操作が可能になります。

■タスクマネージャー (リモート PC の OS が Windows の場合のみ)

リモート PC 上で、タスクマネージャーを起動します。

■ブラックスクリーンを有効/無効にする (リモート PC の OS が Windows の場合のみ)

接続先の端末画面を黒画面にして、一時的に相手に操作内容を見せないようにします。

■管理者モード (リモート PC の OS が Windows の場合のみ)

デスクトップ共有時に自動で「管理者モード」が実行されます。

■Ctrl + Alt + Del (リモート PC の OS が Windows の場合のみ)

リモート PC に、「Ctrl + Alt + Del」のコマンドを送信します。再起動を行った端末でログイン画面が表示された場合などに有効です。

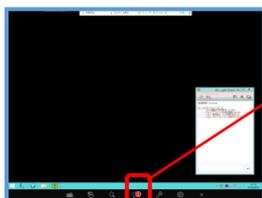
### 8.4.5 簡易ログ表示

簡易ログを表示するウィンドウ「ワンタイム」を表示します。

ログ情報数の表示

デスクトップ共有中の簡易接続ログの件数が表示されます。

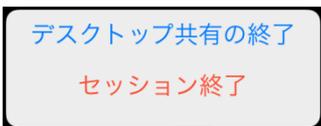
ファイル送受信の履歴、操作履歴などを確認できます。



### 8.4.6 終了



デスクトップ共有またはリモート接続を終了します。



・デスクトップ共有の終了

デスクトップ共有を終了し、チャット画面に戻ります。

セッションは終了していないため、引き続きテキストチャット、[デスクトップ共有を要求]の実行ができます。

・セッション終了

セッションを終了し、コンピューターの一覧画面に戻ります。

## 8.5 サブメニュー

セッションコード取得画面(ワンタイム)、コンピューターの一覧(常駐)およびアプリケーション起動画面では、左上の三本線ボタン  をタップしてサブメニューを開くことができます。

サブメニューではログアウトのほか、履歴やバージョン情報などを確認できます。



セッションコード取得  
(ワンタイム)



コンピューターの一覧  
(常駐)



アプリケーション起動画面  
(共通)

※セッションコード取得(ワンタイム)は Online ScreenView ではご利用できません。

### ▼サブメニュー



セッション参加	セッションコードを入力して、クライアントとしてセッションを開始します。 Online ScreenView ではご利用できません。
設定	次頁の「アプリケーション設定」を参照ください。
通知センター※1	サーバーから送られた通知を確認します(未認証の ISL Online アカウントが存在している場合に通知が送信されます)
ログ※2	ISL Light for iOS のログ情報を確認します。
バージョン情報	現在使用中の ISL Light for iOS のバージョンを確認します。
ログアウト	ログイン中のアカウントからログアウトします。

## 8.6 アプリケーションの設定

- (1) ホーム画面の「設定」をタップします
- (2) 設定ページに移動します。

アプリケーションの一覧から「ISL Light」をタップします。設定内容が表示されます。



ISL LIGHT にアクセスを許可	
写真	「写真」へのアクセスを許可/禁止します。
Siriと検索	オン:ISL Light for iOS の情報を Siri の検索対象に追加します。
通知	通知を許可:ISL Light for iOS の通知を許可/禁止します。
ユーザー証明書	
ログイン状態を記憶	オン:前回ログインしたユーザー名、パスワードを記憶します。
追加	
言語	ISL Light for iOS の使用言語を変更します。
マウスコントロール	フリー:フリーハンドでマウスを操作します。 ロック:画面中央にポインターを表示し、マウスを固定して操作します。必ずしもポインター上でダブルタップを行う必要はありません。ポインターを対象に合わせた状態で、共有画面上のどこでもタップして実行することができます。

## ■接続設定の変更について

アプリケーション起動画面（アカウントからログアウトした状態）で[メニュー]-[設定]を選択すると、以下の設定が変更できます。



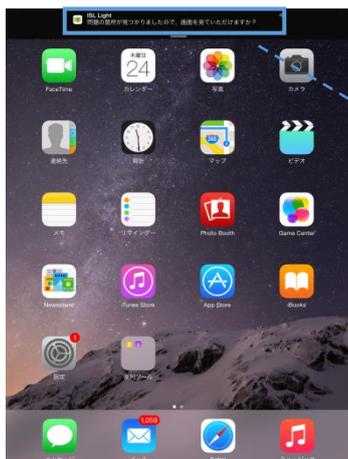
接続設定	
接続先	www.islonline.net
TCP ポート	TCP ポート(番号)を指定します(デフォルト:7615)。
接続方式	ISL Light for iOS で使用する通信方式を指定します(デフォルト:自動検出)。
HTTPを有効にする	HTTP(ポート80)を有効(オン)/無効(オフ)にします。
HTTPSを有効にする	HTTPS(ポート443)を有効(オン)/無効(オフ)にします。
認証設定	
ログイン情報を保存	オン:前回ログインしたユーザー名、パスワードを記憶します。
その他	
言語	ISL Light for iOS の使用言語を変更します。
マウスコントロール	フリー:フリーハンドでマウスを操作します。 ロック:画面中央にポインターを表示し、マウスを固定して操作します。必ずしもポインター上でダブルタップを行う必要はありません。ポインターを対象に合わせた状態で、共有画面上のどこでもタップして実行することができます。
プレビュー	
プレビュー機能はサポート対象外です(主にトラブルシューティングで使用します)。 特定現象の調査が必要な場合など、サポート窓口から個別に案内がない限り使用しないでください。	

## ご参考：通知機能について



ご利用環境(iOS のバージョンなど)により、ISL Light for iOS 起動時に左のようなメッセージが表示される場合があります。通知機能を有効にするには[OK] を、無効にする場合は[許可しない] をタップしてください。

通知機能を有効にすると、製品に関するアラートや関連情報が通知で表示されるようになります。設定はホーム画面の「設定」で変更できます。



通知 (バナータイプ)

## 9. Android 端末からの操作

### 9.1 Android アプリにログインする

(1) インストールした[ISL Light]を起動します。



(2) ログイン画面で[オペレーターとしてログイン]をタップします。



(3) ユーザー名とパスワードを入力します。



管理者のユーザー名(アカウント ID)は「\\ドメイン名\登録メールアドレス」となります。

管理者以外のユーザー名(アカウント ID)は「\\ドメイン名\設定したユーザー名」となります。

[¥]は使用せずバックスラッシュ[\]を入力します。

[\]は、「あ」、「a」、「1」の順にタップ、「9」を長押し、右の順に操作します。



(4) [ログイン]をタップします。

(5) ログインに成功すると常駐接続のトップ画面が表示されます。

## 9.2 接続方法

アプリにログインすると接続可能なコンピューターの一覧が表示されます。

### ■接続先端末の詳細情報

接続先の PC 名をタップすると端末の詳細を確認できます。

PC 名	ドメイン+コンピューター名、 あるいは設定したコンピューター名	
状態	オンライン/オフライン	
IP アドレス	IP アドレス	
プラットフォーム	Windows または Mac OS X	
Online ScreenView Agent バージョン	インストールされている Online ScreenView のバージョン情報	
タグ	タグ情報を表示します	
パスワードを保存	リモート PC のアクセスパスワードを記憶します	

- コンピューター一覧から接続する PC 名をタップします。  
[パスワードを保存]を有効にし、[接続]をタップします。  
※パスワードを保存しない場合は[パスワードを保存]が無効にします。
- アクセスパスワードを入力し、[接続]をタップします。  
※[パスワードを保存]を有効にして「接続」すると次回から「アクセスパスワード」の入力は省略されます。

[Red Box]	オンライン	
[Redacted]	オンライン	
[Redacted]	オフライン	
[Redacted]	オフライン	
[Redacted]	オフライン	

- 接続が完了すると、PC 画面が表示されます。  
※[設定] の [操作方法的表示] を [オン] にしている場合は、接続先の PC のデスクトップ画面より先に[操作方法]の画面が表示されます。

## 9.3 メニューバー

デスクトップ共有中は画面下部にメニューバーが表示されます。

メニューバー内のツールを使い、さまざまなリモート操作を行うことができます。



①	キーボード入力	リモート PC 上でキーボードの入力を行います
②	マウス操作	マウスの左クリック/右クリックを切りかえます
③	画面サイズ	共有画面のウィンドウサイズを変更します
④	設定	リモート PC のデスクトップ背景の表示/非表示などを行います
⑤	チャットウィンドウ	簡易ログを表示します
⑥	終了	デスクトップ共有またはリモート接続を終了します

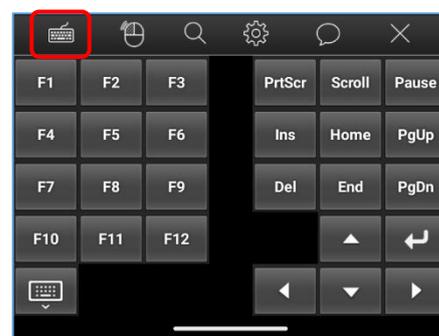
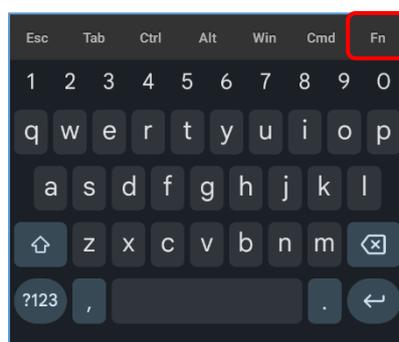
※1 一部の機能は、クライアント PC の OS が Windows の場合のみご利用いただけます。

### 9.3.1 キーボード入力

キーボードを使って、リモート PC 上で文字を入力します。



リモート PC の OS が Windows の場合は、下の図の「Fn」をタップしてファンクションキーやカーソルキーが入力できます。



元に戻る場合は、[キーボード]アイコンをタップします。

リモート PC の日本語入力システム (Windows: 言語バー) の操作により Android から「ローマ字入力」ができない場合は、リモート PC の日本語入力システムの入力モードを「ひらがな」に変更してください。



左の図では、Windows の IME ツールバー (言語バー) を表示しています。

リモート PC の OS が Mac の場合は、キーボード上の一部のキーはご利用いただけません。

キーボードの入力を終了する場合は Android 端末本体の「戻る」をタップしてください。

### 9.3.2 マウス操作

マウスの左クリック/右クリックを切り替えて、リモート PC を操作します。



マウスの左クリック/右クリックを切り替えて、リモート PC を操作します

共有画面(リモート PC)上で1度右クリックを行うと、自動的にマウスは左クリックに戻ります。

続けて右クリックを行う場合は、再度[マウス]アイコンをタップしてください。

### 9.3.3 画面サイズ

共有画面の、ウィンドウサイズを変更します。

画面サイズを変更した場合でも、Android 端末のピンチアウト(拡大表示)やピンチイン(縮小表示)の操作を行うことができます。

共有画面を実サイズで表示する場合は、[1:1] を選択してください。

ズーム設定

ウィンドウに合わせる

1:2

1:1

### 9.3.4 設定

デスクトップ画面を操作する際の設定の変更やリモート PC に対して「Ctrl + Alt + Del」などのコマンド送信を行います。

設定

- ① 設定
- ② 画質を選択
- ③ Del の送信
- ④ タスク マネージャー
- ⑤ Ctrl + Alt + Del の送信
- ⑥ セッション再接続を有効にする

設定

設定

操作方法の表示  
開始時に操作方法を表示する

デスクトップ背景の表示  
デスクトップ背景を表示しない

その他

マウス コントロール

言語

画面共有・スクリーンショット

PNG形式のスクリーンショット

画面解像度の自動調整

①	設定	操作方法の表示	デスクトップ共有開始時に、画面の操作方法を表示/非表示にします。
		デスクトップ背景の表示	画面共有時のクライアントのデスクトップ背景を表示/非表示にします。
		マウスコントロール	フリー:フリーハンドでマウスを操作します。 ロック:画面中央にポインターを表示し、マウスを固定して操作します。 必ずしもポインター上でダブルタップを行う必要はありません。 ポインターを対象に合わせた状態で、共有画面上のどこでもタップして実行することができます
		言語	使用言語を変更します
		PNG形式のスクリーンショット	画面送信方式が変更されます
		画面解像度の自動調整	Android から PC への接続時、自動的に解像度を最適化します。
②	画質の選択	品質優先	ハイカラー (ISSC Triple @60%) に設定されます。
		速度優先	共有画面の色数を落とし情報量を減らし速度を優先します。
③	Del の送信	Delete キーを送信します。	
④	タスクマネージャ	タスクマネージャを起動します。	
⑤	Ctrl+Alt+Del の送信	Ctrl+Alt+Del を送信します。	
⑥	セッション再接続を有効にする	Online ScreenView では自動的に再接続を有効にするため、この設定は利用しません。	

# 10. リモートコンピューターの操作

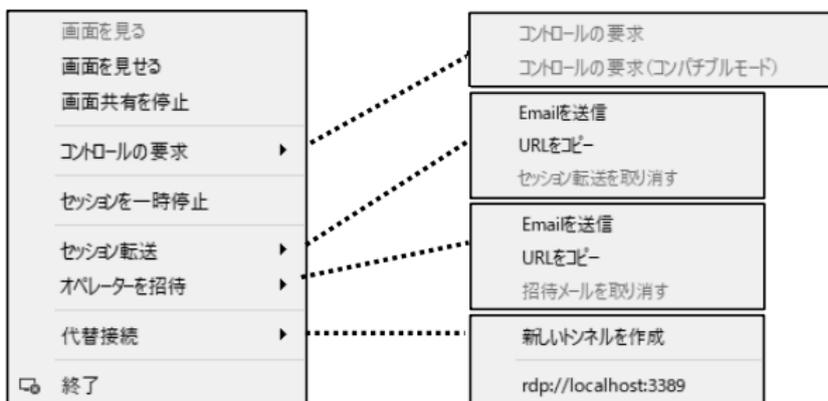
リモート接続した際の操作方法についてご案内します。

## 10.1 ツールバー



① ダッシュボードの表示/非表示  
 ダッシュボードを前面に表示します。

② 画面共有



画面を見る	接続先の相手のデスクトップ画面を表示します。
画面を見せる	自身のデスクトップ画面を接続先に表示します。 Online ScreenView では使用しません。
画面共有を停止	デスクトップ画面の共有を停止します。
コントロールの要求	接続先にコントロールを要求します。 ※コンパチブルモード: 接続元と接続先の双方でコントロールを行います(通常は双方からコントロールを行った場合接続先の操作が優先されます)。接続先の端末で F12 キーを押下するとコントロールを拒否できます。
セッションを一時停止	セッション(接続)を一時停止します。
セッション転送 オペレーターを招待	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Email を送信ダイアログ上にメールアドレスを入力し、Email を送信してセッションに招待します。規定のメールソフトを使用して送信することも可能です。</li> <li>•URL をコピーセッション転送</li> <li>•招待用の URL をクリップボード内にコピーします。コピーした URL はメモ帳などに張り付けできます。</li> <li>•セッション転送/招待メールを取り消す [Email を送信][URL をコピー]で取得した URL を無効にします。</li> </ul>
代替接続	Online ScreenView 上から RDP 接続、SSH 接続によるセッションを実行します。
終了	セッション(接続)を終了します

③ ファイル転送

ファイルの送信および受信を行います。また、Online ScreenView 4.4.2031.107 以降では、ファイルマネージャーを用いて接続先のディレクトリを操作することが可能です。  
 ご注意:クライアントが Mac OS の場合、ファイル転送で送信した「フォルダー」はゴミ箱に移動できなくなります。

④ チャット



チャットウィンドウを表示します。  
 テキストおよび音声、ビデオを使用してチャットできます。

補足:Online ScreenView でチャットをご利用になる場合は、  
 接続オプション [Client を利用する] を有効にします。

⑤モニター

接続先がマルチディスプレイの場合、モニターの選択ボタンおよびマルチウィンドウ表示ボタンが表示されます



⑥ズーム

実寸 (1:1)、または共有画面の解像度に合わせます。



⑦描画ツール



ペン	ペンで書き込みを行います。 ※デスクトップ画面を[見る][見せる]側の双方から書き込みできます。 ※書き込みはデフォルトで10秒後に自動的に消去されます。
消去	ペンによる書き込み、ポインターを消去します。 ※右クリックすると「5秒」「10秒」「手動」の中から、消去のタイミングを設定できます。
ポインター	ポインター (スタンプ) を押印します。 ※初期設定の場合、ポインターは10秒後に自動的に消去されます。
画面操作	マウスポインターに切り替えて画面操作を行います。

⑧ キーボード

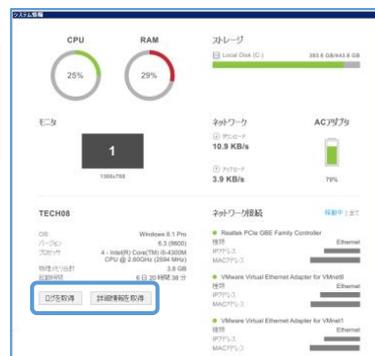
リモートの IME を優先	接続先の IME を優先して使用します（入力したキーが Unicode で接続先に送信されます）。
ローカルの IME を優先 <sup>※1</sup>	接続元の IME を優先して使用します。接続先の入力言語は、マウス操作で切り替えられます。
自動（ ）	Windows の場合、初期設定で選択されています。 ISL Light を操作している端末の IME が日本語の場合、自動でリモートの IME を優先します。
Ctrl + Alt + Del <sup>※2</sup>	クライアントに [Ctrl + Alt + Del] を送信します。 （管理者モードが有効な場合のみ実行できます）
Win + L <sup>※2</sup>	[Windows + L] の操作（ロック）を実行します。
Win + R <sup>※2</sup>	[Windows + R] の操作（ファイル名を指定して実行）を実行します。
クリップボードを利用	オペレーターとクライアント間のクリップボードの共有（保存したテキストの貼り付け）を許可/禁止できます。
Print Screen	共有画面のスクリーンショットを取得します。 （取得したスクリーンショットは、実行した端末のクリップボード内に保存されます。ペイントソフトなどを起動して貼り付けを行ってください）
クリップボードのテキストを入力 <sup>※3</sup>	接続元のクリップボードのテキストを Unicode で接続先に送信します。OS のログイン画面にパスワードを入力する際になどに利用します。送信可能な文字数の上限は 1000 バイトです。

- ※1 接続元と接続先の入力モードが「日本語」の場合、[Shift]+他のキーを同時に押下すると接続先で [Shift] キーが押された状態が続きます。再度 [Shift] キーを押すことで解除できます。
- ※2 クライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ※3 クライアントが macOS の場合、英数字などの 1 バイト文字のみ送信可能です。

⑨ システム情報

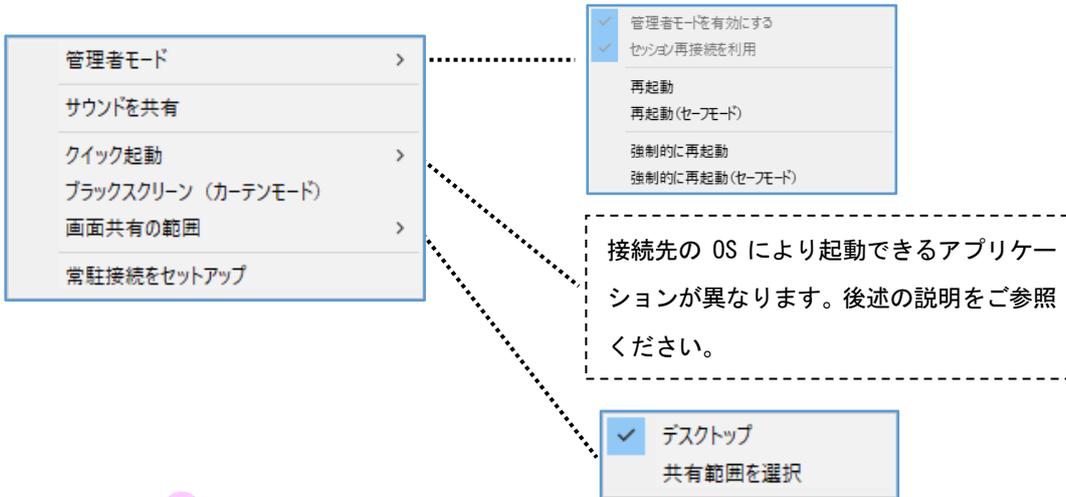
接続先の主なシステム情報を取得します。

ログを取得	接続先の Online ScreenView のログを取得します。
詳細情報を取得	接続先の詳細なシステム情報を取得します。 この機能は主にトラブルシューティングで使用します。



⑩ ツール

接続先の再起動やブラックスクリーンなどの機能を実行します。



■ 管理者モード <sup>win</sup>

管理者モードを有効にすると、クライアント端末 (Windows) 上に表示された UAC 画面に対する操作やセッション再接続を有効にできます。

※ セッション再接続について

セッション再接続を有効にすると、オペレーター側で「再起動」「シャットダウン」「スタンバイ」「ログオフ」「休止状態」を実行しても、クライアント端末の起動後 (ログイン後) に再度同じセッションに接続されます。また、クライアント端末が Windows の場合は、以下の方法で再起動を行うことができます。

再起動	クライアント端末の再起動を行います。
強制的に再起動	強制的にクライアント端末の再起動を行います。
再起動 (セーフモード)	セーフモードでクライアントの再起動を行います。
強制的に再起動 (セーフモード)	強制的にセーフモードでクライアントの再起動を行います。

補足：常駐接続では、セッション再接続が自動で有効になります。

## ■ サウンドを共有

Windows OS への接続時に、接続先の音声共有ができます。

サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスをサポートしている必要があります。

[手順]

- (1)[メニュー]-[設定]を選択します。
- (2)[音声およびビデオ]を選択します。
- (3)[音声出力デバイス]から使用するデバイスを選択後、[テスト]を選択して音声確認テストを行います。  
正常に設定されている場合はピープ音が聞こえます

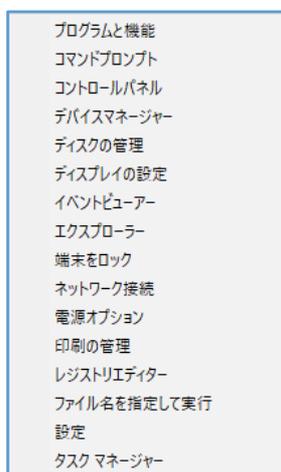


- (4)設定画面を閉じます。

## ■ クイック起動

接続先の OS に搭載されているシステムアプリケーションを起動します。起動できるアプリケーションの種類は、OS により異なります。

### Windows



### mac OS

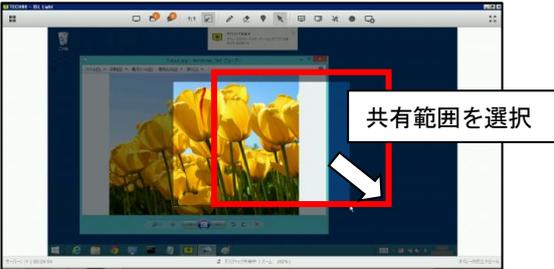


## ■ ブラックスクリーン(カーテンモード) win

接続先の端末画面を黒画面にして、一時的に相手に操作内容を見せないようにします。

■画面共有の範囲 win

画面共有(見る側)の範囲を指定します。

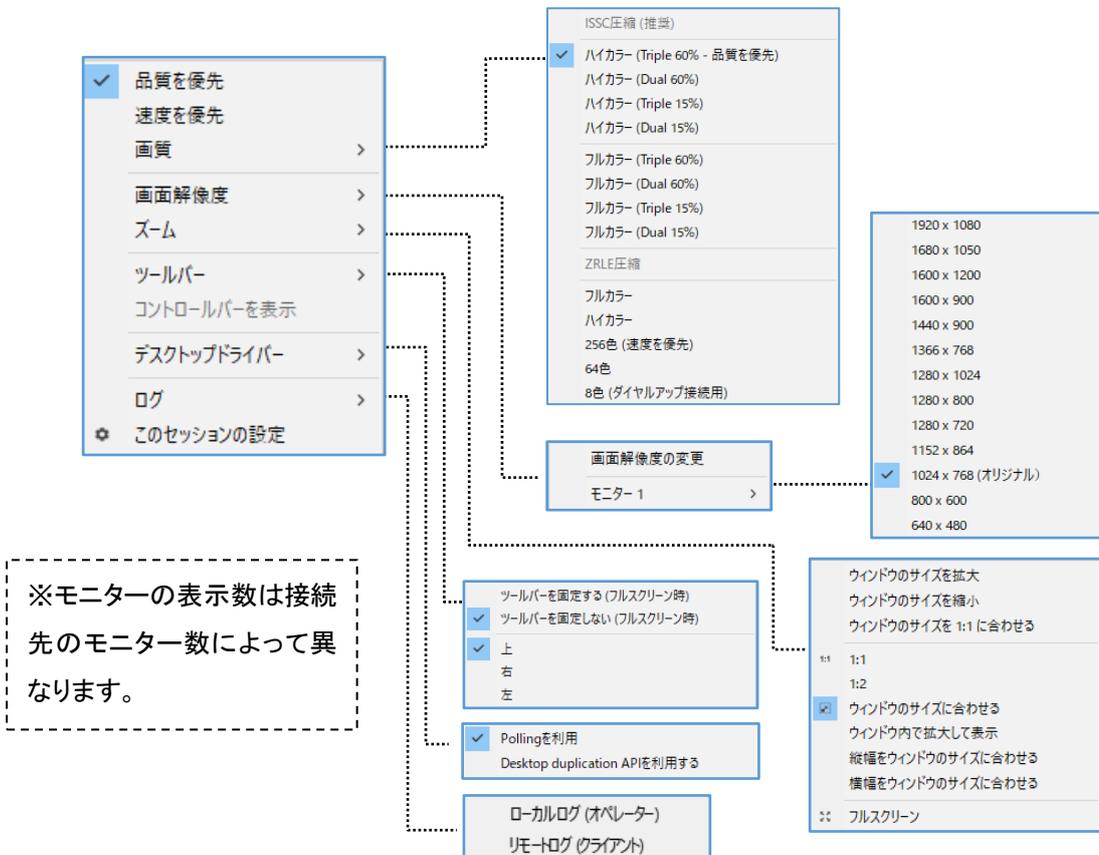
デスクトップ	画面共有の範囲をデスクトップ全体に指定します。 (デフォルトの指定範囲はデスクトップ全体となっています)
共有範囲を選択	画面共有の範囲を任意に指定します。 [手順] 1. 画面共有開始後、[共有範囲を選択] を選択します。 2. マウスをドラッグして、共有範囲を選択します。  3. 選択した範囲のみが画面上に表示されます。

■常駐接続をセットアップ

接続先の端末に Online ScreenView Agent のインストールを行います。

⑫ 設定

画質・表示サイズ・セッションに関する設定などを行います。



■品質を優先

接続先のデスクトップ共有画面を品質優先で表示します。

■速度を優先

接続先のデスクトップ共有画面を速度優先で表示します。

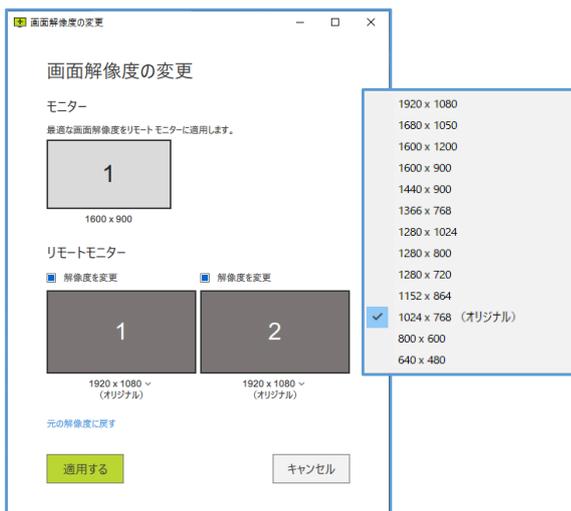
■画質

「品質を優先」「速度を優先」を含むすべてのオプションが選択できます。

■画面解像度

接続先のモニターの解像度を変更できます。接続先が以下の条件に当てはまる場合にご利用いただけます。

※接続オプション[Client を利用する]利用時は、本機能はご利用になりません。



セッションを終了すると、接続先のモニター解像度は接続前の状態に戻ります。

■ズーム

共有画面の画質およびサイズを調整します。

補足：Windows 版の場合、フルスクリーンは[Ctrl + Esc]のショートカットでも切り替えができます。  
(スタート画面も同時に起動します)。

■ツールバー

ツールバーの表示に関する設定を行います。



ツールバーを固定する/ 固定しない	フルスクリーン実行時のツールバーの表示/非表示を設定します。
上 左 右	「上」「左」「右」の中から、ツールバーの表示位置を選択します。

■コントロールバーを表示/隠す

コントロールバーの表示/非表示を設定します。

コントロールバーは、自分が[見せる]側の場合のみ表示されます。



■デスクトップドライバー

画面共有に使用するデスクトップドライバーを選択します。

注意: 選択をしてもチェックが表示されない場合があります。

Windows 8 以降	Desktop duplication API または Polling が選択できます。
Windows 8 未満	Polling が選択できます。
Mac OS	Hooks が選択できます。

■システム情報

接続先のシステムに関する情報や、Online ScreenView のログを取得します。

ローカルログ (オペレーター)	オペレーターの Online ScreenView ログを取得します。
ローカルログ (クライアント)	クライアントの Online ScreenView ログを取得します。

■このセッションの設定

接続中のセッションに関する設定画面を開きます。

画面操作	クリップボードの利用
	デスクトップ共有 (見せる)
	デスクトップ共有時 (見せる) の操作
	デスクトップ共有 (見る)
	デスクトップ共有 (見る) の操作
ファイル転送	ファイルマネージャー
	ファイル受信
	ファイル送信
ポート転送	localhost 以外へ及び localhost 以外からのトンネル作成
	クライアントからのポート転送
	オペレーターからのポート転送
レコーディング	レコーディング

⑬セッション終了

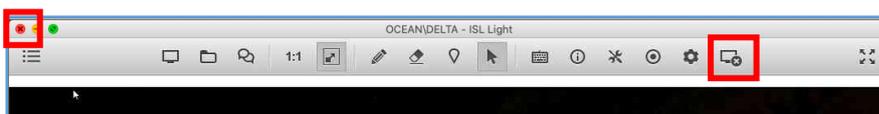
接続中のセッションを終了します。

終了手順:

[Windows] ・ [Linux]



[macOS]



セッションの終了確認メッセージが表示されます。

[終了] を選択するとセッションが終了します。



⑭フルスクリーン

共有画面をフルスクリーンで表示します。

補足:オペレーターがWindows 版の場合、フルスクリーンは[Ctrl+Esc]のショートカットで切り替えができます。

## 10. 2接続オプション

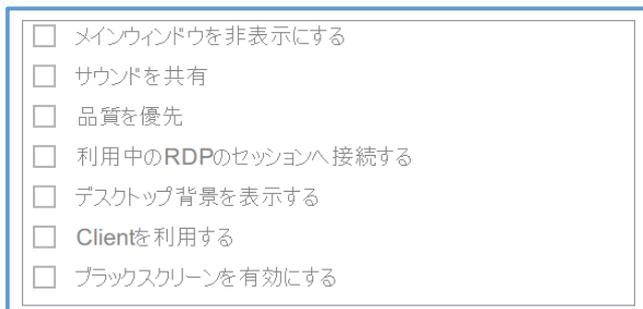
接続を開始する前に[接続オプションを表示する]を選択し、接続後の画面共有の状態などを指定することができます。



※接続オプションは一度設定(有効・無効)を行った後は設定内容が保存されます。

※接続オプションは、各オプションの機能を利用するときのみ[有効]にしてください。

(必要のないオプションは[無効]の状態にして接続を開始してください)



※PCアプリケーションコンソール、オンラインページどちらも共通の画面です

メインウィンドウを非表示にする※ <sup>1</sup>	接続後、クライアント端末のデスクトップ上に接続中であることを通知するミニウィンドウ(右)を表示します([Clientを利用する]と併用する必要があります)。
サウンドを共有※ <sup>1</sup>	接続先の音声共有できます。サウンドを共有するためには、接続先が音声出力デバイスを持っている必要があります。
品質を優先※ <sup>1</sup>	接続後のデスクトップ共有画面の品質を優先して表示します。
利用中の RDP のセッションへ接続する※ <sup>1</sup>	クライアント端末の RDP 接続(Remote Desktop Protocol/リモート デスクトップ プロトコルで接続中のセッション)に対して、接続を行います。
デスクトップ背景を表示する	接続後、クライアント端末のデスクトップ背景を表示します。
Client を利用する	接続後、クライアント端末上に Online ScreenView Client(メニュー画面)およびツールバーを表示します。
ブラックスクリーンを有効にする※ <sup>1</sup>	接続後、クライアント端末の画面をブラックスクリーンにします。

※<sup>1</sup> クライアント端末が Windows の場合のみご利用になれます。

## ■「Client を利用する」オプションについて

Online ScreenView では必要な各種プラグインをあらかじめ含んだプログラムを利用することで、接続時間の短縮(高速化)を実現しています。高速接続を行うには[Client を利用する]のオプションは無効になっている必要があります。高速接続ではクライアント端末のデスクトップ画面に「ファイルボックス」が表示されます。ファイルボックスにファイル(フォルダー)をドラッグ&ドロップすると、クライアント端末からファイル(フォルダー)を転送できます。転送されたファイルは、ファイル転送で指定した受信ファイルの保存先に保存されます。クライアント端末にファイルを転送した場合は、デスクトップ上にファイルが保存されます。



高速接続の場合、Online ScreenView のツールバーおよび Online ScreenView Client のメニュー画面は表示されません。

また、一部の機能がご利用いただけないため、これらの機能を利用する際はこのオプションにチェックを入れます。

## ■「ブラックスクリーンを有効にする」オプションについて

オプションを有効(ON)にすると、画面共有と同時にクライアントの画面を黒表示にして、操作画面を見せないようにすることができます。

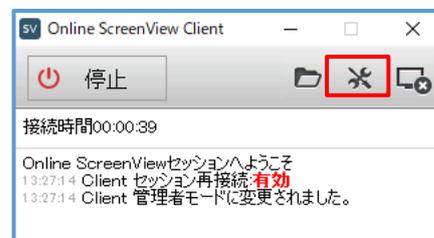
ブラックスクリーンは、ツールバーから再度ブラックスクリーンを実行するか、リモート PC 側で[ESC] キーを入力すると解除されます(解除されるまでに数秒かかります)。

### (補足)

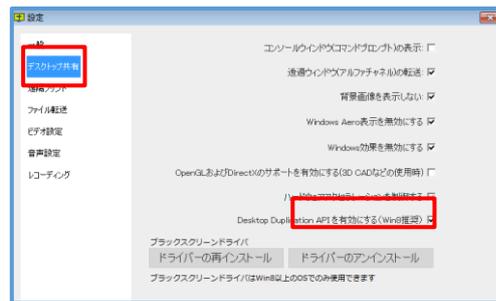
- ・クライアント端末が Windows の場合のみ実行できます。
- ・サインイン/サインアウト時やロック画面への切り替え、[Ctrl + Alt + Del]キー押下時など、Windows セッションが切り替わる際にブラックスクリーンが一時的に無効になります。
- ・ブラックスクリーン上にオペレーターのマウスカーソルの動きが表示されます。

## ■ドライバーのインストール

- (1) セッションを開始します。
- (2) クライアント端末のチャットウィンドウの[設定]を選択します。



(3) メニューから[デスクトップ共有]を選択し [ドライバーの再インストール]からインストールを行います (UAC を有効にしている場合は、インストール時にメッセージが表示されます。[はい]を選択してインストールを許可してください)。



### 10. 3ファイルを転送する

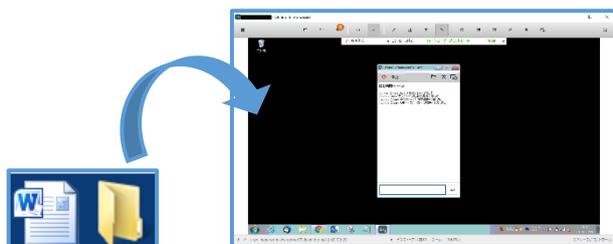
セッションを開始すると、ファイルやフォルダーの転送(送信・受信)ができます。  
 ※接続方法により表示されるウィンドウ、表示が異なります。

《注意》

2018年3月現在クライアントがMacの場合、ファイル転送で送信した「フォルダー」はゴミ箱に移動できません。  
 また、iPhone、iPad や Android などのモバイル端末ではファイルを転送することはできません。

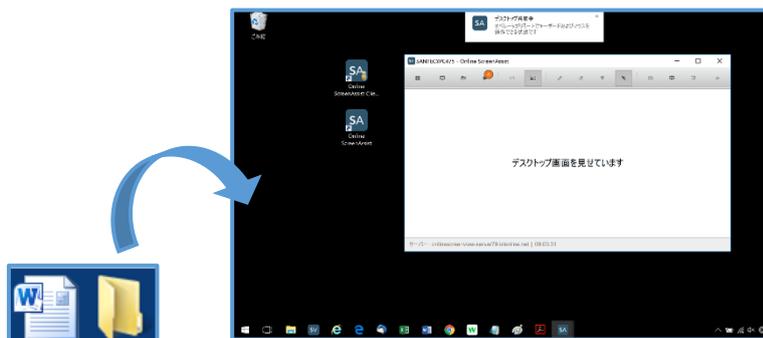
【方法 1】共有画面上にドラッグ & ドロップする

共有画面上にファイルまたはフォルダーをドラッグ & ドロップします。



【方法 2】ツール画面上にドラッグ & ドロップする(PC アプリケーションコンソール)

ツール画面上にファイル/フォルダーをドラッグ & ドロップします。

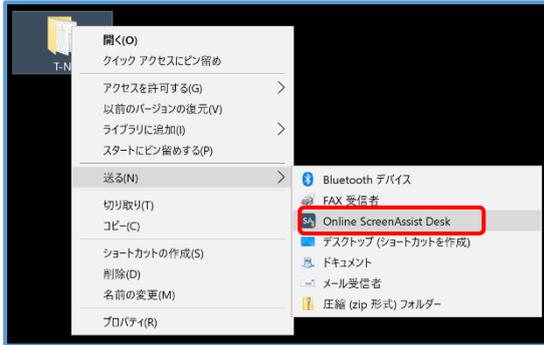


※ツール画面は[見せる]を実行した PC 上に表示されます。

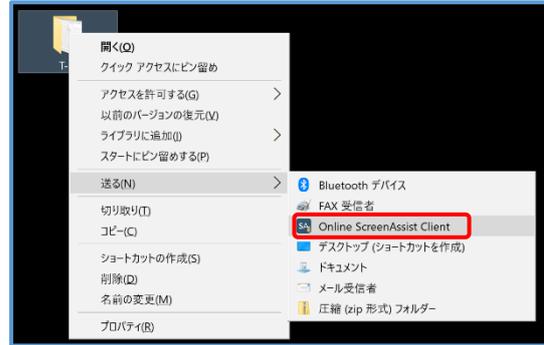
## 【方法 3】右クリックで送信する対象を選択する

- (1) 送信したいファイル(フォルダー)の上で右クリックを行います。
- (2) [送る]-[Online ScreenView Desk(Online ScreenView Client)]を選択します。

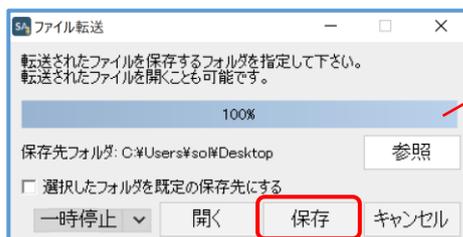
## ▼手元の PC から送信する場合



## ▼クライアントから送信する場合

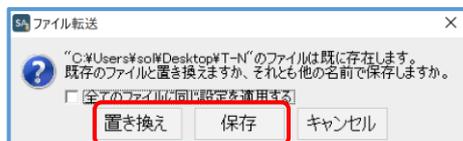


- (3) ファイル(フォルダー)の転送が開始されると、転送先のデスクトップ上に以下のウィンドウが表示されます。



ゲージが 100%になったら転送完了です  
ファイルを保存してください

## 《補足》既存ファイル(フォルダー)の置き換えについて



送信した先に同じ名前のファイル(フォルダー)が存在していた場合は、保存する際に別名で「保存」あるいは「置き換え(上書きして保存)」できます。

## 【方法 4】ツールバーを利用する

ツールバー内の「ファイル転送」から送信します。



- (1) ツールバー内の [ファイル転送] を選択します。
- (2) [ファイルを送信する] または [ファイル受信] を選択します。
- (3) 転送するファイル/フォルダーを指定し、[開く] を選択します。  
受信する場合は、相手先にファイルを指定するウィンドウが表示されます。
- (4) ファイル/フォルダーの転送が開始されます  
受信する場合は [変更する] を選択して保存先を変更できます。  
※[転送内容を表示する]を選択すると、転送中の状態を確認できます
- (5) デスクトップに転送されたファイルが保存されます。

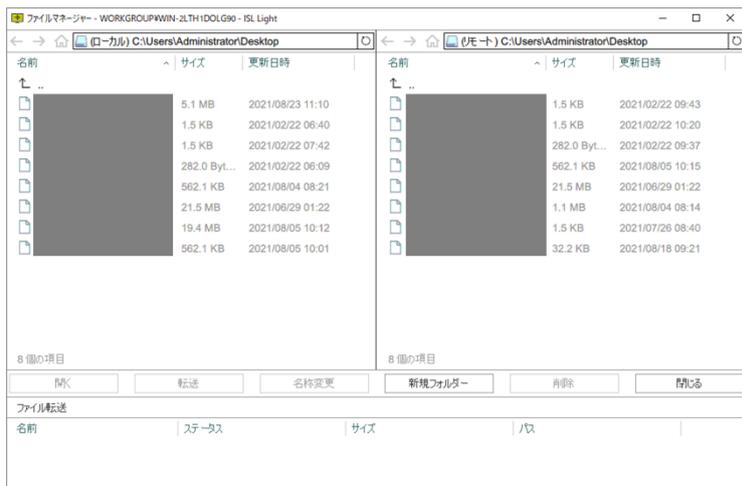
## 《補足》既存ファイル/フォルダーの置き換えについて

送信した先に同じ名前のファイル/フォルダーが存在していた場合は、保存する際にファイル/フォルダーを別名で「保存」または「置き換え(上書き)」できます。

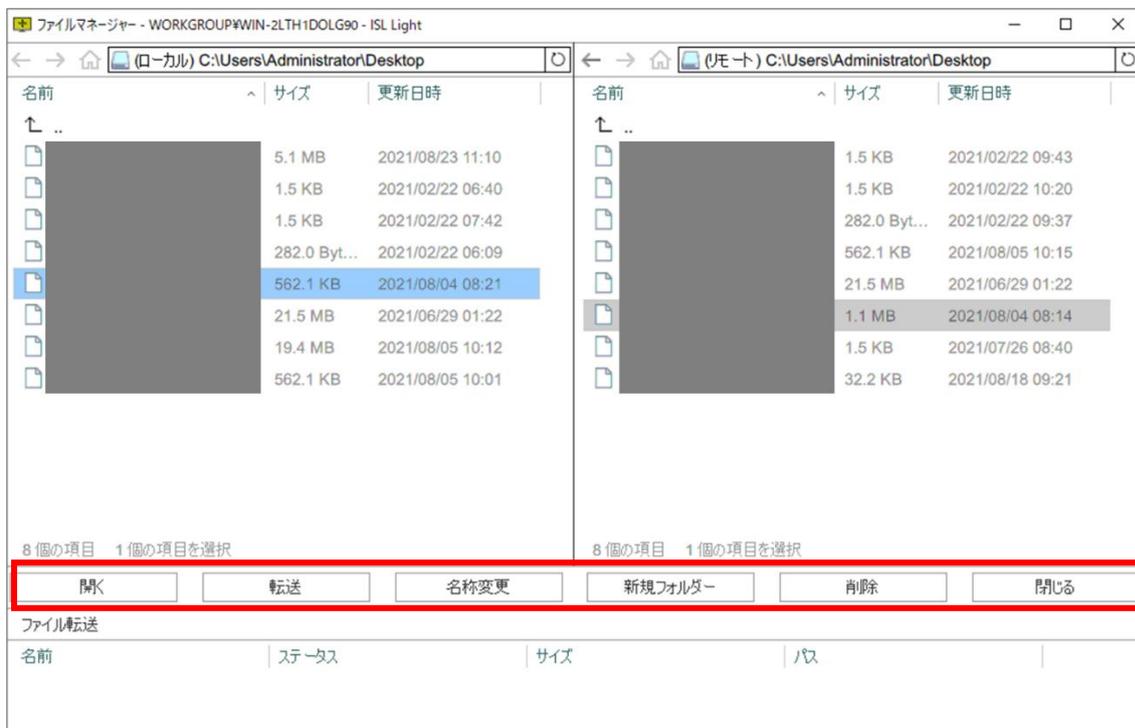
## 10. 4ファイルマネージャー

Online ScreenView 4.4.2031.107 以降では、ファイルマネージャーを使用して、ファイル転送の他、接続先のフォルダーやファイルに対して操作を行うことが可能です。

- (1) 共有画面のツールバー内の[ファイル転送]を選択します。
- (2) [ファイルマネージャー]を選択します。
- (3) ファイルマネージャーが表示されます。クライアント側で、オペレーターからのファイル管理を許可します。  
(常駐接続時には、接続先の端末のファイル管理が自動で許可されます)
- (4) オペレーターのローカル端末と、接続先の端末のデスクトップに保存されているフォルダーやファイルの一覧が表示されます。また、クライアント側にはファイル転送のイベントログが自動で表示されます。  
(常駐接続時には、イベントログが表示されません)



ファイルマネージャーでは、以下の機能が利用可能です。



開く	<p>フォルダーを選択して[開く]を選択すると、選択したフォルダーを開き、フォルダー内のファイル/フォルダーの一覧を表示します。ファイル/フォルダー一覧の一番上の[...]を選択して[開く]を選択すると、現在のディレクトリから一つ上のディレクトリへ移動できます。</p> <p>※直接フォルダーを右クリックして[開く]を選択するか、フォルダーをダブルクリックして実行することも可能です。</p>
転送	<p>選択したファイル/フォルダーを転送します。(ローカルフォルダー内を選択時には送信、リモートフォルダー内を選択時には受信します)</p> <p>※直接ファイル/フォルダーを右クリックして[転送]を選択して実行することも可能です。</p>
名称変更	<p>選択したファイル/フォルダーの名称を変更します。</p> <p>※直接ファイル/フォルダーを右クリックして[名称変更]を選択して実行することも可能です。</p>
新規フォルダー	<p>ローカル側(左)のウィンドウ、もしくはリモート側(右)のウィンドウ内を選択して[新規フォルダー]を選択すると、指定した側のディレクトリに新しいフォルダーが作成されます。</p> <p>※直接ウィンドウ内を右クリックして[新規フォルダー]を選択することも可能です。</p>
削除	<p>選択したファイル/フォルダーを削除します。</p> <p>※直接ファイル/フォルダーを右クリックして[削除]を選択して実行することも可能です。</p>
閉じる	<p>ファイルマネージャーのウィンドウを閉じます。</p>

ファイルマネージャー上部のアドレスバーは、表示するディレクトリの変更やディレクトリ内の情報の更新などが可能です。

▼アドレスバー



①	戻る	直前に表示したディレクトリに戻り、表示します。
②	進む	[戻る]を選択前のディレクトリを表示します。
③	ホーム	デスクトップのディレクトリを表示します。
④	ディレクトリパス	表示されているディレクトリの絶対パスが表示されています。 移動したいディレクトリの絶対パスを直接入力して表示することも可能です。
⑤	更新	ファイルマネージャー外で行われたフォルダーやファイルの変更を、ファイルマネージャー内に反映させます。 ※直接ウィンドウ内を右クリックして[更新]を選択して実行することも可能です。

■ファイル転送イベントログ

ファイルマネージャー上での操作はすべてイベントログに記録され、セッション内でオペレーターとクライアントの双方からログの閲覧が可能です。ファイル転送イベントログは以下の手順で開きます。

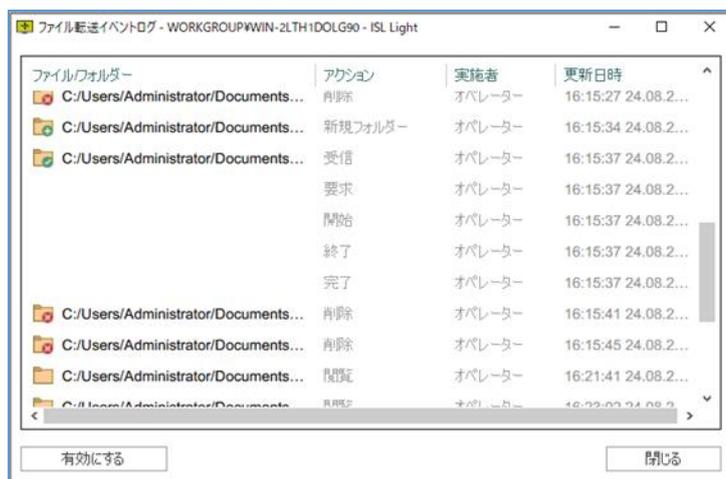
[オペレーター側の手順]

- (1) 共有画面のツールバー内の[ファイル転送]を選択します。
- (2) [ファイル転送イベントログ]を選択して、ログを表示します。

[クライアント側の手順]

- (1) チャットウィンドウのツールバー内の[ファイル転送]を選択します。
- (2) [イベントログ]を選択して、ログを表示します。

ファイル転送イベントログでファイルマネージャー上での操作を確認することができます。



ファイル/フォルダー	操作が行われたファイル/フォルダー名が表示されます。
アクション	ファイルマネージャー上で行われた操作の内容が表示されます。
実施者	操作を行った実施者がオペレーターかクライアントかが表示されます。
更新日時	操作が行われた日時が表示されます。
有効にする/無効にする	[有効にする/無効にする]を選択すると、接続相手が自身の端末のディレクトリへアクセスすることを許可/禁止します。
閉じる	ファイル転送イベントログのウィンドウを閉じます。

## 10. 5ペンツールを使用する

クライアント端末側に相手がいる場合、デスクトップ共有を開始すると、共有画面上にペンで書き込みができます。書き込みは「見る」側、「見せる」側の双方からできます。

### ■見る側

- デスクトップ共有を行います。
- ツールバー内の [ペン] を選択します。
- マウスを操作して、ペン(赤)で自由に書き込みができるようになります。

#### 《補足》描画を消す

ペンの書き込みを消去する場合は、[描画ツール] - [消しゴム] を選択します。

書き込みはデフォルトでは 10 秒後に自動的に消去されますが、[消しゴム] を右クリックすると [5 秒ごと][10 秒ごと][手動で削除]の中から消去のタイミングを選択できます。

### ■見せる側

- デスクトップ共有を行います。
- [コントロールバー] の右上のボタンを選択して、[ホワイトボード] - [フリーハンド]を選択します。
- マウスを操作して、ペン(青)で自由に書き込みができるようになります。

#### 《補足》

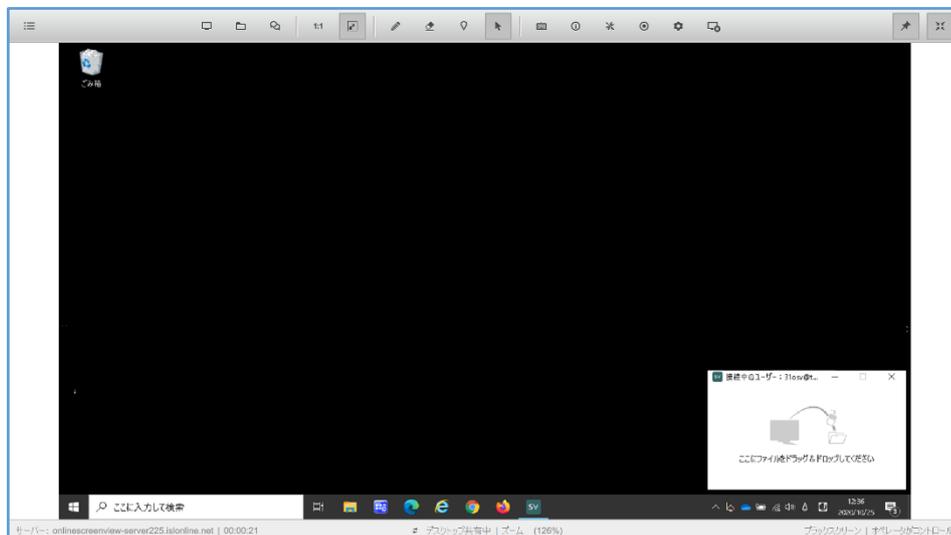
書き込み(描画線)は、30 秒に自動で消えます。手動で消す場合は [Esc] キーを入力してください。接続元からクライアント側の書き込み(描画線)を消すことはできません。

## 10.6 フルスクリーン表示

画面共有時の操作画面をフルスクリーン(全画面)表示にします。



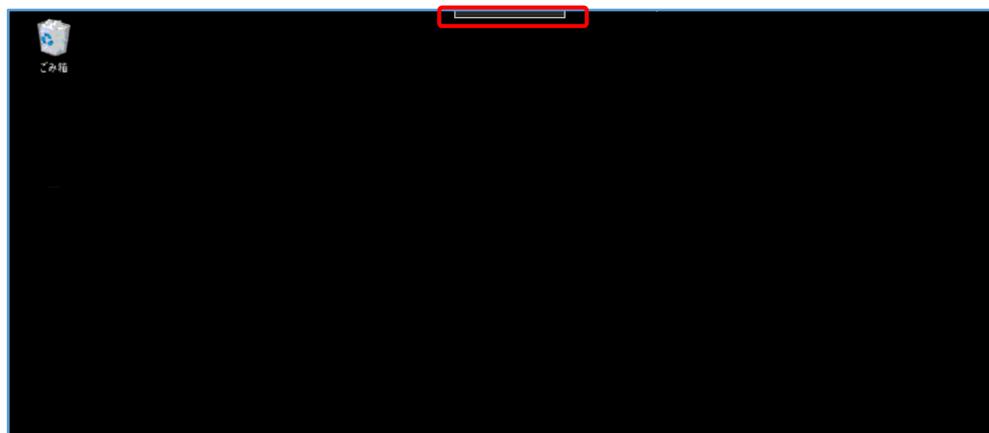
(1) 接続後の画面共有時に、ツールバー内の「フルスクリーン」を選択します。



(2) フルスクリーン表示されます。



(3) ツールバー内の「ピン」を選択します。

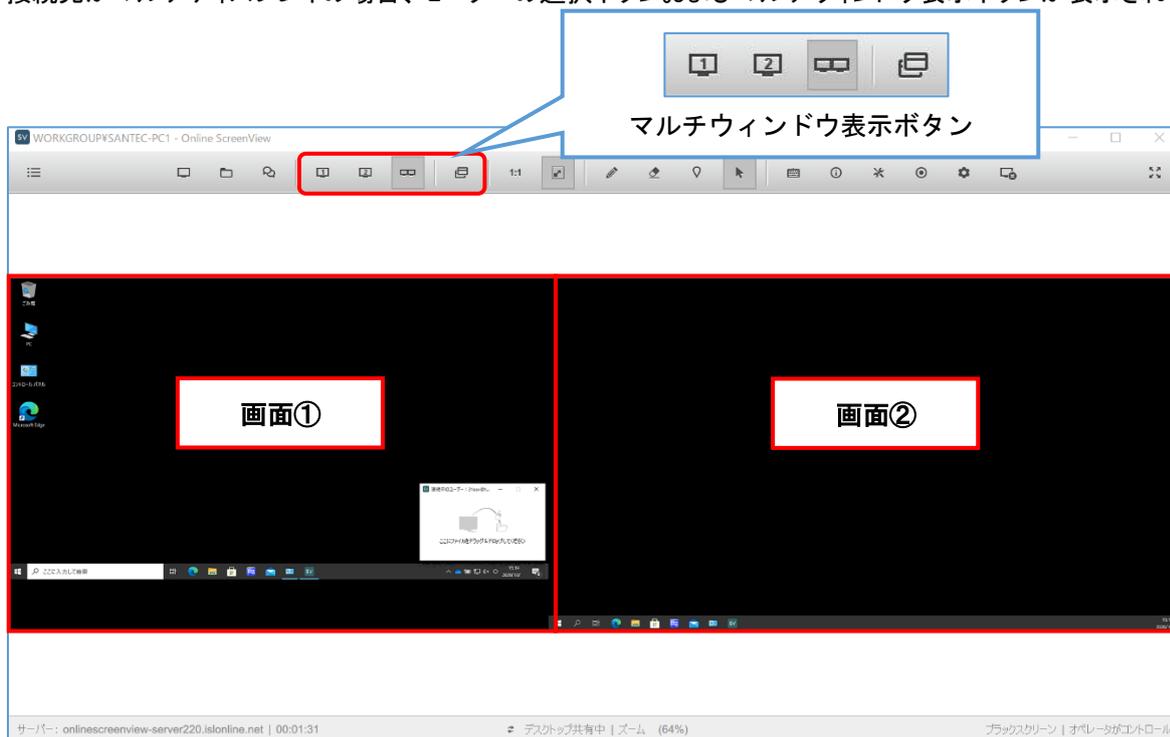


(4) 画面全体が表示されます。

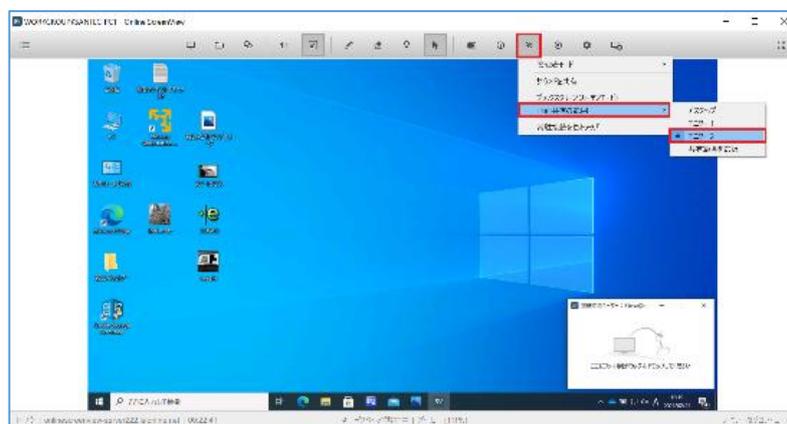
フルスクリーン表示に戻す場合は、画面上端の中央部をクリックします。

## 10.7マルチモニター

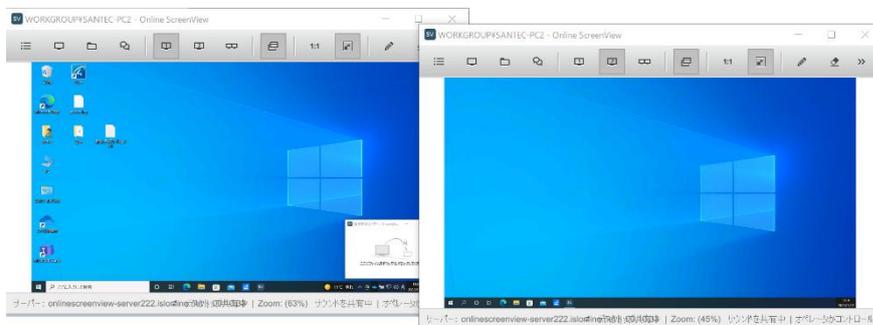
接続先がマルチディスプレイの場合、モニターの選択ボタンおよびマルチウィンドウ表示ボタンが表示されます。



画面の切り替えは、マルチウィンドウ表示ボタンの他、ツールバーから表示するディスプレイの選択もできます。



「マルチウィンドウ」ボタンをクリックすると画面が分割されます。  
再度、クリックすることで元に戻ります。



## 10. 8レコーディング

画面共有時の操作を録画(保存)します。

作成された録画ファイル(.isr ファイル)は、ローカル PC 内の任意の場所に保存できます。

### ■録画する

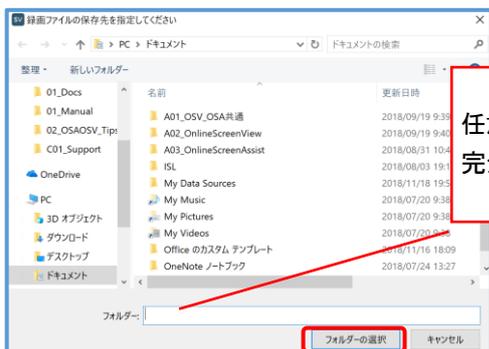
(1)Online ScreenView にログインし、クライアントと接続します。

(2)[ツールバー]の[レコーディング]を選択します。



#### ▼Windows の場合

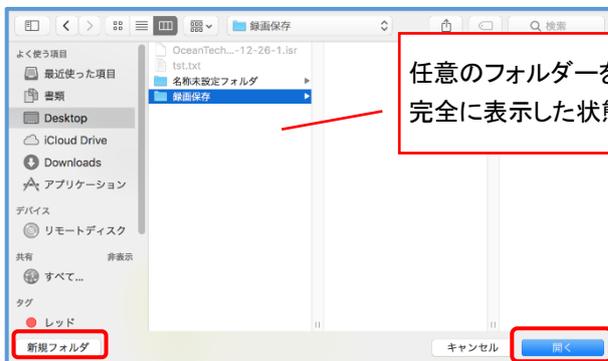
保存先を指定して [フォルダーの選択] を選択すると、録画を開始します。



任意のフォルダーを保存先に指定する場合は、フォルダーの中身を完全に表示した状態で [フォルダーの選択] を選択してください

#### ▼Mac の場合

保存先を指定して [開く] を選択すると、録画を開始します。



任意のフォルダーを保存先に指定する場合は、フォルダーの中身を完全に表示した状態で [開く] を選択してください

(3)録画が開始されるとツールバーの [レコーディング] が赤くなります。



(4)再度[ツールバー] の [レコーディング] を選択すると録画を終了します。

(5)手順 3 で指定した場所に動画(.isr ファイル)が保存されます。

## ■再生する

録画したファイルは「.isr」拡張子のついたファイル名で保存されます。「.isr」ファイルは専用のプログラムである ISL Player で再生できます。

### ・接続終了後に再生する

- (1)接続終了後、メッセージが表示されます。
- (2)「開く」を選択すると、サーバーに接続を開始します。



- (3)ISL Player が起動します。「開く」ボタンを選択すると、再生が開始されます。

※ISL Player はインストールされません。

### ・手動で録画したファイルを再生する。

- (1)「ISL Player」の起動 exe(Mac 版の場合は app)を以下からダウンロードします。  
<https://islv6.islonline.net/download/ISLPlayer>
- (2)起動 exe(Mac 版の場合は app)を実行して、ISL Player を起動します。



- ① [レコーディングを開く] を選択すると、インストールせずに動画を再生します。
- ② [インストールする] を選択すると、インストール完了後に以下のウィンドウが表示されます。  
[レコーディングを開く] を選択します

※既に ISL Player をインストールしている場合は、録画したファイル(.isr)をダブルクリックすると ISL Player を起動します。

- (3)再生する「.isr」ファイルを選択して、[開く] を選択します。

ISL Player のツールバー上にある再生ボタンを選択して、録画したファイルが再生します。

## 11. オンラインページ/PC アプリケーションコンソールの機能

オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールの機能をご案内します。

### 11.1 接続先 PC をグループで管理する

グループを作成して、クライアント端末を分類できます。

あるユーザーで既に接続できる端末を、別のユーザーでも接続できるよう簡単に紐付けることができます。

グルーピングは「端末」単位で 1 台ずつ設定できますが、登録している端末の数が 100 台を超える場合など、設定が困難な場合、グルーピングの設定を行うことができます。

- コンピューターは、それぞれ特定の 1 グループにのみ所属させることができます。
- コンピューターの特定に複数の要件が必要な場合は「タグ」機能も合わせてご利用ください。
- ログインしているアカウントが所有しているコンピューターのみ分類できます。

#### 11.1.1 新規グループを作成する

- (1) オンラインページ、または、PC アプリケーションコンソールにログインします。
- (2) グループ名を入力し、[作成]を選択します。
- (3) グループが作成され、左側にグループ欄が表示されます。

#### 11.1.2 グループに PC を分類する

- (1) オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします
- (2) グループに移動する PC の[アクション]から[グループに移動する]を選択します。
- (3) [グループ名]で移動先のグループを選択して、[移動]を選択します。
- (4) 移動先のグループを選択し、移動したコンピューターが表示されることを確認します  
※[アクション]から[グループから削除する]を選択すると、特定のグループへの所属を解除して、「すべてのコンピューター」からコンピューターを選択できる状態に戻ります

#### 11.1.3 グループの共有(グルーピング)

グループに所属しているすべての PC をほかのユーザーと共有します。

あるユーザーが接続できるように登録した PC を別のユーザーからも接続できるように紐付けることができます。

- (1) オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします。
- (2) グループを選択し、右横のボタンから[共有する]を選択します。
- (3) 共有可能なユーザーの一覧が表示されます。共有したいユーザーにチェックを入れ、権限を選択します。

グループの共有

グループ名  
Presentation\_Demo 検索

すべて (8) | 選択済み すべてがドメイン

氏名	Email	ユーザー名	権限
<input type="checkbox"/> sosv			コンピューター管理者
<input checked="" type="checkbox"/>			接続のみ
<input checked="" type="checkbox"/>			グループ管理者
<input type="checkbox"/> 取得できません			なし

保存 キャンセル

▼権限の種類

グループ管理者	共有端末への接続、端末の編集・移動、共有ユーザーの権限管理およびアクションの実行ができます
コンピューター管理者	共有端末への接続、端末の編集・移動およびアクションの実行ができます
接続のみ	共有端末への接続およびアクションの実行ができます

- (4) [保存]を選択します。
- (5) 共有が完了すると、グループ名の下に人型のアイコン(数字:共有しているユーザーの数)が表示されます。
- (6) アイコンを選択すると共有しているユーザー名を確認できます。

※複数の PC を共有(グルーピング)するには[複数の PC を一斉にグルーピングする]をご参照ください

### 11.1.4 複数の PC を一斉にグルーピングする

端末を選択して、一斉にグルーピングを行います。

- (1) オンラインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします。  
 ※グルーピングを行う端末に対して接続できるユーザーでログインします。  
 例:ユーザー「test」で接続できる端末をユーザー「test2」に紐付ける場合:「test」でログイン
- (2) 必要に応じて検索を行い、グルーピングを行う端末を表示します。
- (3) 対象端末のチェックボックスに☑を入れ、[その他] - [一斉グルーピング]を選択します。
- (4) 実行画面が表示されます。  
 画面に対象端末の一覧が表示されていることを確認します。  
 端末が表示されていない場合は画面を閉じて、再度手順(3)の検索を行います。
- (5) 共有したい端末の横にあるチェックボックスを ON にします。
- (6) [ユーザー名] 欄に、端末を共有(接続を許可)するユーザー名を入力します。  
 複数のユーザーを一斉に登録する場合は「コンマ(,)」区切りで入力してください。

同一ドメイン内のユーザー「user2 と user3」と、ドメイン「domain」に所属するユーザー「test」に紐付けを行う場合	ドメイン「default」とドメイン「domain」に所属するすべてのユーザーに紐付けを行う場合

- (7) [共有する] を選択すると、グルーピングを開始します。  
 コンピューターの状態が「アップデート中...」となります。
- (8) コンピューターの状態が [完了] となり「共有が更新されました」と表示されたら完了です。
- (9) グルーピングが正常に実行されたことを確認します。  
 一斉グルーピングの実行画面を閉じ、オンラインページにログインします。  
 検索を行い、グルーピングを実行した端末が画面に表示されることを確認します。

### 11.1.5 グルーピングの解除

グルーピングを解除するには各端末の「共有する」欄に表示されている共有ユーザーの [×] を選択するか、[複数の PC を一斉にグルーピングする]の手順にしたがってグルーピングを解除する端末を選択後、ユーザー名を入力して [解除する] を選択してください。

※ユーザー名は「\\domain\ユーザー名」の形式で入力します

《注意》

[現在の共有を解除する]にチェックを入れてグルーピングを実行した場合、選択した端末に紐付けられたユーザーすべてが削除されますのでご注意ください。

### 11.1.6 グループのアクション

グループ名の編集や、グループ内のコンピューターの共有を行います。

編集する	グループ名:グループ名を変更します。 共有しているユーザー: グループ内の PC を共有 (接続を許可) するユーザーを指定します。
共有する	グループ内に所属しているすべての PC について、他のユーザーと共有 (グルーピング) します。
削除	グループを削除します。 ※グループ内に PC が 1 台でも存在していると、グループを削除できません。 グループ内を空に (所属している PC を別グループに移動あるいは削除) する必要があります。

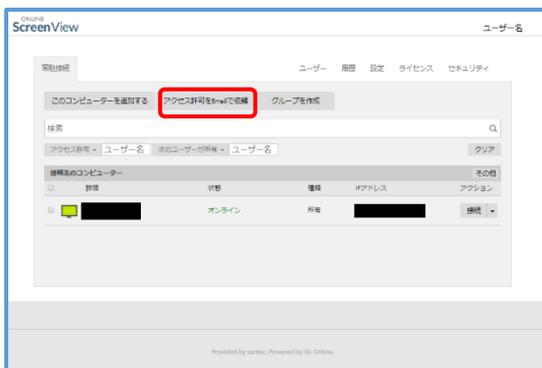
### 11.1.7 アクセス許可を Email で依頼する

接続先に Email を送信して、常駐接続のクライアントとして登録する許可を求めます。

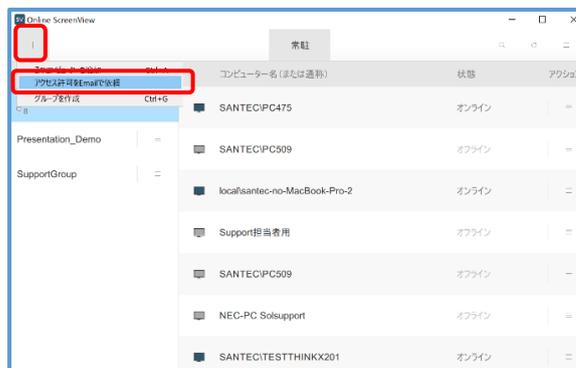
操作する側の PC で規定のメールソフトが設定されている必要があります。

(1) [アクセス許可を Email で依頼する]を選択します。

▼オンラインページ



▼PC アプリケーションコンソール



(2) Email を入力し、PC アプリでは必要に応じてグループを選択後、[送信する]を選択します

▼オンラインページ



▼PC アプリケーションコンソール



- (3) Email を受信した側でメール内の URL (インビテーションリンク) を選択します。
- (4) ブラウザが起動し、Online ScreenView インストーラーのダウンロードを開始します。



- (5) インストーラーを起動すると常駐接続のクライアントとして登録されます。

## 11.2 アクションメニュー

アクションメニューについて

オンラインページと PC アプリケーションコンソールの操作では一部の機能差があります。

機能	機能内容	オンラインページ	PCコンソール
接続	リモートコンピューターに接続を行います。 アクセスパスワード入力後にリモートコンピューターの操作を開始できます。	○	○
以前のバージョン	「Online ScreenView Desk」による接続が開始されます。	○	-
代替接続	Windows の Remote Desktop 接続を利用してリモートコンピューターに接続できます。	-	○
エージェントアップグレード	リモートコンピューターにインストールされている Online ScreenView Agent をアップグレードします。	○	○
WOL 送信	電源が OFF 状態のリモートコンピューターに電源を投入します。 この機能を使うためには、事前にパソコンの設定、起動状態の Online ScreenView Agent がインストールされているパソコンがネットワーク上に認識されている必要があります。	○	○
編集	コンピューター情報の編集を行います。	○	○
共有	グループおよびグループ内にある端末を他のユーザーへ共有します。	○	○
パスワードを変更	アクセスパスワードの変更ができます。	○	○
シャットダウン	リモートコンピューターの電源シャットダウンまたは再起動ができます。	○	○
グループへ移動	指定したリモートコンピューターをグループへ移動します。	○	○
ショートカットを作成	常駐接続先へのショートカットを作成します。 注意: Linux ではご利用できません。	-	○
履歴	ログインしているユーザーが該当端末へ接続した履歴のみ確認できます。 端末を共有しているユーザーの接続履歴は含まれません。	-	○
システム情報	リモートコンピューターのシステム情報を取得します。	-	○
オプション	接続するオプションを設定します。	○	○
削除	選択したコンピューターをリモートコンピューターの一覧から削除します。	○	○

### 11.2.1 接続

リモートコンピューターに接続を行います。選択すると接続用プログラムのダウンロードを開始します。  
PC アプリケーションコンソールではプログラムはダウンロードされません。

### 11.2.2 編集

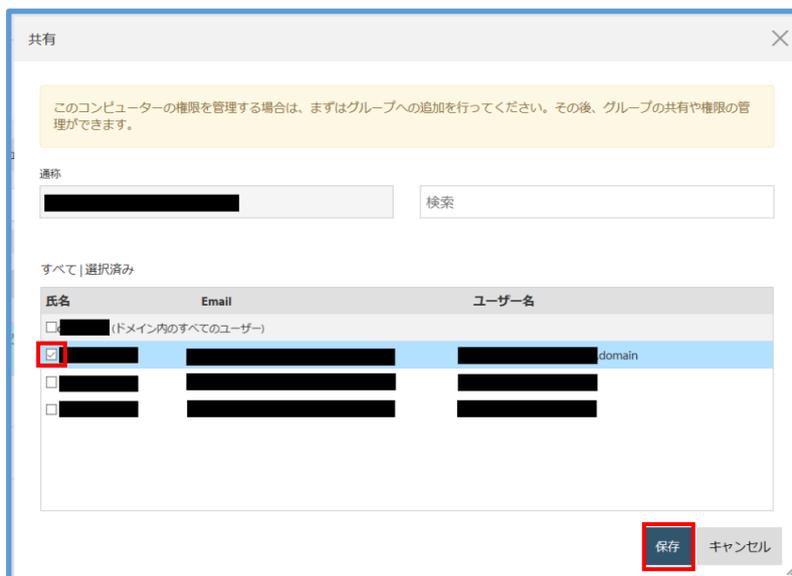
コンピューター情報の編集を行います。

- ・コンピューター名: (ドメイン¥コンピューター名)が表示されます
- ・詳細: オンラインページ上に表示するコンピューター名を変更します
- ・タグ: 検索用のタグを付与します
- ・共有しているユーザー(グルーピング機能):  
グルーピング機能を使い、共有(接続を許可)されているユーザー名が表示されます。

### 11.2.3 共有

グループおよびグループ内にある端末を他のユーザーへ共有します。

- ・[アクションメニュー]から [共有]を選択します。
- ・登録済のユーザーが表示されます。
- ・端末を共有したいユーザーを選択して、[保存]を選択し終了します。



### 11.2.4 接続(以前のバージョン)

リモートコンピューターに接続を行います。選択すると接続用プログラムのダウンロードを開始します。  
「Online ScreenView Desk」が起動します。  
リモートコンピューターに接続を行います。選択すると接続用プログラムのダウンロードを開始します。  
「Online ScreenView Desk」が起動します。

### 11.2.5 WOL 送信

ネットワーク経由で、リモートコンピューターを起動(Mac の場合はスリープモードを解除)できます。  
[WOL 送信]を選択すると、実行されます。

※リモートコンピューターがオフラインのときのみ表示されるメニューです。

#### ■Windows の場合

各端末の電源やマザーボード、OS が ACPI 機能に対応しているほか、ネットワークアダプタがマジックパケットを解釈できる場合に有効です。また、事前に BIOS 画面で各種設定を行う必要があります。

(詳しい設定方法は弊社サポート窓口までお問い合わせください。)

#### ■Mac の場合

システム環境設定で、電源アダプタの[ネットワークアクセスによるスリープ解除]にチェックが入れる必要があります。

※Mac 端末に接続してファイルを転送中、Mac 端末がスリープモードに入り一度セッションが切断された場合は、WOL 送信を実行してセッションを再開し、中断していたファイル転送を再開できます。

### 11.2.6 パスワード変更

リモート操作でアクセスパスワードの変更ができます。

- ・「変更」欄で、[個別パスワード]か[メインパスワード]を選択します。
  - ※初期設定でご利用中の場合は[メインパスワード]を選択してください。
  - ※パスワードの種類については[アクセスパスワード]をご参照ください
- ・ [メインパスワード]欄に、現在使用しているメインパスワードを入力します。
  - ※「個別パスワード」を変更する場合もメインパスワードの入力が必要です。
- ・ [新しいパスワード(新規パスワード)]および[(再入力)]の欄に、新しいパスワードを入力します。
- ・ [変更]を選択すると、パスワードの変更を開始します。完了するとメッセージが表示されます。
  - メインパスワードを変更した場合は「メインパスワードが変更されました。」、個別パスワードを変更した場合は「個別パスワードが変更されました。」のメッセージが表示されます。

### 11.2.7 共有ファイル

共有ファイルにアクセスします。

### 11.2.8 履歴

コンピューターに接続した履歴を表示します。履歴を表示する期間を指定できます。

### 11.2.9 システム情報

端末のシステム情報を取得してシステム情報を表示します。

## 11.2.10 EXE 実行

指定したファイルを実行できます。

《注意》 EXE ファイルは、半角スペースのないファイル名に変更してください。

実行する EXE ファイルは、予めクライアント端末の以下の場所に「trusted」という名前のフォルダーを作成し、EXE ファイルを保存します。

・32bit OS の場合

C:\Program Files\OnlineScreenView\OnlineScreenView Agent

・64bit OS の場合

C:\Program Files (x86)\OnlineScreenView\OnlineScreenView Agent

EXE ファイルは、クライアント端末のユーザーアカウントではなく、「システムアカウント」で実行されます。

- ・実行先の端末のアクセスパスワードを入力します。
- ・「引数」欄に実行する exe の名前を入力し、[EXE 実行]を選択します。
- ・完了すると、メッセージ「Command ok」が表示されます。[閉じる]を選択して終了します。([EXE 実行]を選択すると、再度 EXE 実行を行います)
- ※実行が完了すると、「Command ok」のメッセージが表示されます。

## 11.2.11 シャットダウン

端末の電源管理(シャットダウンまたは再起動)ができます。

- ・[アクション選択]からシャットダウン(または再起動)を選択します。
- ・「アクセスパスワード」欄にメインパスワードを入力して、[実行する]を選択します。
- ・端末のシャットダウン(または再起動)が行われます。

## 11.2.12 Online ScreenView アップグレード

端末の Online ScreenView のアップグレードが行えます。

※端末側の自動アップグレードの設定が有効で、オンライン状態のときのみ実行できます。

※Online ScreenView アップグレードを実行しても、画面は切り替わりません。

※画面上部に「Online ScreenView アップグレードが実行されました」と表示されます。

## 11.2.13 グループに移動する

指定したコンピューターを指定したグループへ移動します。

## 11.2.14 削除

選択したコンピューターをリモートコンピューターの一覧から削除します。

《補足》複数の端末を対象にしたアクションの実行について

複数の(オンライン状態の)端末にアクションを実行する場合は、対象端末のチェックボックスをオンにして、リスト上部の[その他]からアクションを選択します。

## 12. PC アプリケーションコンソールの機能

### 12.1 代替接続を利用する

代替接続では、Online ScreenView Agent がインストールされている端末へ PC アプリケーション上から RDP 接続、SSH 接続によるセッションを実行できます。また、ネットワークプリンターへの接続も可能です。

本機能を利用するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- ・接続される端末の OS 設定で RDP 接続(SSH 接続)の受信が許可されていること
- ・Windows OS のエディションが Pro 以上で事前にパスワード、リモート接続が許可されていること

PuTTY <sup>win</sup>	Windows で SSH 接続を行う場合に使用します。 設定変更を行うことで、既にインストール済みの SSH 接続用クライアントを使用することもできます。
Microsoft Remote Desktop <sup>mac</sup>	macOS Caralina 以前で RDP 接続を行う場合に使用します。 App Store から OS に適したバージョンをインストール後、設定変更します。
Parallels Client <sup>mac</sup>	macOS Big Sur 以降で RDP 接続を行う場合に使用します。 App Store から OS に適したバージョンをインストール後、設定変更します。

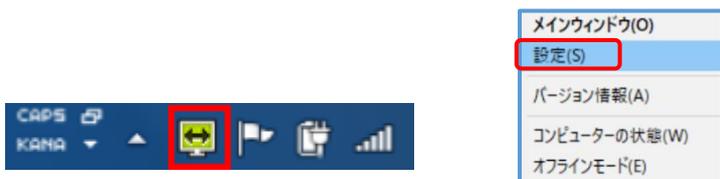
(補足)

以下の条件では、セッション中に代替接続はご利用になれません。

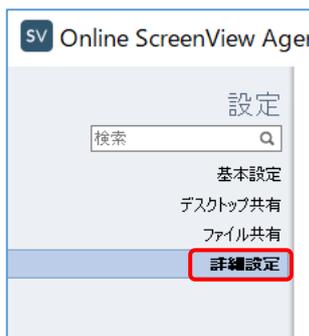
- ・接続オプション[Client を利用する]、[メインウィンドウを非表示にする]を有効にして  
Windows に常駐接続を行った場合
- ・クライアントが Online ScreenView(Windows 版)でセッションに参加した場合
- ・代替接続開始後にセッション再接続が必要な動作(再起動やログオフ)が発生する場合  
(例)ログオン状態の端末に対して RDP 接続([rdp://localhost:3389])を実行した場合

■Online ScreenView Agent インストール端末の設定

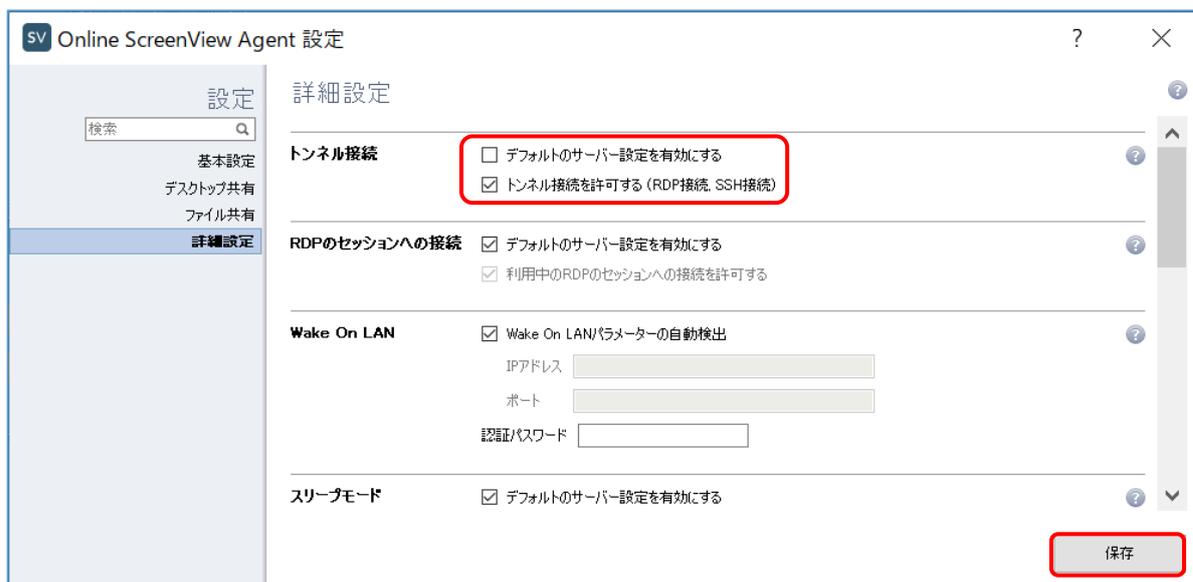
(1) システムトレイのアイコンをクリックして、[設定]を選択します。



(2) 「Online ScreenView Agent 設定」画面から[詳細設定]を選択します。

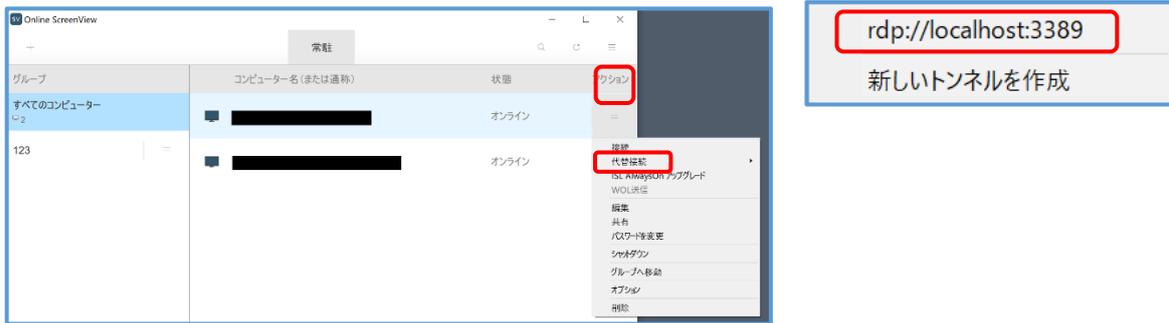


(3)「デフォルトのサーバー設定を有効にする」のチェックをはずし、「トンネル接続を許可する(RDP 接続、SSH 接続)」にチェックを入れ、[保存]を選択します。



## ■常駐接続先端末へ代替接続 (RDP 接続) を行う

(1) 接続を行う端末のアクションから[代替接続]-[rdp://localhost:3389]を選択します。

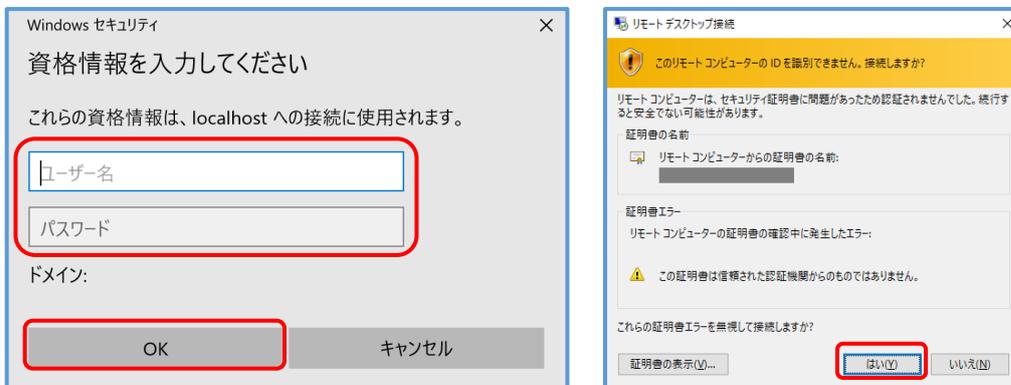


(2) アクセスパスワードを入力し、「接続」を選択します。

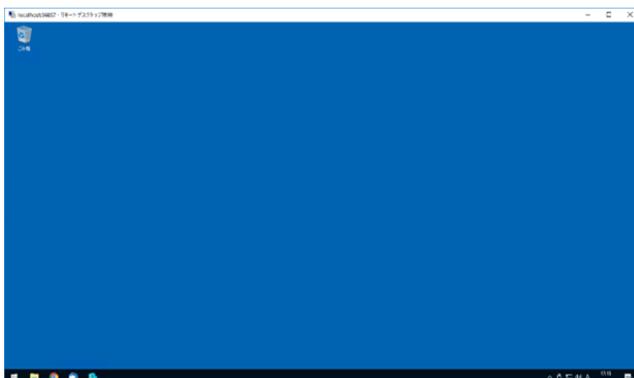


(3) リモートデスクトップ接続の資格情報入力画面が表示されます。

Windows ログオン情報を入力し「OK」を選択します。証明書エラーが表示された場合は、[はい]を選択します



(4) 接続先へ RDP 接続のセッションが実行されます



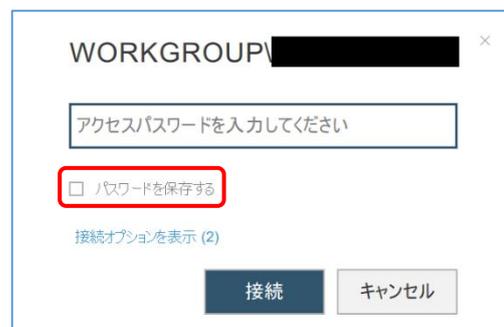
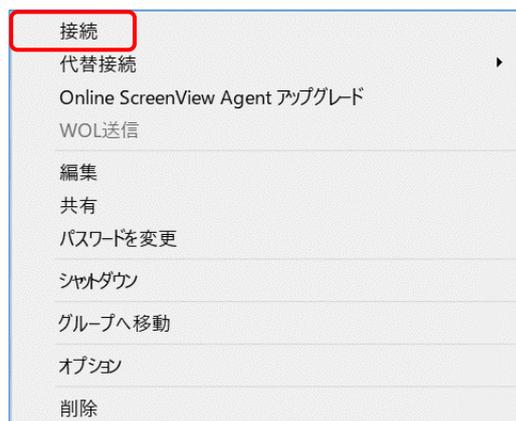
## 12.2 アクセスパスワードを保存する

アクセスパスワードを保存すると次回からの接続でアクセスパスワードの入力を省略できます。

[アクション]メニューから[接続]を選択します。

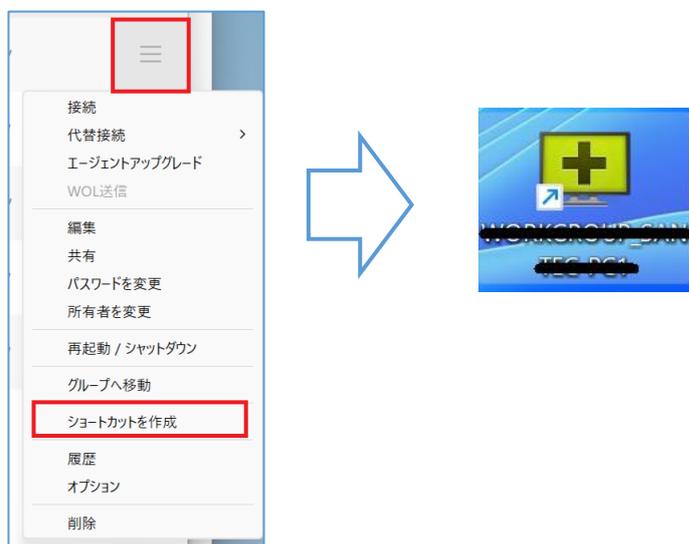
アクセスパスワード入力画面で[パスワードを保存する]にチェック、アクセスパスワード入力し、接続を開始します。

次回の接続からアクセスパスワードの入力が省略されます。



## 12.3 ショートカットを作成

「PC アプリケーションコンソール」のアクションからショートカットアイコンの作成ができます。



- ・「常駐接続」画面の該当の接続先端末のアクションから[ショートカットを作成]を選択します。
- ・PC のデスクトップ上にショートカットアイコンが作成されます。
- ・ショートカットアイコンをクリックすると接続先端末のリモート操作が開始されます。

## 13. Online ScreenView Agent の機能

### 13.1 タスクトレイ(システムトレイ)

タスクトレイのアイコンから、Online ScreenView に関する各項目が選択できます。

※タスクトレイのアイコンは、Windows リモートデスクトップ接続によるログオン（サインイン）を行った場合は表示されません。アイコンが表示されない状態でも、プログラムの動作には問題ございません。

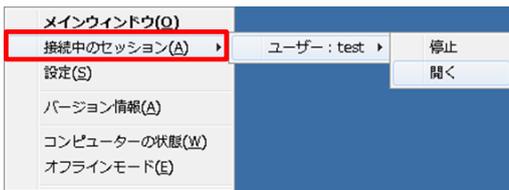
#### ■ Windows の場合



#### ■ Mac の場合



接続オプション[Client を利用する]を利用しない接続では、接続中に「接続中のセッション」が選択可能です。ここではコンピューターに接続中のオペレーターを確認できるほか、セッションを終了することもできます。

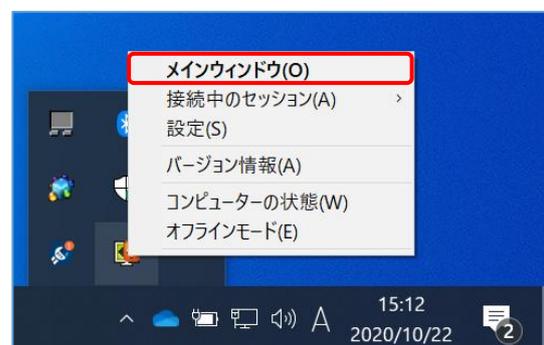
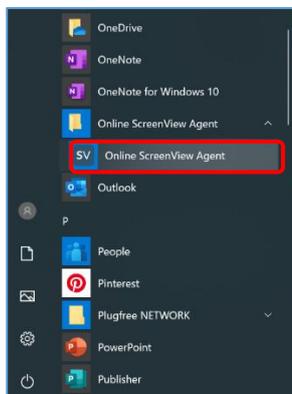


### 13.2 メインウィンドウ

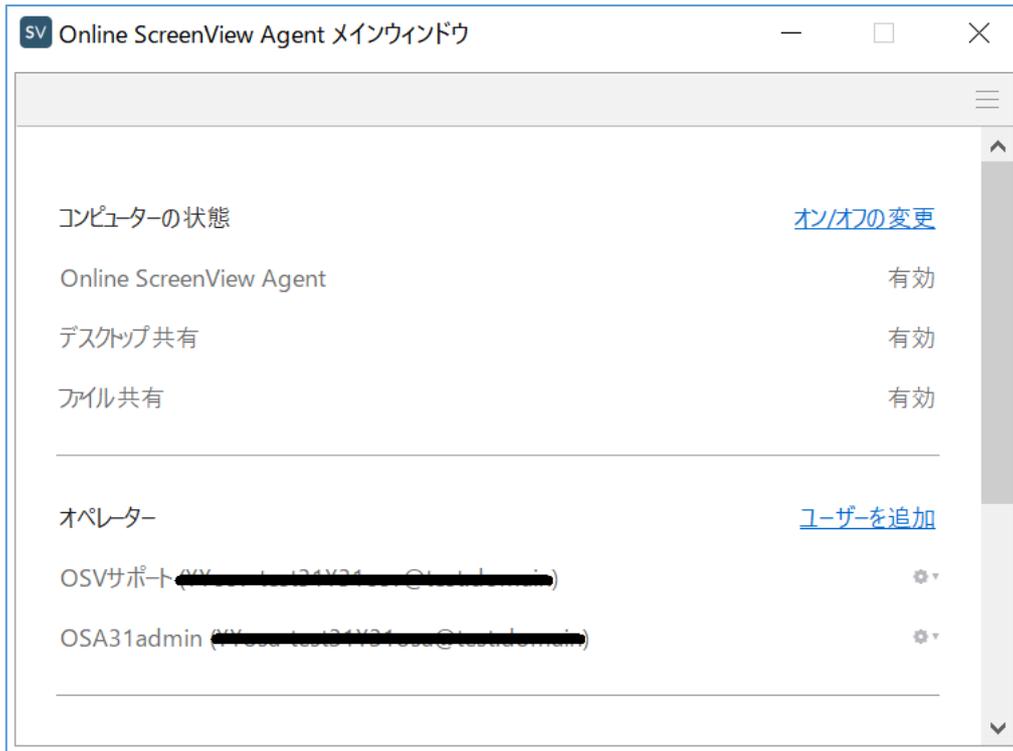
メインウィンドウでは、コンピューターの状態やアクセス履歴などの基本情報が確認できます。

Agent をインストールした、コンピューターで操作します。

(1) タスクトレイのアイコンまたはスタート画面から[Online ScreenView]を選択して、メインウィンドウを表示します。



(2) 「コンピューターの状態」などが確認できます。



### 13. 3Online ScreenView Agent の設定

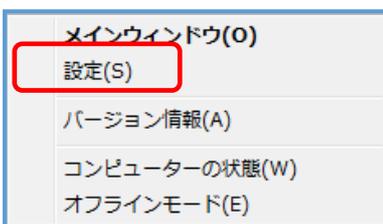
設定ウィンドウでは、Online ScreenView Agent の詳細な設定ができます。

#### ■設定ウィンドウの表示:

システムトレイの Online ScreenView Agent アイコンを選択し、[設定]を選択します。

▼Windows の場合

▼Mac の場合



Online ScreenView Agent をインストールしている端末で行うクライアント側の設定は、すべてのオペレーターに対して適用されます。

オペレーターごとに異なる設定を適用する場合は、[基本設定]-[オペレーター]-[変更]から個別に設定を行います。いくつかの設定はサーバー側で初期値が定義されています。クライアント端末側で個別の設定を定義する場合は、[デフォルトのサーバー設定を有効にする]のチェックを外して設定の変更を行います。

## 13.3.1 基本設定

sv Online ScreenView Agent 設定

設定

検索

基本設定

デスクトップ共有

ファイル共有

詳細設定

### 基本設定

コンピューターの状態

Online ScreenView Agent	有効
デスクトップ共有	有効
ファイル共有	有効

変更

認証方式

メインパスワード [パスワード変更](#)

ワンタイムパスワード [パスワード発行](#)

オペレーター

Email 通知

指定したメールアドレスに、以下のイベントに関する通知を送信します。

常駐接続の開始時

常駐接続の終了時

常駐接続の失敗時

共有フォルダーへのアクセス時

その他の設定

タスクトレイにアイコンを表示する

メインパスワードで設定内容を保護する

自動アップグレードを有効にする

保存

コンピューターの状態	
Online ScreenView Agent	無効の場合、Online ScreenView に関するすべての機能が利用できなくなります。
デスクトップ共有	無効の場合、常駐接続によるオペレーターからのアクセスを拒否します。アクションによるシステム情報の取得もできません。
ファイル共有	無効の場合、ファイル共有で設定している共有フォルダーへのアクセスを拒否します。
セキュリティとプライバシー(mac OS の設定となります)	
アクセシビリティ	無効の場合、画面コントロールができなくなります。
画面収録	無効の場合、画面共有ができなくなります。
フルディスクアクセス	無効の場合、ファイル共有ができなくなります。
認証方式	
メインパスワード	Online ScreenView のインストール時に設定したパスワードです。端末へのアクセスだけでなく、オンラインページ上からアクションを実行する際にも使用します。
個別パスワード	通常の基本設定画面には表示されません。
ワンタイムパスワード	1 度のみ使用可能なパスワードの入力を要求します。
オペレーター	
変更	オペレーターごとに異なる設定を割り当てることができます。個別パスワードの設定もこちらから行います。
削除	登録済みのオペレーターを削除します。
Email 通知	
常駐接続の開始時	端末への常駐接続が開始された際に通知を送信します。
常駐接続の終了時	端末への常駐接続が終了された際に通知を送信します。
常駐接続の失敗時	端末への常駐接続を検知し、接続が正常に行われなかった際に通知を送信します(フィルタリング等)。
共有フォルダーへのアクセス時	ファイル共有に設定した共有フォルダーにアクセスされた際に通知を送信します。
その他の設定	
タスクトレイにアイコンを表示する	タスクトレイに Online ScreenView のアイコンを表示します。
メインパスワードで設定内容を保護する	Online ScreenView の設定画面を開く際にメインパスワードの入力を要求します。
自動アップグレードを有効にする	オンラインページでの操作で、Online ScreenView のアップグレードが可能になります。

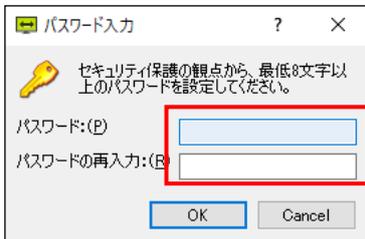
### ■個別パスワードについて

メインパスワードとは異なるパスワードでオペレーターに常駐接続を行わせる際に使用します。個別パスワードはオペレーターごとに設定を行うため、Online ScreenView Agent の[設定]-[基本設定]には表示されません。個別パスワードは、オンラインページ上および ISL Light 上でも設定および変更が可能です。

- (1) [設定]-[オペレーター]で設定を行うユーザー上にマウスを重ねて表示される歯車マークより、[変更]を選択します。
- (2) [個別パスワード]にチェックを入れ、[パスワード変更]を選択します。



- (3) パスワードを入力し、[OK]を選択します

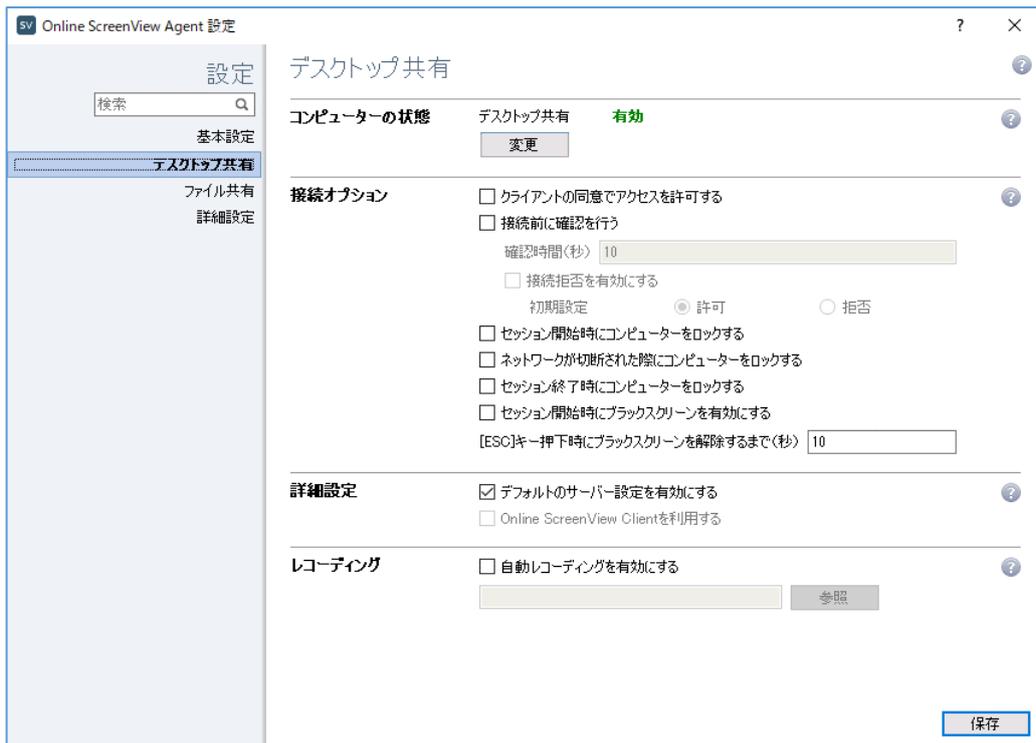


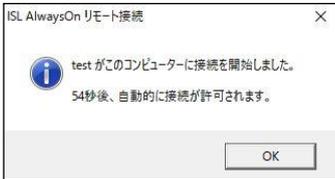
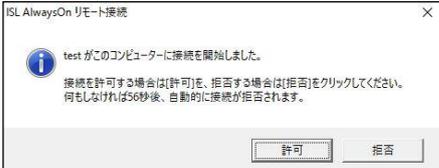
- (4) 個別パスワードのみ使用させる場合は、メインパスワードのチェックを外します。
- (5) [保存]を選択して、設定画面を閉じます。

### ■ワンタイムパスワードについて

この機能は Online ScreenView ではご利用できません。

### 13.3.2 デスクトップ共有



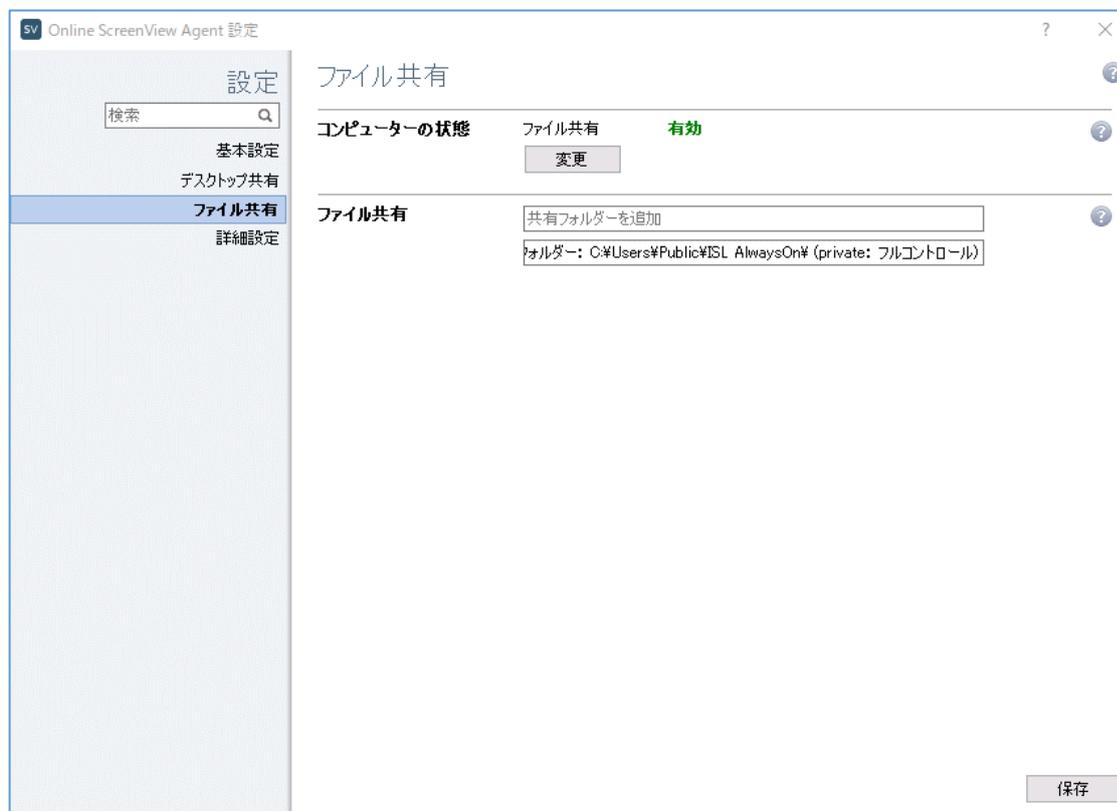
接続オプション	
(コマンド実行時限定) アクセスパスワードなしで接続する	コマンドを実行して起動した Online ScreenView からの接続時、接続を開始する前にクライアント端末上に確認メッセージを表示します。クライアント側でアクセスを許可すると、オペレーター側はアクセスパスワードの入力をせずに接続を開始できます。
この端末に接続できるコンピューターの最大数	Online ScreenView から同時接続できるセッション数を制限する際に指定します。指定した数を超えて接続しようとする、接続元にメッセージが表示され、接続できません。
接続前に確認を行う	オペレーターが端末への接続を開始する際に確認メッセージを表示します。[確認時間]に設定した時間(上限 120 秒)の経過後、または[OK]の選択後に接続を開始します。 
接続拒否を有効にする	「接続前に確認を行う」で設定した確認時間内に、接続の許可/拒否を手動で選択できるようになります。許可を選択した場合はただちに接続を開始し、拒否を選択した場合は接続を拒否した旨をオペレーターに表示し 

	<p>ます。確認時間内に何もしない場合の動作は[初期設定]にて変更できます(初期値:許可)。</p>
<p>ローカルユーザーがログインしていない場合、確認メッセージの表示をスキップする</p> <p>win</p>	<p>「接続前に確認を行う」が有効でも、接続先の端末にユーザーがログインしていない場合、確認メッセージの表示をスキップし、接続します。</p>
<p>セッション開始時にコンピューターをロックする</p>	<p>接続の開始時にコンピューターをロックすることで、OSのユーザー情報を知らないユーザーからの不正な操作を防止します。</p>
<p>ネットワークが切断された際にコンピューターをロックする</p>	<p>常駐接続中ネットワーク障害等によってサーバーとの通信が切断された際に自動でコンピューターをロックします。ネットワーク回復後は端末に再接続されます。</p>
<p>セッション終了時にコンピューターをロックする</p>	<p>常駐接続の終了時に自動でコンピューターをロックします。セッション終了前に端末のロックを忘れてしまった場合にも、他のユーザーから操作されるのを防ぐことができます。</p>
<p>セッション開始時にブラックスクリーンを有効にする</p> <p>win</p>	<p>接続の開始時にデスクトップ画面を黒く表示して、周りから操作内容が見えないようにします。Online ScreenViewをインストールしている端末のOSがWindows 8以降、Windows Server 2012以降の場合は、[詳細設定]-[Clientを利用する](次に説明)も併せて有効にしてください。</p>
<p>[ESC]キー押下時にブラックスクリーンを解除するまで(秒)</p> <p>win</p>	<p>接続される端末側で[ESC]キーを押下した際にブラックスクリーンを解除するまでの時間を変更できます(※ブラックスクリーンが停止されるまでの秒数はオペレーター側に表示されます)。初期値:10 設定可能範囲:10~180</p>
<p>詳細設定</p>	
<p>Clientを利用する</p>	<p>オペレーター側の接続オプション[Clientを利用する]に関係なく、強制的にOnline ScreenView Clientを使用して常駐接続を行います(初期値:無効)。</p>
<p>レコーディング</p>	
<p>自動レコーディングを有効にする</p>	<p>端末に対する常駐接続の操作を記録し、指定の保存先へレコーディングファイルを自動的に保存します。録画したファイルは「.isr」拡張子のついたファイル名で保存され、専用プログラム「ISL Player」で再生できます。</p>

### 13.3.3 ファイル共有

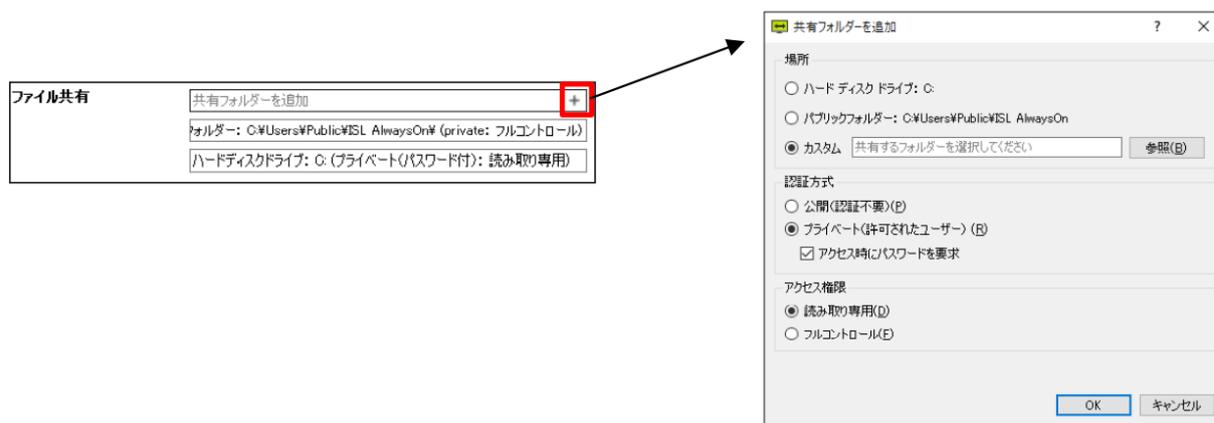
オペレーターがアクセス可能な共有フォルダーを設定することで、常駐接続を行うことなくファイルの交換ができるようになります。

※共有フォルダーへのアクセスは、端末がオンライン状態の場合のみ可能です。



#### ■共有フォルダーを追加

共有フォルダーを追加するには [ファイル共有] 欄の右上に表示される [+] を選択し、共有するフォルダーのパスおよび権限を設定します。



場所	
ハードディスクドライブ	全てのドライブを共有します。
パブリックフォルダー	<p>インストール時の初期設定として指定されている Online ScreenView フォルダを共有します。Online ScreenView フォルダは、OS ごとに格納されている場所が異なります。</p> <p>■ Windows 10、11 の場合 C:\Users\Public\ISL AlwaysOn</p> <p>■ macOS の場合 /User/Shared/ISLAlwaysOn/</p> <p>※4.4.2116.69 以降、新規インストールした端末にはパブリックフォルダの設定は自動で追加されなくなりました。</p> <p>■ Linux の場合 パブリックフォルダは自動で作成されません。</p>
カスタム	[参照] から任意のフォルダを選択して共有します。
認証方式	
公開(認証不要)	共有フォルダへのアクセスに制限はありません。
プライベート(許可されたユーザー)	ご利用のブラウザ上で Online ScreenView アカウントにログインしていない場合、フォルダへのアクセス時にログインを要求されます。[アクセス時にパスワードを要求]にチェックを入れると、さらにアクセスパスワードの入力が必要になります。
アクセス権限	
読み取り専用	ZIP ダウンロードのみ可能になります。
フルコントロール	ZIP ダウンロードのほか、ファイル(フォルダ)の削除、アップロード、新規フォルダの作成ができます。

■ 共有フォルダへのアクセス

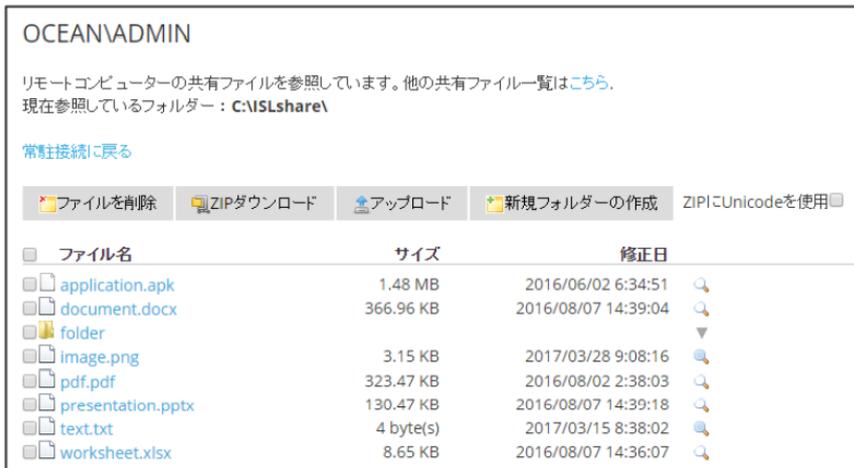
- (1) [常駐接続]を選択します。
- (2) [アクション]-[共有ファイル] を選択して、ファイルの一覧を表示します。



- (3) [共有先のパス]から参照する共有フォルダを選択します。

選択したフォルダの認証方式に[アクセス時にパスワードを要求]が設定されている場合は、アクセスパスワードの入力を求められます。

(4) 共有フォルダー内のファイル一覧が表示されます。



(5) ファイルが以下の条件を満たしている場合は、右の虫眼鏡マークにマウスカーソルを合わせることでファイルの内容を参照できます。

- ① 320KB 未満のテキストファイル(txt, out, html, htm, cs, css, vb, ini, reg)
- ② 32KB 未満のイメージファイル(png, jpg, jpeg, gif)

※ テキストファイルは、半角文字のみ参照できます。全角文字は文字化けして表示されます。

■オンラインページ上のアクション

共有フォルダー内のファイルおよびサブフォルダーに対して以下のアクションが実行できます。

サブフォルダーに対してアクションを実行する場合は、右側の[アクション]から各操作を選択します。



オンラインページ上のアクション※1	
ファイルを削除※2	確認メッセージの表示後にチェックボックスで選択したファイルを削除します。
ZIP ダウンロード	選択したファイルをまとめて ZIP 形式でダウンロードできます。
アップロード	[アップロード]を選択し、表示されるウィンドウでファイルを選択して[実行]を選択すると、ファイルを共有フォルダー内にアップロードできます。 サブフォルダー内には、サブフォルダー右側の [アクション] からアップロードできます。
新規フォルダーの作成	共有フォルダー内に新規フォルダーを作成します。
ZIP に Unicode を使用	Unicode を保持したまま、ZIP 形式に圧縮します。(Windows 標準の解凍ツールを使用する場合など、一部の環境でフォルダー名やファイル名の文字化けが発生することがあります)

※1 [アクセス権限]が読み取り専用の場合は、[ZIP ダウンロード]のみ実行できます。

※2 サブフォルダーに対するアクション[フォルダーの削除]は、フォルダー内にファイルがない場合のみ実行できます。

■その他のアクション

右クリックによるアクション	
<p>パブリックフォルダーへのコピー <span style="color: purple;">win</span></p>	<p>任意のファイル(フォルダー)上で[右クリック]-[送る]-[ Online ScreenView public Folder]を選択すると、対象を「Online ScreenView」フォルダー内にコピーできます。</p> 
<p>共有フォルダーへの追加 <span style="color: purple;">win</span></p>	<p>任意のファイル(フォルダー)上で[右クリック]-[このフォルダーを ScreenView で共有]を選択すると、対象フォルダーをパスに設定済みの追加ウィンドウが立ち上がります。</p> 
クライアント上でのアクション	
<p>共有フォルダーにマウスポインターを重ねて表示される歯車マークより、共有フォルダーに対するアクションを選択できます(メインウィンドウ上からも選択可能)。</p>	
	
<p>URL をメールで送信</p>	<p>共有ファイルにアクセスできる URL をメールで送信します。</p>
<p>URL をコピー</p>	<p>共有ファイルにアクセスできる URL をクリップボードにコピーします。 メモ帳などに張り付けることができます。</p>
<p>ローカル上で確認</p>	<p>共有ファイルをエクスプローラー上で確認できます。</p>
<p>ブラウザ上で確認</p>	<p>共有フォルダーを規定のブラウザで開きます。</p>
<p>共有設定</p>	<p>共有の設定内容を変更します。</p>
<p>共有の解除</p>	<p>共有を解除します。</p>

### 13.3.4 詳細設定



トンネル接続	
トンネル接続を許可する (RDP 接続, SSH 接続)	Online ScreenView 上からこの端末を指定して代替接続のアクションが使用できるようになります。 (初期値: 無効)
RDP のセッションへの接続	
利用中の RDP セッションへの接続を許可する <span style="color: purple;">win</span>	この端末に対する常駐接続の際に接続オプション[利用中の RDP のセッションへ接続する] (初期値: 有効)
Wake On LAN	
Wake On LAN パラメーターの自動検出	Magic Packet の送信先となるブロードキャストアドレスを自動で判別します。アドレス変換を設定したルーターなど、サーバーから特定の宛先に対して送信する場合はチェックを外し、送信先の IP アドレスとポートを入力します。
スリープモード	
スリープモードへの移行を許可する <span style="color: purple;">win</span>	Online ScreenView によるスリープモードへの移行の阻止を停止します。

接続	
詳細設定※1	プロキシサーバー経由でインターネットに接続する場合などに使用します。設定後は[接続テスト]を選択して接続に問題がないことを確認した上で、サービスの再起動([コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]-[OnlineScreenView Agent Service])を行ってください。
接続テストプログラムを起動	ISL Tester を起動して、接続・転送のテストを行います。テスト結果はログファイルとして出力できます。
フィルタ	
アクセスフィルタを有効にする	IP アドレスまたは MAC アドレスを指定して、オペレーターからのアクセスを制限できます。 詳細は後述の説明をご参照ください。
プレビュー	
プレビュー	プレビュー機能はサポート対象外です。主にトラブルシューティングの際に使用します。
履歴	
詳細は後述の説明をご参照ください。	

※1 プロキシを使用した環境の場合は、接続方式が[自動検出]（初期値）となっていることを確認した上で、プロキシの設定を入力してください。

また、Mac の場合にご利用になれる接続方式は以下になります。

direct / wstun-proxy / wstun-direct / wstun-proxy / httppt-proxy / wstun-direct / httppt-direct / https-direct / https-proxy / https-direct ※ 現在、Mac 版では HTTP PAC の設定はサポート対象外です。

■接続テストプログラムについて

Online ScreenView 製品では接続の際、ポート 7615→443→80 の順にアクセスするため、ポート 7615 を使用できない状態では、接続に時間がかかります。

接続テストプログラムである ISL Tester を実行することで、クライアント端末と Online ScreenView サーバーとのデータ転送速度を計測し、最適な通信方式を選択することができます。



※ ISL Tester に表示されるデータ転送速度が 1MB/s 以上、応答時間が 500ms 以内であれば、Online ScreenView による通信を快適な状態でご利用になれます。ISL Tester を使用して適用した設定は、当該端末の以下のレジストリキーをエクスポートすることで配布が可能です。

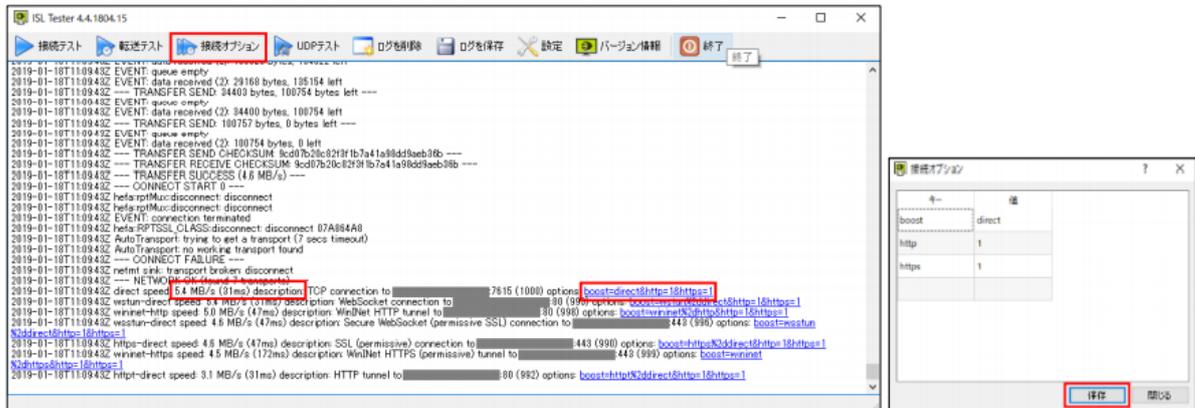
■64bitOS の場合 HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥ISL Online¥AutoTransport

■32bitOS の場合 HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥AutoTransport

接続テスト	接続テストを開始します。
転送テスト	転送テストを開始します。
接続オプション	すべての接続方式でテストを実行し、結果を出力します。
UDP テスト	UDP プロトコルを利用した転送テストを実行します。
ログを削除	コンソールに出力された実行ログを削除します。
ログを保存	コンソールの実行ログをファイル(.txt)に保存します。
設定	設定画面を開きます。
バージョン情報	ご利用の ISL Tester のバージョンを確認します。
終了	ISL Tester を終了します。

## ■ISL Tester の実行手順

- (1) [接続]-[接続テストプログラムを起動]を選択し、ISL Tester を起動します。
- (2) [接続オプション]を選択します(終了まで数分かかる場合があります)。
- (3) 画面下部にて"speed"の値が一番大きい結果のリンク「boost=...」(「boost=...」がない場合は、「force=...」)を選択します。



- (4) [保存]を選択します。
- (5) サービスを再起動([コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]から [OnlineScreenView Agent Service])します。

## ■接続・転送ログファイルの取得手順

- (1) [接続テスト]を選択して接続テストを開始し、処理が停止するまでしばらく待ちます。
- (2) 処理が停止したら[ログを保存する]を選択し、ログファイルを任意の場所に保存します。
- (3) [ログを削除する]を選択して実行ログをクリア後、[転送テスト]を選択して転送テストを開始します。  
処理が停止したら、ログファイルを任意の場所に保存します。
- (4) [ログを削除する]を選択して実行ログをクリア後、[接続オプション]を選択して接続テストを開始します。  
処理が停止したら、ログファイルを任意の場所に保存します。

※ [設定]を変更することで、接続・転送の条件を指定してログを取得できます。

## ■フィルタについて

IP アドレスまたは MAC アドレスを指定して、クライアント端末へのアクセスを制限できます。

- (1) [アクセスフィルタを有効にする]のチェックボックスを入れます。
- (2) アクセスを許可する場合は"allow"、禁止する場合は"deny"と記述します。

書式:[allow\_|deny\_|[ip|mac][all](); [allow\_|deny\_|[ip|mac][all]...)

例:MAC アドレス [00-12-34-56-78-90] による接続を禁止する場合

deny\_mac 00-12-34-56-78-90;allow\_all

または

deny\_mac 00-12-34-56-78-90 allow\_all

※ "deny"と"all"を組み合わせ利用してください。

※ 複数の設定を行う場合は、[;](セミコロン)または改行で追記します。

- (3) [保存]を選択します。

■フィルタリングの記述について

フィルタリングの設定は上から下の順に読み取りが行われ、該当するものが1つでもあると以降の設定は読まない形となります。そのため「XXX\_all」を入力すると、それ以降に記載された内容は無視されてしまうので、最後に記載する必要があります。

例:

allow\_ip XXX.CCC.BBB.111

allow\_ip XXX.CCC.BBB.122

allow\_ip XXX.CCC.BBB.103 deny\_all

※ IP アドレスは範囲指定での記載が可能です。(XXX.CCC.BBB.111 - XXX.CCC.BBB.122)

※ Android 6.0 および iOS 7.0 以降の端末の MAC アドレスを制限することはできません。

■履歴について

端末に対するアクセス(常駐接続)履歴の検索やエクスポートができます。

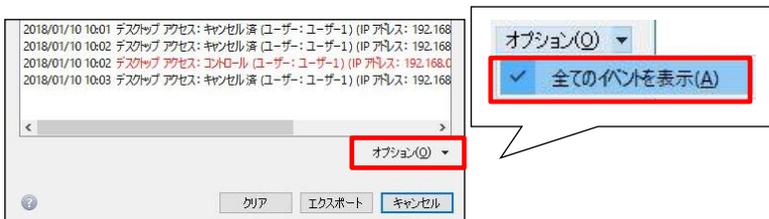
(1)[履歴]-[開く]を選択します。

※[メインウィンドウ]-[履歴の検索]からも同じウィンドウを開くことができます。

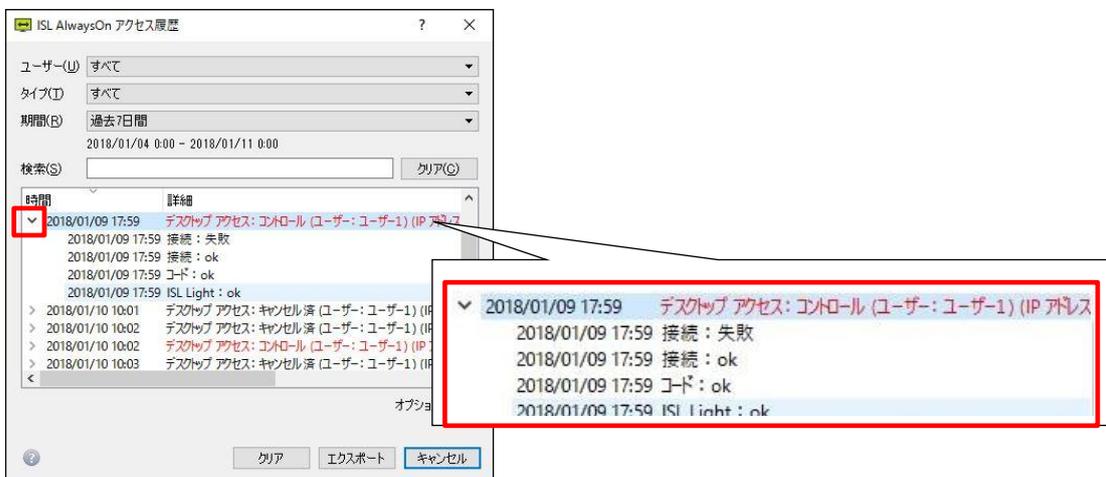
(2)「ユーザー」「タイプ」「期間」「検索(任意)」条件を入力して、検索を行います。



(3)詳細を表示する場合は、[オプション]-[全てのイベントを表示]を選択します。



(4)リスト内の各履歴の左に▶マークが表示されるので、展開します。



- (5)履歴を保存する場合はウィンドウ下にある[エクスポート]を選択し、保存先とファイル名を指定して[保存]を選択します。
- (6)履歴がXMLファイルとして保存されます。
- ※[クリア]を選択するとメッセージの確認後、すべての履歴を削除できます。削除後は元に戻せないで  
ご注意ください。
- エクスポートファイルの時間には協定世界時(UTC)が適用されます。

## 13. 4バージョンアップ情報とアップグレード

Online ScreenView のバージョン情報の確認、及びアップグレードができます。

### 13. 4. 1 バージョン情報の表示

クライアント側でバージョン情報を表示するには、システムトレイの Online ScreenView アイコンを選択し、[バージョン情報]を選択します。

#### ▼Windows の場合



#### ▼Mac の場合



ウィンドウを閉じます

現在インストールされている Online ScreenView のバージョンを自動で確認します  
最新のバージョンが見つかった場合は、[アップグレード]が表示されます

### 13.4.2 オンラインページでの一斉アップグレード

オンラインページで一斉にエージェントをアップグレードします。

《条件》

- ・端末の Online ScreenView 設定画面内で「自動アップデートを有効にする」にチェックが入っている状態  
(デフォルトでは ON)
- ・端末が「オンライン」表示となっていて、正常に通信が行われる状態であること  
 《補足》: グルーピングで紐づけられたユーザーに関して  
 グルーピングで紐づけられたユーザーのアカウントでオンラインページにログインした場合も、グルーピングされた  
 端末を含め一斉アップグレードを行うことができます。

- (1) オンラインページにログインします。
- (2) アップグレードを行う端末がオンライン状態であることを確認します。
- (3) アップグレードを行う端末をチェックします。
- (4) [一括操作] - [エージェントアップグレード] を選択します。
- (5) アップグレードが開始されると、画面上に「Online ScreenView アップグレードを開始しました」のメッセージが表示されます。



## 13.5 オフラインモード

Online ScreenView をオフラインモードに移行します。オフラインモードに移行すると、リモートアクセスができなくなる他、システムトレイ上も Online ScreenView のアイコンが非表示になります。

### 13.5.1 オフラインモードへの移行

(1) システムトレイの Online ScreenView アイコンを選択し、[オフラインモード]を選択します

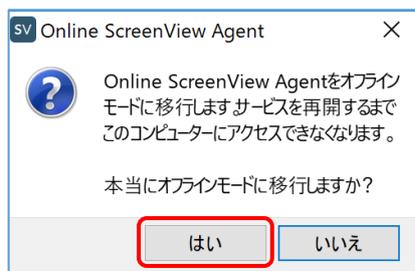
▼Windows の場合



▼Mac の場合



(2) 「本当にオフラインモードに移行しますか？」の確認メッセージが表示されます。



[はい]を選択します。

(3) [コンピューターの状態]のオプションが、全て“無効”に切り替わり、Online ScreenView がオフラインモードに移行します。[保存する]を選択して設定画面を閉じます。



## 13.5.2 オフラインモードの解除

### ■Windows の場合

- (1) コンピューターの「すべてのプログラム」から「Online ScreenView Agent」を選択します。  
上部緑箇所をクリックし「設定」を選択すると Online ScreenView の設定画面を開きます。



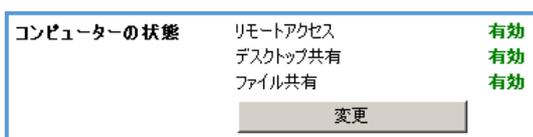
- (2) 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選択します。



- (3) [保存]を選択して設定画面を閉じます

### ■Mac の場合

- (1) Finder の[アプリケーション] – [OnlineScreenView] – [ISLAlwaysOnSettings.app] を起動して、Online ScreenView の設定画面を開きます。  
(2) 確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選択します。  
(3) 続けて確認のメッセージが表示されたら、「アクセス許可」を選択します。  
(4) 「コンピューターの状態」欄の[変更]を選択し、「リモートデスクトップ」[デスクトップ共有](必要に応じて [ファイル共有])のチェックボックスをオンにして[OK]を選択します。



- (5) [保存する]を選択して設定画面を閉じます。

## 14. Wake On LAN 機能の設定

Wake On LAN(以下 WOL)は、ローカルエリアネットワーク(LAN)に Magic Packet(マジックパケット)を送信することにより端末を遠隔で起動する技術です。

Online ScreenView の WOL 機能では、Agent 機能がインストールされている端末から Magic Packet をブロードキャストアドレス宛に送信することで、同一ネットワーク内の対象端末を遠隔起動します。

### ■利用条件や設定について

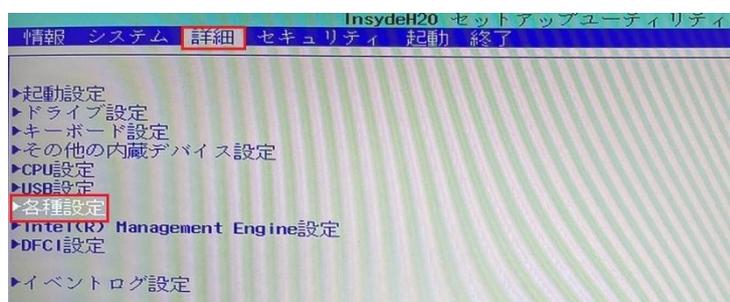
WOL 機能をご利用いただくには、Online ScreenView のインストールの他に、以下の設定が必要になります。

- ・お使いの PC が Wake On LAN に対応している。  
Wake On LAN は、ハードウェアの機能となります。  
詳しくはお使いの製品のメーカーHPをご参照ください。
- ・内向き UDP ポート 2304 が解放されている  
ネットワーク機器の内向きのポート(プロトコル:UDP)2304 番が解放されている必要があります。
- ・ルーターがブロードキャストアドレスを許可している  
ネットワークを構成するルーターがブロードキャスト(ダイレクトブロードキャスト)アドレスを許可している必要があります。  
※設定はお使いのネットワーク機器によって異なります。詳しくはお使いの製品のメーカーHPをご参照ください。
- ・Online ScreenView の Agent が同一ネットワーク内に存在する。

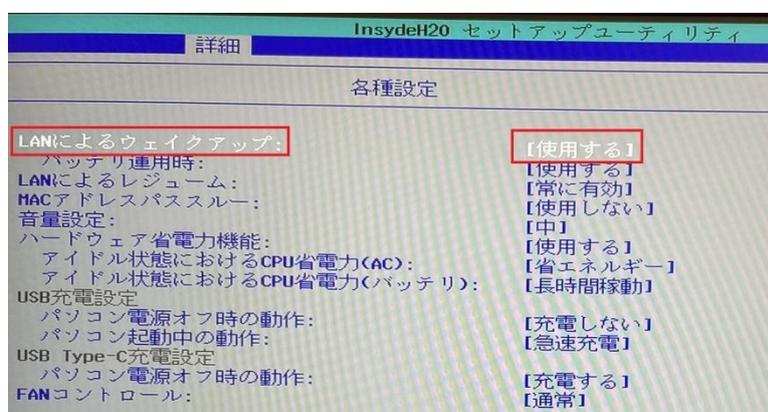
### 14.1 PC の BIOS 設定

BIOS の設定例(富士通 LIFEBOOK Aシリーズの場合)

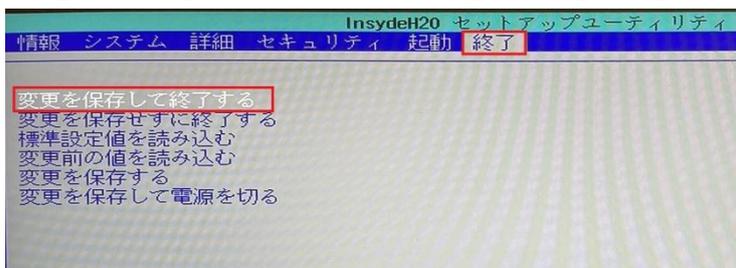
- (1) 起動中に[F2]キーを押下、BIOS 画面を起動します。
- (2) [詳細] - [各種設定]を選択し、[Enter]キーを押下します。



- (3) [LANによるウェイクアップ]を[使用する]に変更、[ESC]キーでメニューに戻ります。



(4) [終了]を選択し、[変更を保存して終了する]を選択、[Enter]キーを押下します。



(5) パソコンを再起動します。

## 14.2 Windows OS の高速スタートアップを無効に設定する

「高速スタートアップ」を無効にする手順(Windows 10 の場合)

- (1) 「コントロール パネル」、「システムとセキュリティ」から「電源オプション」を選択します。
- (2) 「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。
- (3) 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。
- (4) 「高速スタートアップを有効にする(推奨)」のチェックを外します。
- (5) 「変更の保存」をクリックして保存します。
- (6) 端末を再起動します。



## 14.3 Agent が同一ネットワーク内に存在する

起動したい端末と同一ネットワーク内に、Magic Packet の送信元となる、Online ScreenView Agent がインストール済みの端末が最低 1 台必要です(WOL を実行する Magic Packet の送信元となる端末が必要です)。

また、Magic Packet の送信元となる Online ScreenView Agent サービスが起動、[オンライン]状態である必要があります。

休止/スリープ/スタンバイの状態では Online ScreenView の WOL は起動できません。

対象端末と同一ネットワーク上にあるオンライン状態の端末から Magic Packet の送信元となる端末はランダム選択され、Magic Packet の送信を行います(最大 3 台)。

Magic Packet の送信元と対象端末の間に L3 スイッチやルーターが存在し、それらの機器の電源がオフになっている場合は対象端末に Magic Packet が到達しません。

## 補足:所属するネットワークの判定基準について

対象端末と Magic Packet の送信元となる端末が所属するネットワークの判定方法は、Online ScreenView のバージョンにより異なります(最新版へのアップグレードを推奨します)。

## ・Online ScreenView Agent 4.4.1823.32 以降

Online ScreenView Agent をインストールしている端末は、デフォルトゲートウェイの MAC アドレスをサーバーに送信します。

サーバーはこの MAC アドレスの値を基に所属するネットワークを判定し、同じ MAC アドレスのデフォルトゲートウェイを持つ端末が存在しない場合は、IP アドレスを使用して判定します。

## ・Online ScreenView Agent 4.4.1823.32 以前

対象端末が最後にオンライン状態だった時点のグローバル IP アドレスを基に所属するネットワークを判定します。同じグローバル IP アドレスを持つネットワークセグメントが多数存在する場合、選ばれた端末から送信された Magic Packet が対象端末に到達しない可能性があります。

# 15. Online ScreenView Agent のアンインストール

## 15.1 常駐接続リストから削除する

Online ScreenView の常駐接続リストから削除するとリモートアクセスは利用できなくなります。

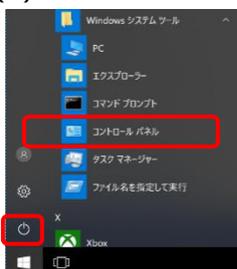
接続先 Online ScreenView Agent のアンインストールをした場合、常駐接続リストからは削除されず「オフライン」と表示されます。

- (1) Online ScreenView ログインページまたは PC アプリケーションコンソールにログインします。
- (2) 常駐接続リストから削除対象の接続先 PC のプルダウンメニューで「削除」を選択します。
- (3) 確認のメッセージが表示されるので「OK」を選択します。

## 15.2 常駐接続プログラムのアンインストール: Windows の場合

### ■ 常駐プログラムをアンインストールする

- (1) Windows スタートボタン-[Windows システムツール]から[コントロールパネル]を開きます。



- (2) プログラムのアンインストールを選択します。



- (3) プログラムのリストの中から Online ScreenView Agent を選択し、アンインストールを行います。



**■ハードディスク内のすべての関連ファイルを削除する**

アンインストール作業の後、以下のインストールフォルダーも削除します。

## ・32bit OS の場合

C:¥Program Files¥OnlineScreenView¥OnlineScreenView Agent

## ・64bit OS の場合

C:¥Program Files (x86)¥OnlineScreenView¥OnlineScreenView Agent

**■レジストリに設定した値を削除する**

以下のレジストリキーを削除します。

## 《注意》

レジストリを削除すると、ユーザーパスワードやアクセスパスワードなどの接続ための設定値や接続を行ったサーバーの履歴などが消去されます。ご注意ください。

## ・32bit OS の場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥AutoTransport

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥Grid

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

## ・64bit OS の場合

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥AutoTransport

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥Grid

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ISL Online¥ISL AlwaysOn

## 15. 3常駐接続プログラムのアンインストール: Mac の場合

Finder の [アプリケーション] - [OnlineScreenView] - [OnlineScreenViewUninstall.app] を起動して、プログラムをアンインストールします。



アンインストールすることでリモートアクセスの利用はできなくなります。

Online ScreenView の一部の情報が保持されている状態です。すべての情報を削除する場合は次項をご参照ください。

### ■すべての情報を削除する場合

アンインストール後に、以下のフォルダーを削除することでインストール時の情報等をすべて削除することができます。

- ・ /etc/islonline/AutoTransport
- ・ /etc/islonline/Grid
- ・ /etc/islonline/ISL+AlwaysOn

上記フォルダーは通常 Finder から開くことができません。ターミナルを起動して表示し、削除します。

以下の手順をご参照ください。

- (1) Mac でターミナルを起動します。
- (2) ターミナルに「open /etc」と入力し、return キーを押します。
- (3) etc フォルダーが開きますので以下のフォルダーを削除してください。

- ・ /etc/islonline/AutoTransport
- ・ /etc/islonline/Grid
- ・ /etc/islonline/ISL+Alwayson

## 16. 留意事項

---

- クライアントが Mac の場合、ファイル転送で送信した「フォルダー」はゴミ箱に移動できません。
- 接続先の OS が Windows 10、11 の場合は「Ctrl」+「Esc」のショートカットキーでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。
- 「代替え接続」で接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- 2GB または 24 時間を超えるレコーディングファイル(.isr)は再生できません。
- 複数のディスプレイを持つ端末に常駐接続を行った場合、正しいモニターが選択できません。
- 常駐(高速接続)で Mac 端末に接続後、ファイル転送で送信したフォルダーの置き換え(上書き)はできません。
- 管理画面の「常駐接続」で「接続」をクリックした後に「パスワードを保存する」を有効にすると、以降の接続で接続オプションが設定できなくなります。
- クリップボードにコピーできるテキストデータの上限は 1MB です
- [OnlineScreenView Agent 設定]、[履歴]をエクスポートした場合、時間に世界標準時間(UTC)が適用されます。
- [OnlineScreenView Agent 設定]、[フィルタ]の設定は、Android、iOS 端末の MAC アドレスを制限することはできません。
- オンラインページの「共有ファイル」には、以下の制限事項がございます。
  - 共有されたフォルダー内のサブフォルダーは、当該フォルダー内が空の場合のみ削除できます。
  - テキスト文書のプレビューが正常に表示されません。
  - 共有ファイル(フォルダー)名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
  - [OnlineScreenView Agent 設定] > [詳細設定] > [フィルタ]の設定は、アクセス認証が「プライベート(パスワード付)」の共有ファイルにのみ適用されます。

**Online ScreenView 販売元**  
**製品サポート**

**santec Japan Corporation**

〒485-0802

愛知県小牧市大草年上坂 5823

URL: <http://www.santec.com>

